

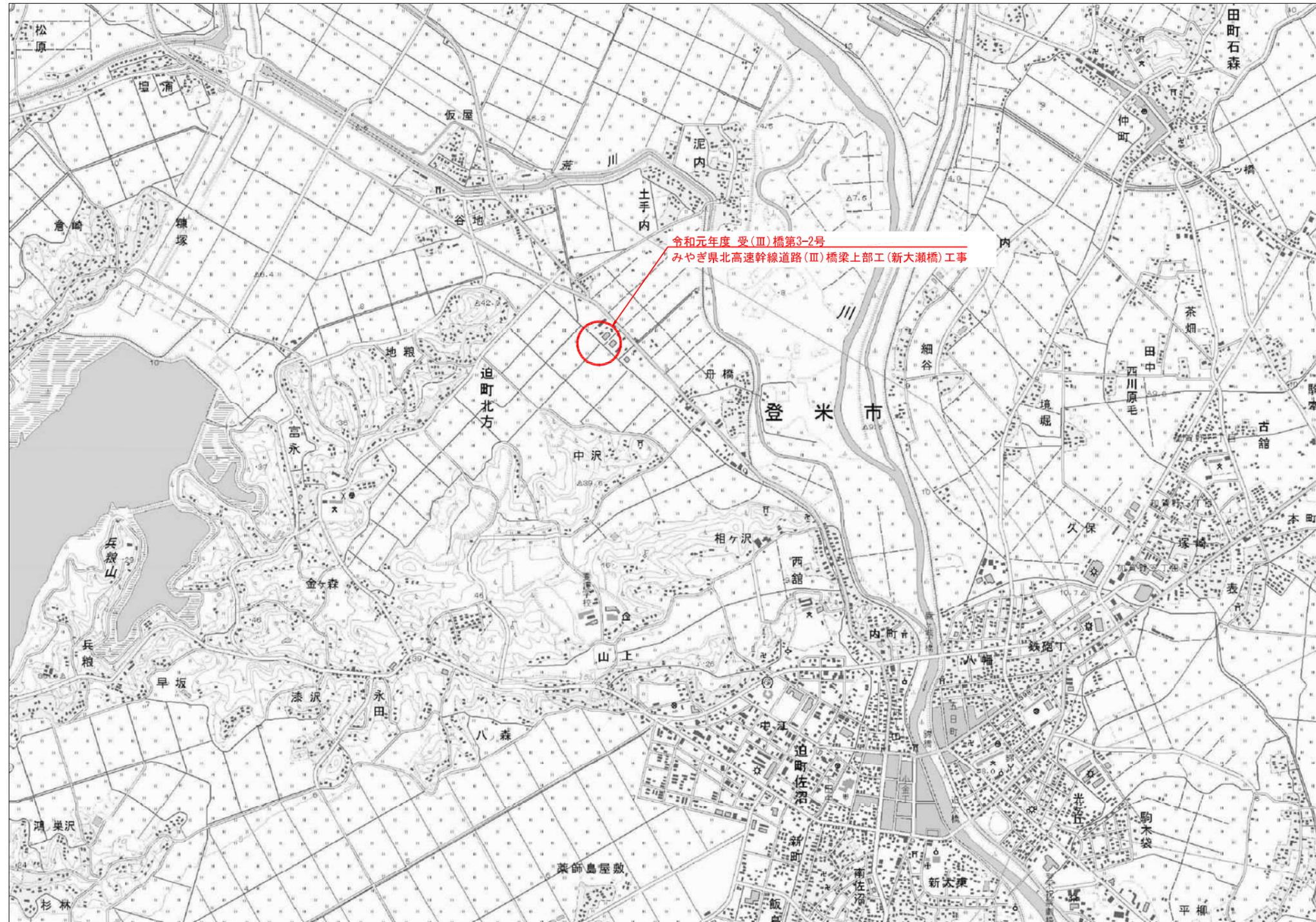
令和元年度 受(Ⅲ)橋第3-2号 みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(新大瀬橋)工事

図 面 目 録

実 施

図面番号	図 面 名	枚 数	図面番号	図 面 名	枚 数
1	位置図	1	27 ~ 29	横構(その1~その3)	3
2	3号橋橋梁全体一般図	1	30 ~ 32	床版配筋図(その1~その3)	3
3 ~ 4	線形図(その1, その2)	2	33	壁高欄配筋図	1
5	上部工構造一般図	1	34 ~ 35	支承詳細図(その1, その2) [参考図]	2
6 ~ 7	応力図(その1, その2)	2	36	伸縮装置詳細図 [参考図]	1
8	キャンバー図	1	37 ~ 39	上部工排水装置(その1~その3)	3
9	各部詳細図	1	40	下部工排水装置	1
10 ~ 11	主桁G1(その1, その2)	2	41	検査路系統図	1
12 ~ 13	主桁G2(その1, その2)	2	42 ~ 50	上部工検査路(その1~その9)	9
14 ~ 15	主桁G3(その1, その2)	2	51	上部工架設計画図 [参考図]	1
16 ~ 17	主桁G4(その1, その2)	2	52	下部工座標図	1
18 ~ 19	主桁G5(その1, その2)	2	53 ~ 56	A1橋台構造図(1)~(4)	4
20 ~ 21	端対傾構(その1, その2)	2	57 ~ 58	A1橋台配筋図(16)(18)	2
22 ~ 25	中間端傾構(その1~その4)	4	59 ~ 62	A2橋台構造図(1)~(4)	4
26	分配横桁	1	63 ~ 64	A2橋台配筋図(15)~(16)	2

位置図 S=1:25,000



実施

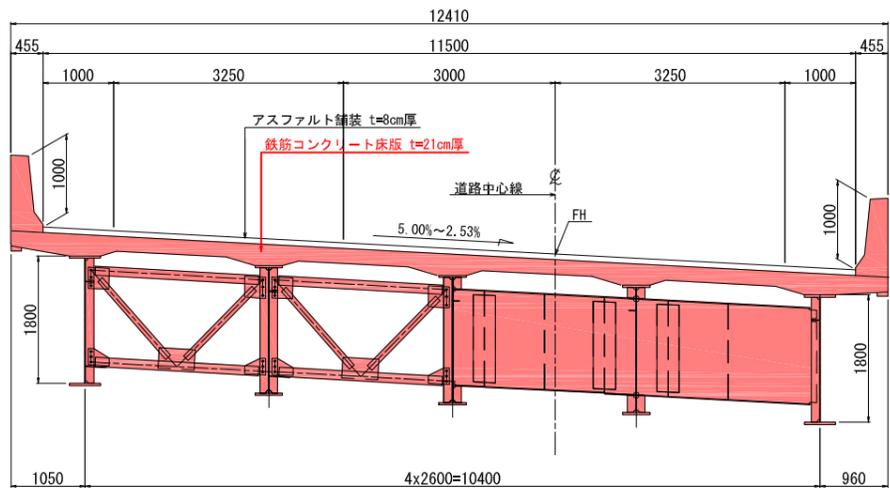
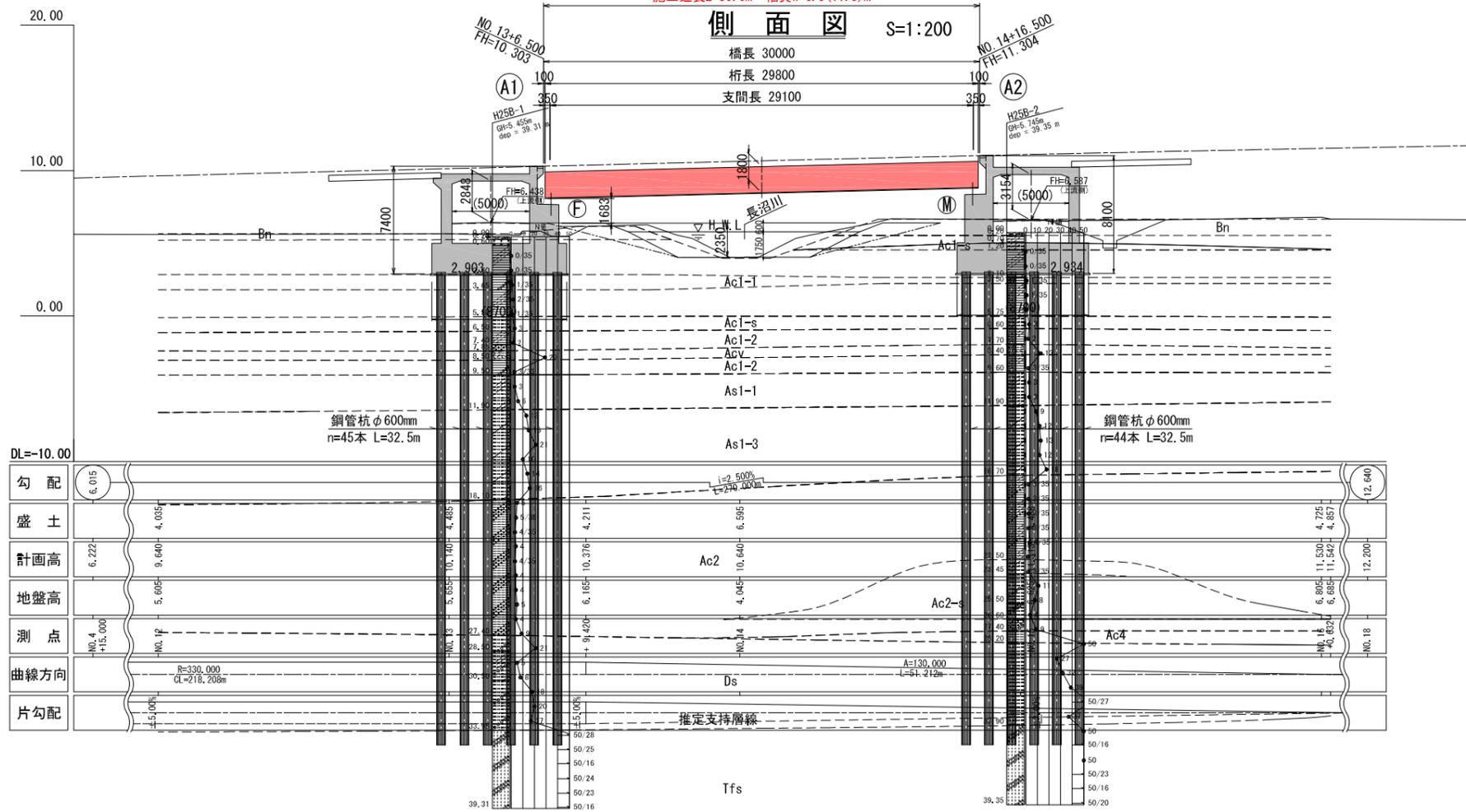
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	位置図		
縮尺	S=1:25,000	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	1/64	

佐沼工区3号橋 全体一般図

断面図 S=1:50

令和元年度 受(Ⅲ)橋第3-2号 みやぎ高速幹線道路橋梁上部工(新大瀬橋)工事
 施工延長L=30.0m 幅員W=6.5(11.5)m

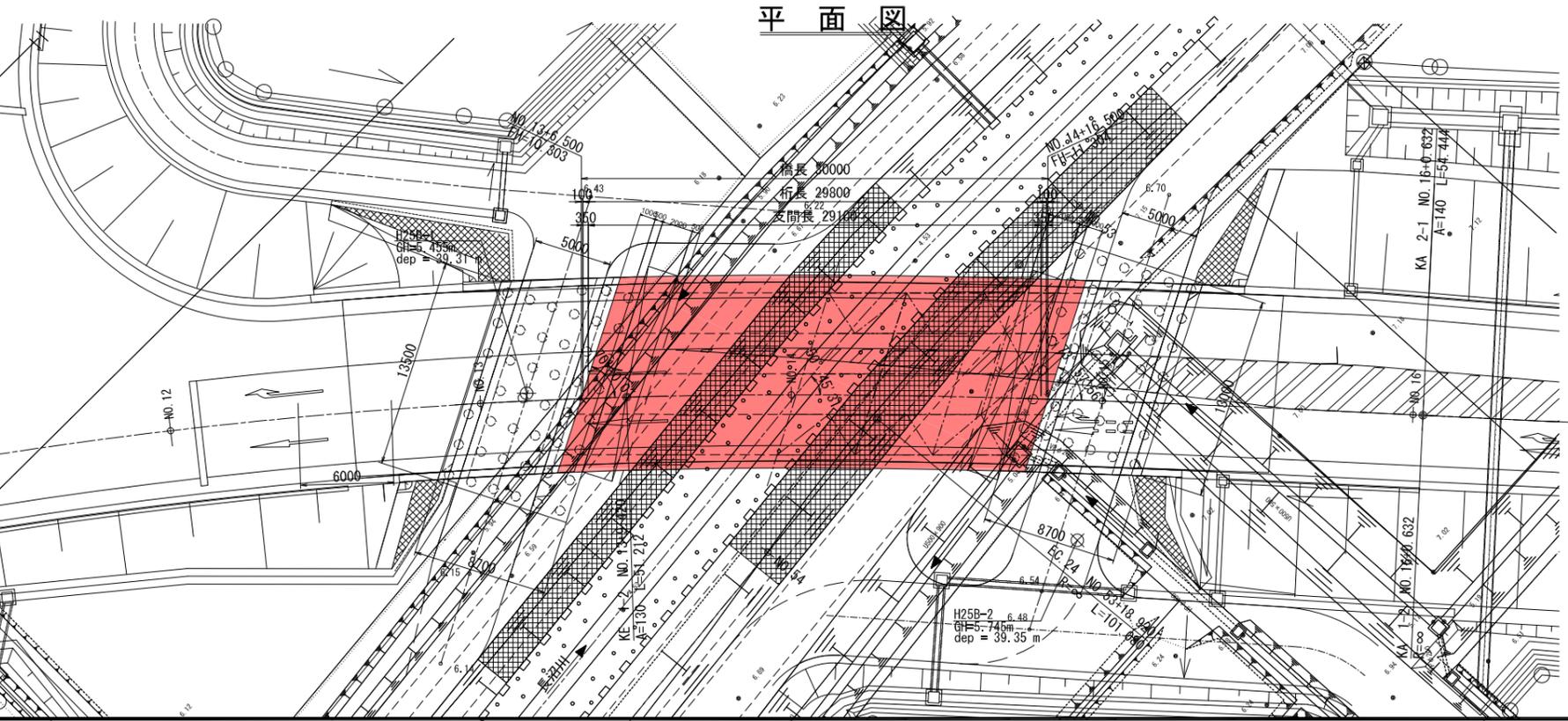


地層凡例

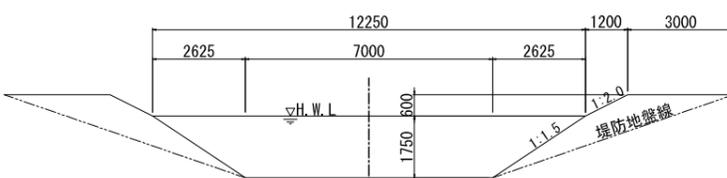
地層時代	記号	土層名	N値の主な範囲	構成する主な土質・岩質	
築	Bn	腐土・表土	-	シルト質粘土、礫混り粘土	
	dt	高砂土	-	-	
	Ac1	Ac1-1	第1粘性土層-1	0~2	シルト質粘土、有機質粘土
		Ac1-2	第1粘性土層-2	2~4	砂混りシルト質粘土、砂質シルト
		Ac1-3	第1粘性土層-3	4	砂混りシルト質粘土
		Ac1-s	第1粘性土層-砂	2~4	シルト混り砂、シルト質砂
	Ac2	Ac2-1	第2粘性土層-1	2~4	シルト混り砂、シルト質砂
		Ac2-2	第2粘性土層-2	5~10	シルト質砂、砂
		Ac2-3	第2粘性土層-3	10~20	砂混りシルト質粘土、砂
		Ac2-4	第2粘性土層-4	20~30	砂混りシルト質粘土
Ds	Ds	流砂層	30~50	流砂	
	Ds	流砂層	30~50	流砂	
	Ds	流砂層	30~50	流砂	
	Ds	流砂層	30~50	流砂	
Tfs	Tfs	堆積層	50以上	堆積層	
	Tfs	堆積層	50以上	堆積層	
	Tfs	堆積層	50以上	堆積層	
	Tfs	堆積層	50以上	堆積層	

設計条件

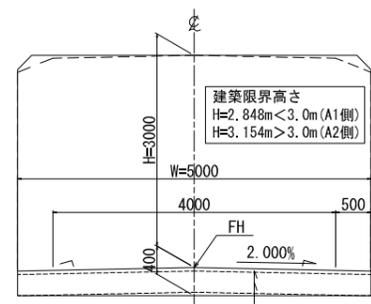
道路規格	第3種第2級
設計速度	V=60km/h
橋の重要度区分	B種の橋
設計荷重	B活荷重
橋長	30.000m
桁長	29.800m
支間長	29.100m
斜角	左70° 00' 00"
平面線形	R=330m ~ A=130m
縦断勾配	i=2.500%
横断勾配	i=4.033%(片勾配)
橋面舗装	アスファルト舗装 8cm厚
設計水平曲率	kh=0.30(Ⅲ種地盤)
雪荷重	なし
形式	単線非合成鋼桁橋
床版	大型車交通量
厚さ	500台未満/日・方向
鋼材	鉄筋コンクリート床版
コンクリート	SM490Y, SM400, S10T
鉄筋	σck=24N/mm ²
橋台裏込土	γ=20kN/m ³ , φ=30°
支持地盤	凝灰質砂岩 (N>50以上)
適用示方書	道路橋示方書・同解説Ⅰ~Ⅴ (平成24年3月)



河川断面 S=1:100



交差道路 S=1:50



※平面図の単点及び等高線は震災前の標高である。
 震災後標高=震災前標高-0.435m

表層工 密粒度As t=5cm
 路盤工 (再生クマシヤランRC-40) t=30cm

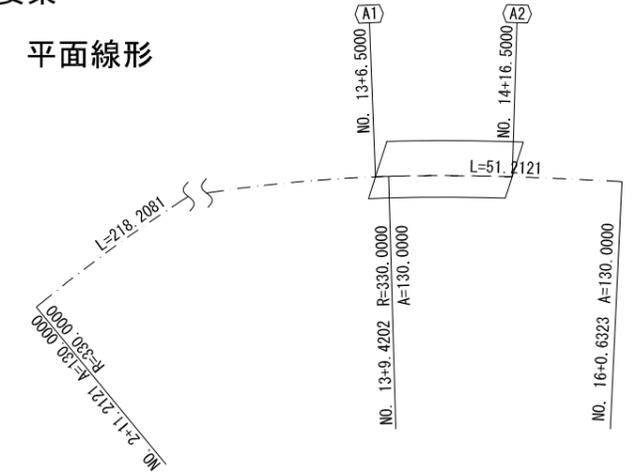
実施

工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	佐沼工区3号橋 全体一般図		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者	宮城県		図番 2/64

線形図(その1)

線形要素

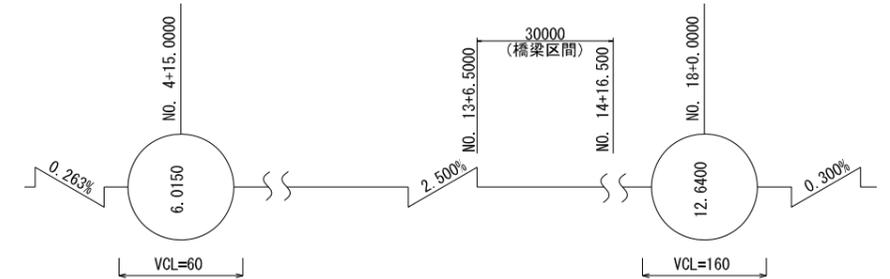
平面線形



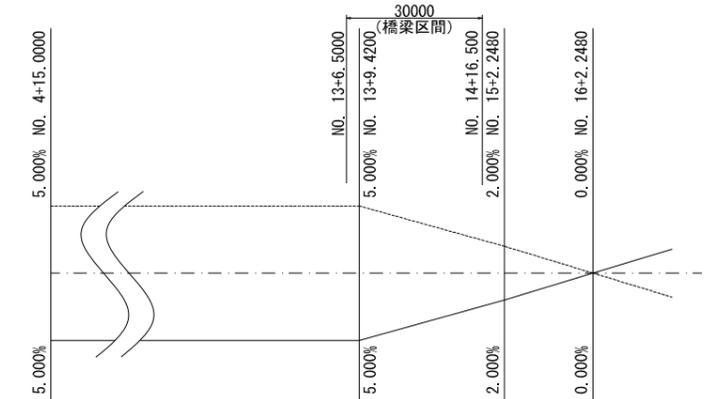
主要点座標(世界測地系)

主要点名称	測点	X座標	Y座標	要素タイプ	要素長(m)
KE1-1	NO. 2+11.212	-143.301.655773	30.137.310264	R=330	218.208079
KE1-2	NO. 13+09.420	-143.503.851317	30.208.175754		
KA2-1	NO. 16+00.632	-143.554.997336	30.205.859986	A=130	51.212121

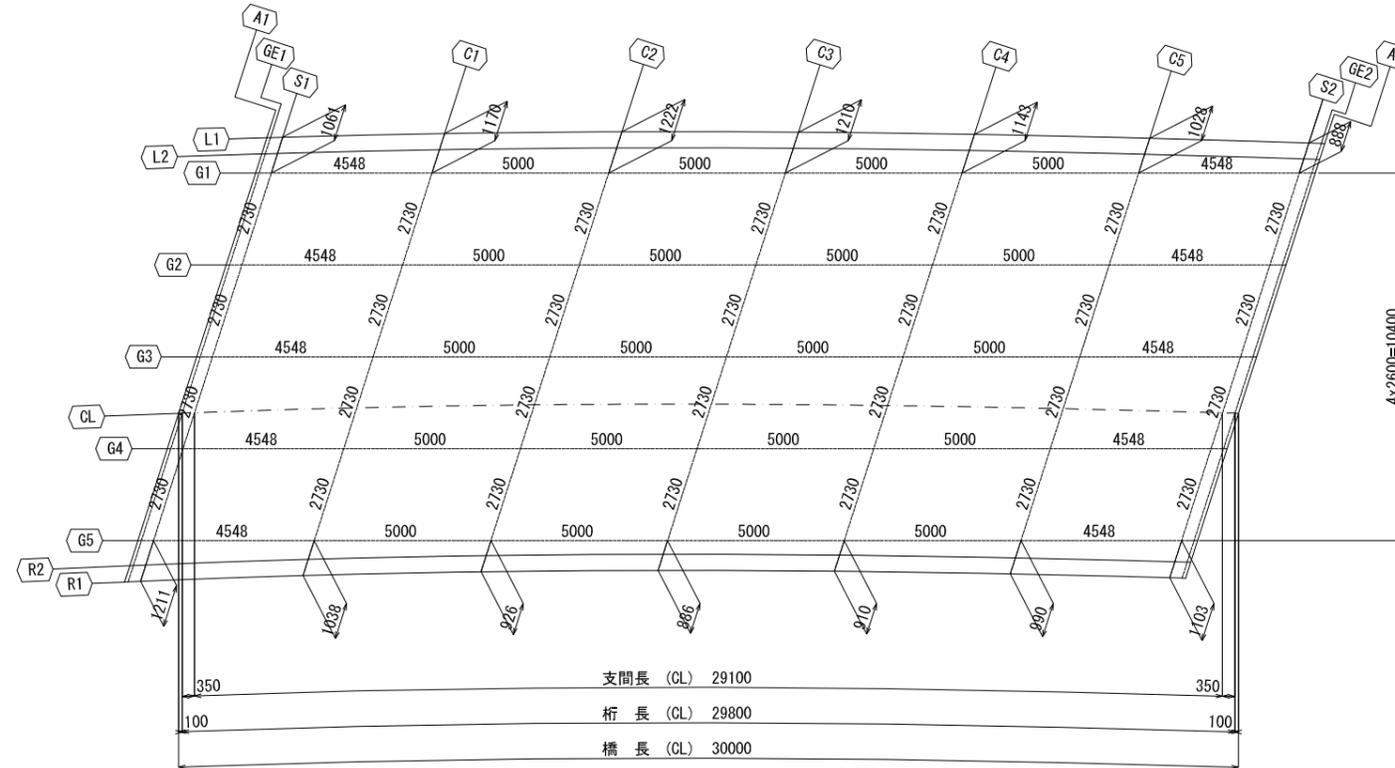
縦断勾配



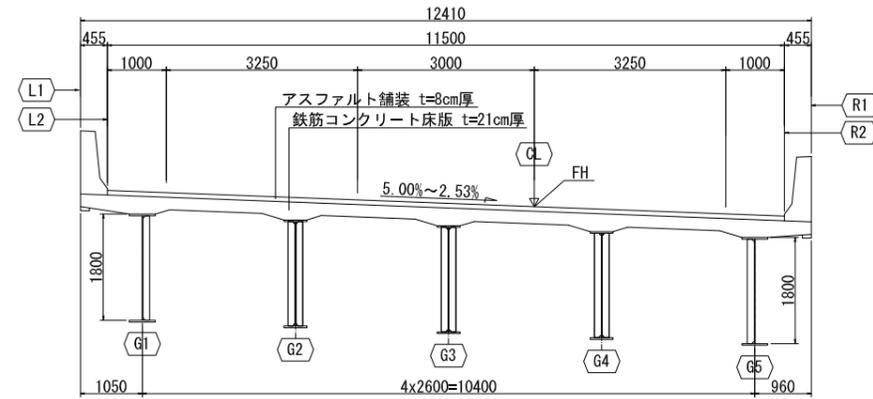
横断勾配



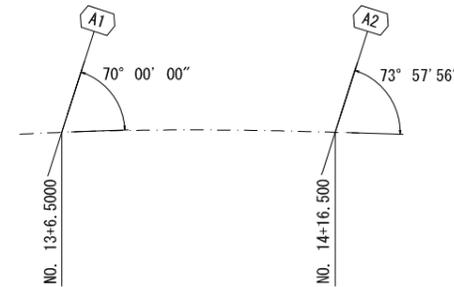
平面図 S=1:100



断面図 S=1:60

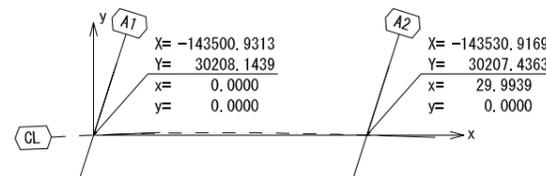


橋台、橋脚の設定



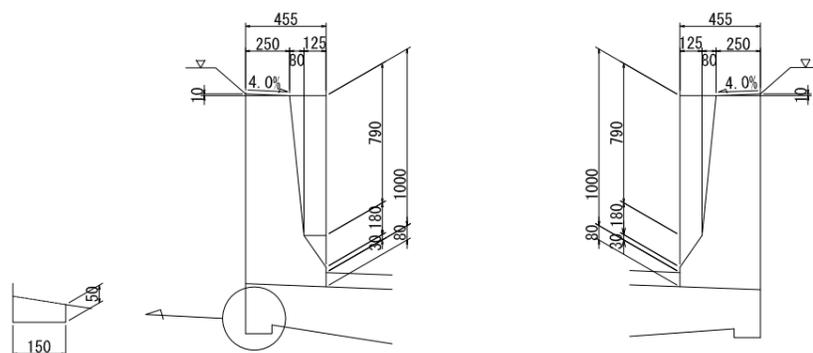
A1橋台: CL線上でNO. 13+ 6.500をとおり、70° 00' 00" の角度とする。
A2橋台: CL線上でNO. 14+16.500をとおり、73° 57' 56" の角度とする。

小座標の設定



1) A1線とCL線の交点からA2線とCL線の交点に向かって引いた線をx軸とする。
y軸はx軸に直角とする。

地覆部詳細 S=1:20



実施

【3号橋】

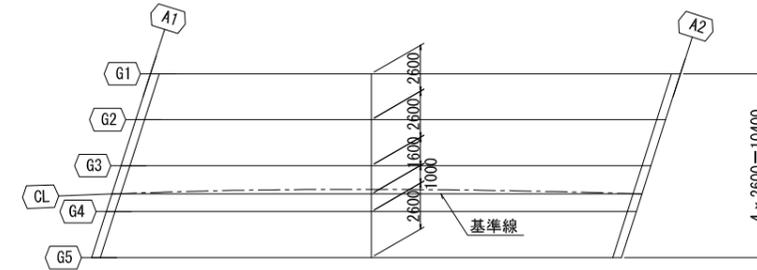
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	線形図(その1)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者	設計		年度
宮城県	図番	3/64	

線形図(その2)

座標

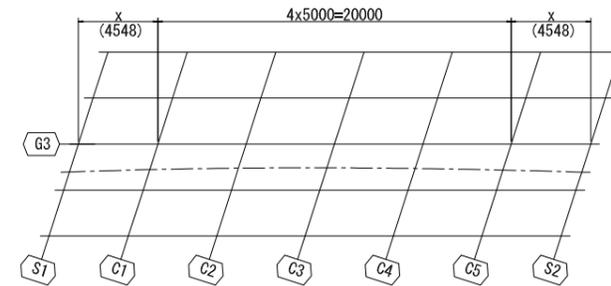
		A1	GE1	S1	C1	C2	C3	C4	C5	S2	GE2	A2
L1	X	2.4986	2.5983	2.9471	7.5283	12.5442	17.5406	22.5201	27.4850	31.9902	32.3397	32.4395
	Y	7.7965	7.7996	7.8100	7.9142	7.9637	7.9526	7.8886	7.7790	7.6459	7.6344	7.6311
	Z	11.7334	11.7358	11.7427	11.8251	11.9154	12.0045	12.0903	12.1727	12.2448	12.2503	12.2518
L2	X	2.3513	2.4510	2.7998	7.3817	12.3982	17.3952	22.3751	27.3403	31.8458	32.1953	32.2952
	Y	7.3368	7.3399	7.3504	7.4567	7.5082	7.4987	7.4361	7.3277	7.1954	7.1839	7.1806
	Z	10.7295	10.7319	10.7398	10.8223	10.9127	11.0020	11.0880	11.1705	11.2427	11.2482	11.2498
G1	X	2.1793	2.2780	2.6234	7.1712	12.1712	17.1712	22.1712	27.1712	31.7191	32.0723	32.1732
	Y	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000	6.8000
	Z	10.6983	10.7005	10.7085	10.7882	10.8792	10.9723	11.0639	11.1531	11.2314	11.2374	11.2391
	H		0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
	W		10.3194	10.3296	10.4082	10.4992	10.5922	10.6839	10.7731	10.8506	10.8582	
G2	X	1.3460	1.4447	1.7902	6.3380	11.3380	16.3380	21.3380	26.3380	30.8858	31.2390	31.3399
	Y	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000	4.2000
	Z	10.5471	10.5494	10.5573	10.6508	10.7536	10.8589	10.9631	11.0650	11.1548	11.1616	11.1636
	H		0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
	W		10.1683	10.1785	10.2708	10.3736	10.4789	10.5831	10.6849	10.7738	10.7826	
G3	X	0.5128	0.6115	0.9569	5.5047	10.5047	15.5047	20.5047	25.5047	30.0526	30.4058	30.5067
	Y	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000	1.6000
	Z	10.3958	10.3980	10.4060	10.5091	10.6238	10.7414	10.8584	10.9730	11.0744	11.0822	11.0844
	H		0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
	W		10.0169	10.0271	10.1291	10.2438	10.3614	10.4784	10.5930	10.6933	10.7033	
CL	X	0.0000	0.0999	0.4497	5.0426	10.0695	15.0754	20.0627	25.0341	29.5441	29.8940	29.9939
	Y	0.0000	0.0039	0.0172	0.1579	0.2420	0.2602	0.2207	0.1315	0.0135	0.0030	0.0000
	Z	10.3025	10.3050	10.3138	10.4286	10.5543	10.6793	10.8012	10.9193	11.0235	11.0315	11.0338
G4	X	-0.3205	-0.2218	0.1237	4.6715	9.6715	14.6715	19.6715	24.6715	29.2193	29.5725	29.6734
	Y	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000	-1.0000
	Z	10.2442	10.2464	10.2544	10.3630	10.4898	10.6198	10.7496	10.8771	10.9903	10.9990	11.0014
	H		0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
	W		9.8653	9.8756	9.9830	10.1098	10.2398	10.3696	10.4971	10.6090	10.6202	
G5	X	-1.1537	-1.0550	-0.7096	3.8382	8.8382	13.8382	18.8382	23.8382	28.3861	28.7393	28.8402
	Y	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000	-3.6000
	Z	10.0923	10.0946	10.1026	10.2124	10.3514	10.4939	10.6368	10.7773	10.9023	10.9119	10.9146
	H		0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
	W		9.7135	9.7238	9.8324	9.9714	10.1139	10.2568	10.3973	10.5209	10.5333	
R2	X	-1.3815	-1.2814	-0.9311	3.6686	8.7022	13.7137	18.7057	23.6810	28.1940	28.5440	28.6440
	Y	-4.3107	-4.3063	-4.2913	-4.1292	-4.0245	-3.9887	-4.0135	-4.0906	-4.1995	-4.2093	-4.2121
	Z	10.0508	10.0533	10.0622	10.1812	10.3284	10.4748	10.6184	10.7580	10.8815	10.8909	10.8936
R1	X	-1.5295	-1.4294	-1.0791	3.5214	8.5557	13.5678	18.5604	23.5361	28.0494	28.3994	28.4994
	Y	-4.7727	-4.7682	-4.7530	-4.5886	-4.4815	-4.4439	-4.4670	-4.5428	-4.6506	-4.6604	-4.6632
	Z	11.0465	11.0491	11.0580	11.1765	11.3240	11.4705	11.6144	11.7542	11.8779	11.8874	11.8901

主桁の設定

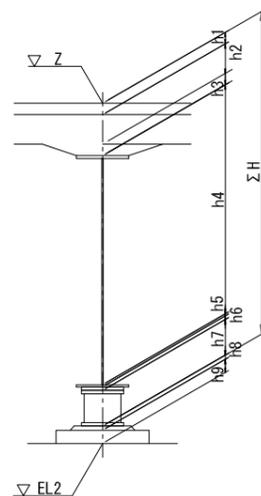


A1線とCL線の交点からA2線とCL線の交点に向かって引いた線を基準線とする。
G3桁は基準線と平行線で1600mm左に配置し、G4桁は1000mm右に配置する。
G1, G2, G5桁は上図のとおり、2600mm間隔で配置する。

対傾構および横桁線の設定



G3線上で4 x 5000 = 20000とし、残りを両側均等に振り分ける。
角度はS1線に平行とする。



構造高表

		A1 (S1)					A2 (S2)				
		G1	G2	G3	G4	G5	G1	G2	G3	G4	G5
路面高	Z	10.709	10.557	10.406	10.254	10.103	11.231	11.155	11.074	10.990	10.902
舗装厚(+中詰c)	h1	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080	0.080
床版厚	h2	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210	0.210
ハンチ高	h3	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090	0.090
桁高	h4	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800	1.800
下フランジ厚	h5	0.033	0.030	0.025	0.029	0.030	0.033	0.030	0.025	0.029	0.030
ソールPL厚	h6	0.027	0.027	0.027	0.027	0.027	0.028	0.028	0.028	0.028	0.028
支承高	h7	0.136	0.136	0.136	0.136	0.136	0.156	0.156	0.156	0.156	0.156
ΣH		2.376	2.373	2.368	2.372	2.373	2.397	2.394	2.389	2.393	2.394
調整モルタル	h7										
台座高	h8	-	-	-	-	-					
橋座面高(下部工天端高)	EL2										

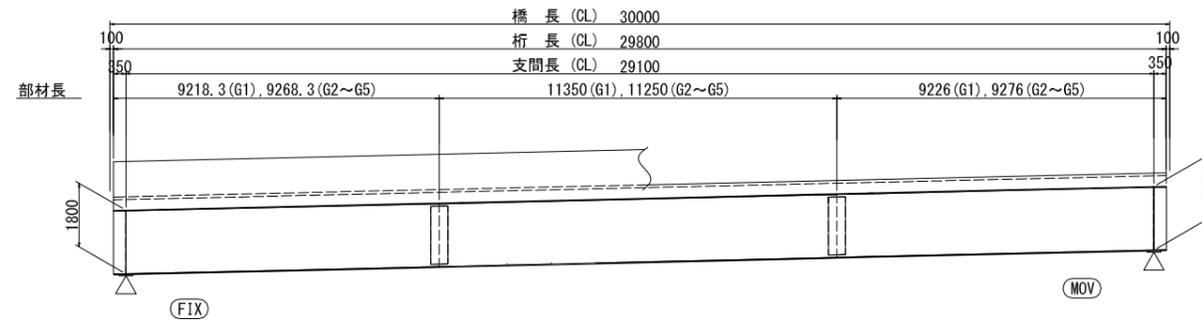
実施

【3号橋】

工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高遠幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大規模)工事		
図面名	線形図(その2)		
縮尺	-	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	4/64	

上部工構造一般図

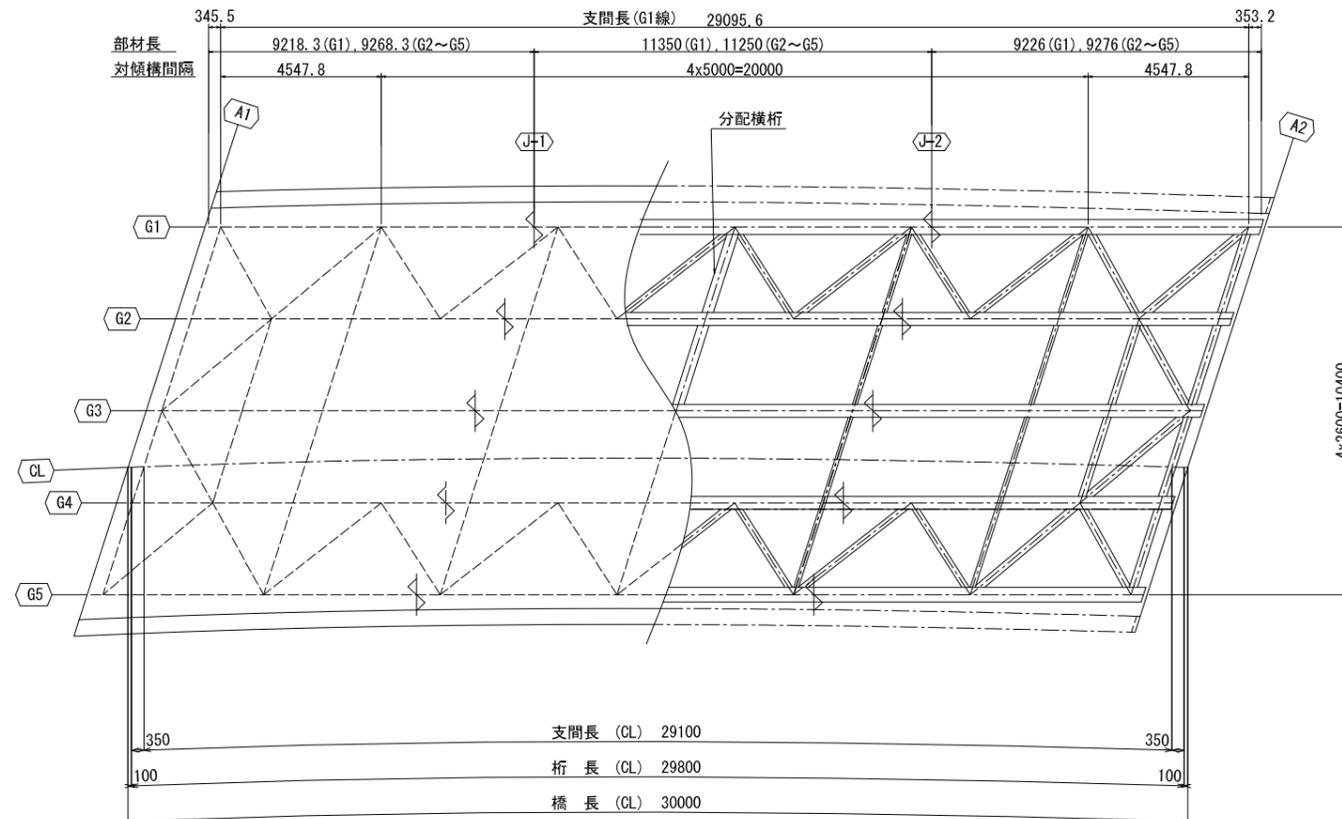
側面図 S=1:100



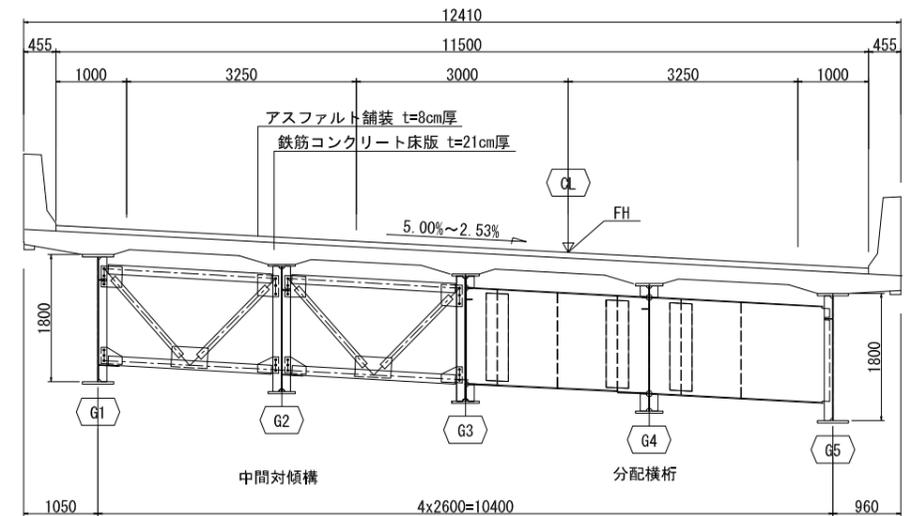
設計条件

道路規格	第3種第2級 (V=60km/h)	
形式	鋼単純非合成板桁橋	
橋長	30.000m (CL線上)	
桁長	29.800m (CL線上)	
支間長	29.100m (CL線上)	
幅員構成	0.455m + 11.500m + 0.455m = 12.410m	
平面線形	R = 330m ~ A=130m	
縦断勾配	2.50% (—)	
横断勾配	5.00%~2.53% (—)	
斜角	右70° 00' 00" (A1), 右73° 57' 56" (A2)	
活荷重	B活荷重	
雪荷重	無し	
舗装厚	アスファルト舗装 t=8cm厚	
地震係数	kh1=0.30	
主要鋼材	SM490Y, SM400, S10T	
現場継手	高力ボルト継手 (接触面に無機ジンクリッチペイント塗布)	
床版	形式	鉄筋コンクリート床版 t=21cm厚
	コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
	鉄筋	SD345
適用示方書	道路橋示方書・同解説	I 共通編、II 鋼橋編 (H24.3 日本道路協会)
	道路橋示方書・同解説	V 耐震設計編 (H24.3 日本道路協会)
	鋼道路橋の疲労設計指針	(H14.3 日本道路協会)
	鋼道路橋設計便覧	(S55.8 日本道路協会)

平面図 S=1:100



断面図 S=1:50



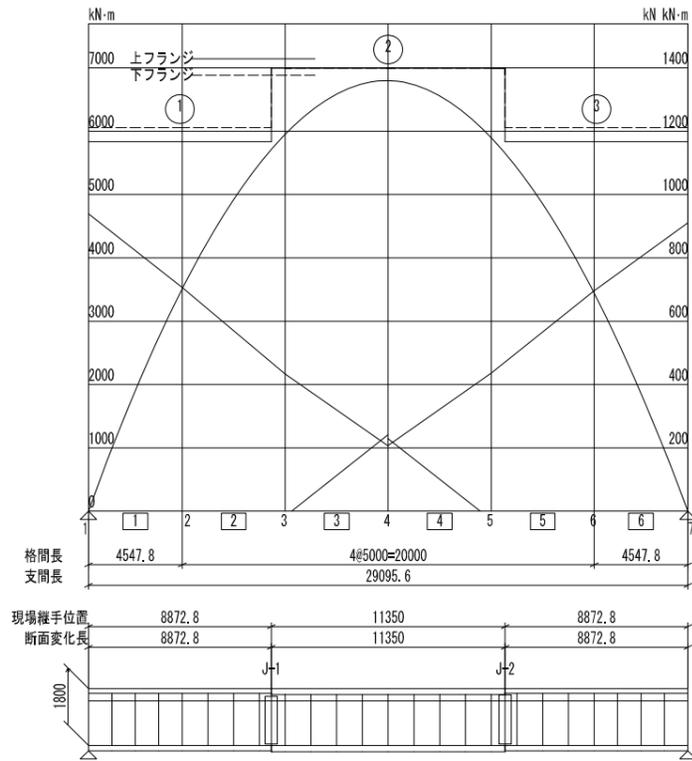
実施

【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路 (Ⅳ) 橋梁上部工 (橋大懸橋) 工事		
図面名	上部工構造一般図		
縮尺	1:100	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	5/64	

応力図(その1)

G-1

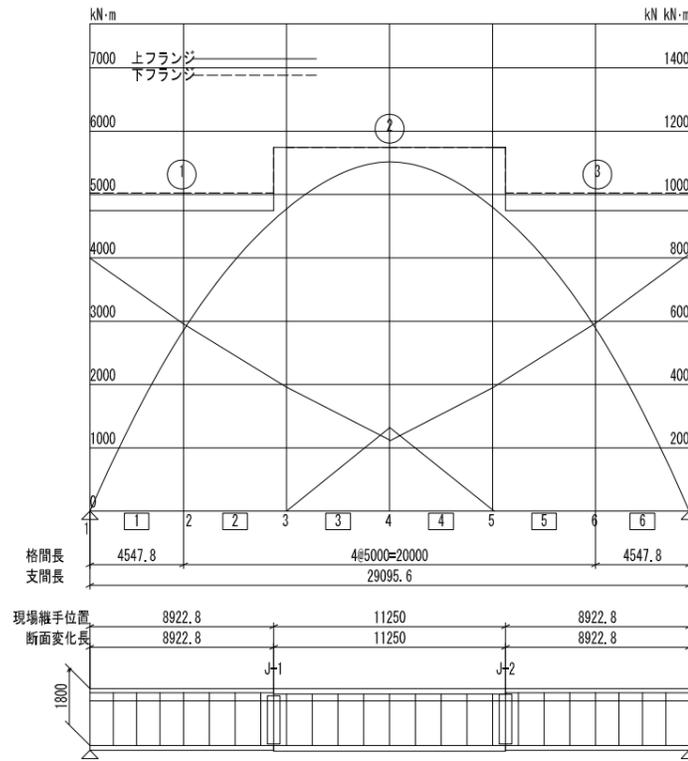


単位: mm N/mm²

断面名	1	2	3	材質	
上フランジ	Sec-1	Sec-2	Sec-3	(1): SM400	
幅	420	420	420	(2): SM490	
厚	31(3)	39(3)	31(3)	(3): SM490Y	
腹板	高さ	1769	1761	1769	(4): SM570
厚	9(3)	9(3)	9(3)		
下フランジ	幅	420	420		
厚	33(3)	39(3)	33(3)		
上フランジ	σ	0	-206	-204	0
	σ_a	210	210	210	210
	$\sigma_a - \sigma$	210	4	6	210
下フランジ	σ	0	198	204	196
	σ_a	210	210	210	210
	$\sigma_a - \sigma$	210	12	6	14
腹板	τ	59	30	15	30
	τ_a	120	120	120	120
合成		0.24	0.96	0.88	0.94
計算点位置	左	J-1	最大値	J-2	右
上フランジ孔引き後 σ			205		
下フランジ孔引き後 σ				202	

3号橋 G-1

G-2

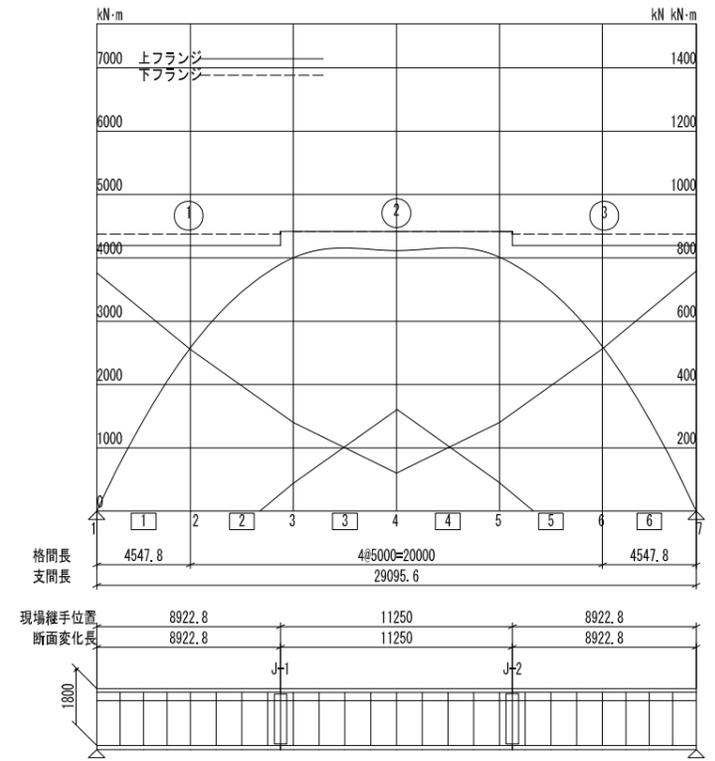


単位: mm N/mm²

断面名	1	2	3	材質	
上フランジ	Sec-1	Sec-2	Sec-3	(1): SM400	
幅	370	370	370	(2): SM490	
厚	27(3)	35(3)	27(3)	(3): SM490Y	
腹板	高さ	1773	1765	1773	(4): SM570
厚	9(3)	9(3)	9(3)		
下フランジ	幅	370	370		
厚	30(3)	35(3)	30(3)		
上フランジ	σ	0	-203	-202	-205
	σ_a	210	210	210	210
	$\sigma_a - \sigma$	210	7	8	5
下フランジ	σ	0	192	202	193
	σ_a	210	210	210	210
	$\sigma_a - \sigma$	210	18	8	17
腹板	τ	50	26	17	26
	τ_a	120	120	120	120
合成		0.17	0.93	0.87	0.94
計算点位置	左	J-1	最大値	J-2	右
上フランジ孔引き後 σ			202		
下フランジ孔引き後 σ				203	

3号橋 G-2

G-3



単位: mm N/mm²

断面名	1	2	3	材質	
上フランジ	Sec-1	Sec-2	Sec-3	(1): SM400	
幅	370	370	370	(2): SM490	
厚	23(3)	25(3)	23(3)	(3): SM490Y	
腹板	高さ	1777	1775	1777	(4): SM570
厚	9(3)	9(3)	9(3)		
下フランジ	幅	370	370		
厚	25(3)	25(3)	25(3)		
上フランジ	σ	0	-195	-198	-196
	σ_a	210	210	210	210
	$\sigma_a - \sigma$	210	15	12	14
下フランジ	σ	0	187	198	188
	σ_a	210	210	210	210
	$\sigma_a - \sigma$	210	23	12	22
腹板	τ	47	19	13	19
	τ_a	120	120	120	120
合成		0.15	0.85	0.85	0.85
計算点位置	左	J-1	最大値	J-2	右
上フランジ孔引き後 σ			197		
下フランジ孔引き後 σ				197	

3号橋 G-3

注) 1 寸法単位はミリメートルとする

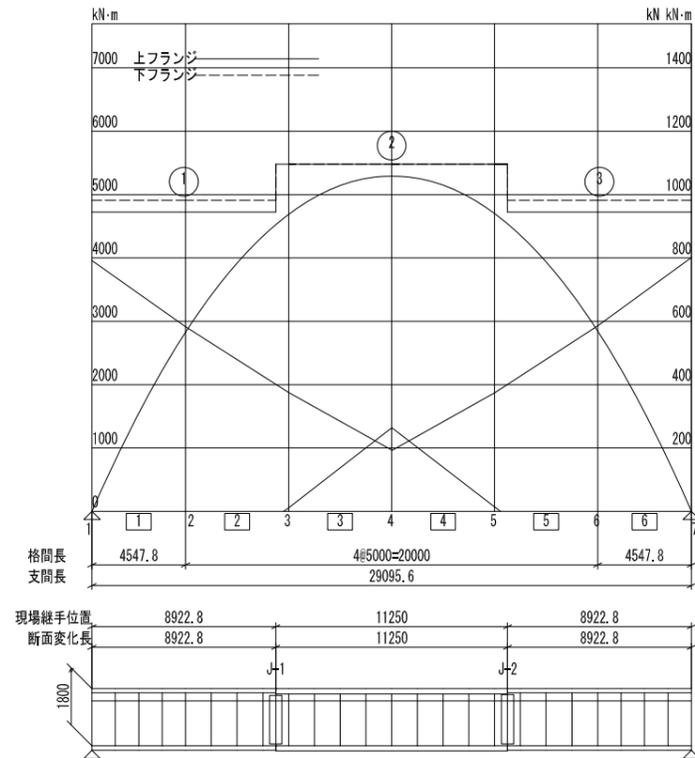
実施

【3号橋】

工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	応力図(その1)		
縮尺	-	位置	NO. ~NO.
設計者	設計年度		
宮城県	図番	6/64	

応力図 (その2)

G-4

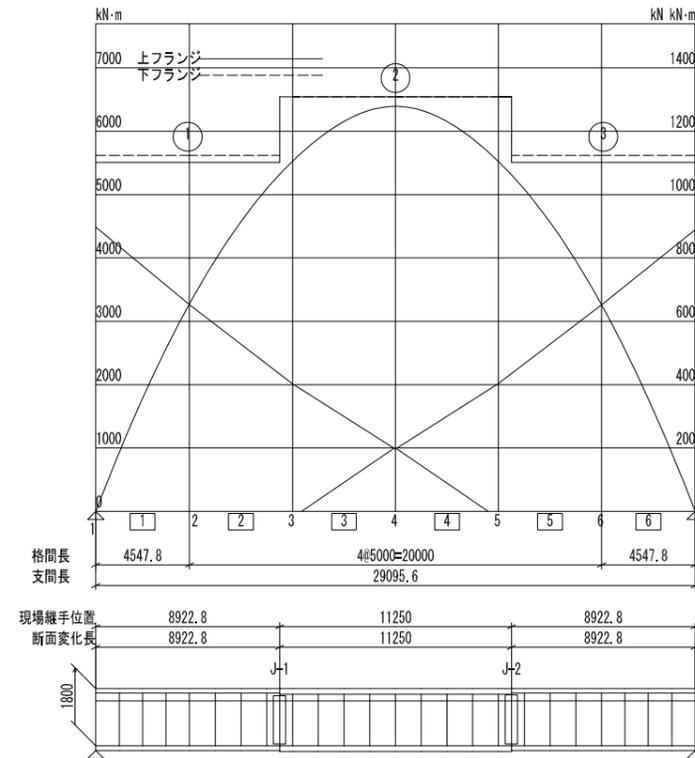


単位: mm N/mm²

断面名	Sec-1	Sec-2	Sec-3	材質
上フランジ	幅 370	幅 370	幅 370	(1): SM400
	厚 27(3)	厚 33(3)	厚 27(3)	(2): SM490
腹板	高さ 1773	高さ 1767	高さ 1773	(3): SM490Y
	厚 9(3)	厚 9(3)	厚 9(3)	(4): SM570
下フランジ	幅 370	幅 370	幅 370	
	厚 29(3)	厚 33(3)	厚 29(3)	
上フランジ	σ 0	σ -201	σ -203	
	σ_a 210	σ_a 210	σ_a 210	
	$\sigma_a - \sigma$ 210	$\sigma_a - \sigma$ 9	$\sigma_a - \sigma$ 8	
下フランジ	σ 0	σ 193	σ 194	
	σ_a 210	σ_a 210	σ_a 210	
	$\sigma_a - \sigma$ 210	$\sigma_a - \sigma$ 17	$\sigma_a - \sigma$ 16	
腹板	τ 50	τ 25	τ 17	
	τ_a 120	τ_a 120	τ_a 120	
	合成 0.17	合成 0.91	合成 0.89	
計算点位置	左	J-1	J-2	右
上フランジ孔引き後 σ				
下フランジ孔引き後 σ		203	204	

3号橋 G-4

G-5



単位: mm N/mm²

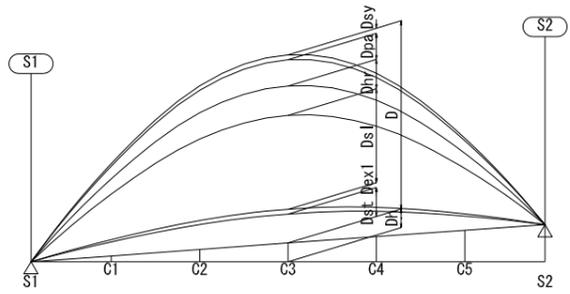
断面名	Sec-1	Sec-2	Sec-3	材質
上フランジ	幅 420	幅 420	幅 420	(1): SM400
	厚 29(3)	厚 36(3)	厚 29(3)	(2): SM490
腹板	高さ 1771	高さ 1764	高さ 1771	(3): SM490Y
	厚 9(3)	厚 9(3)	厚 9(3)	(4): SM570
下フランジ	幅 420	幅 420	幅 420	
	厚 30(3)	厚 36(3)	厚 30(3)	
上フランジ	σ 0	σ -203	σ -205	
	σ_a 210	σ_a 210	σ_a 210	
	$\sigma_a - \sigma$ 210	$\sigma_a - \sigma$ 7	$\sigma_a - \sigma$ 5	
下フランジ	σ 0	σ 199	σ 205	
	σ_a 210	σ_a 210	σ_a 210	
	$\sigma_a - \sigma$ 210	$\sigma_a - \sigma$ 11	$\sigma_a - \sigma$ 11	
腹板	τ 56	τ 27	τ 13	
	τ_a 120	τ_a 120	τ_a 120	
	合成 0.22	合成 0.93	合成 0.89	
計算点位置	左	J-1	J-2	右
上フランジ孔引き後 σ				
下フランジ孔引き後 σ		205	205	

3号橋 G-5

注)
1 寸法単位はミリメートルとする

実施			
工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	応力図(その2)		
縮尺	-	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	7/64	

キャンバー図

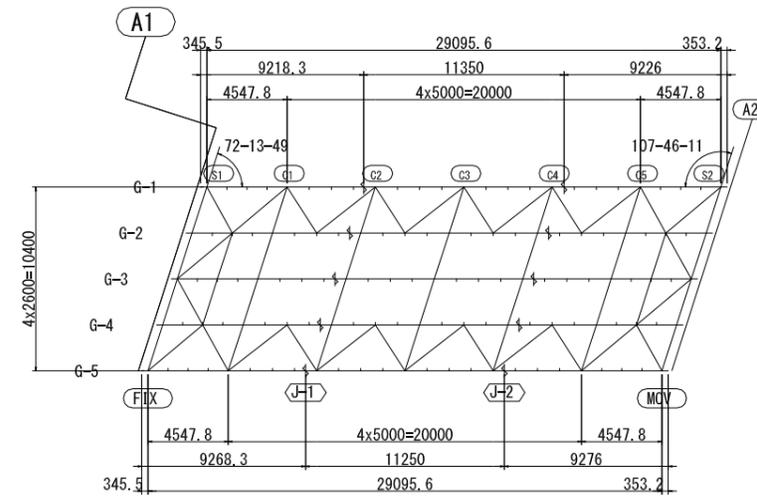


単位 mm

		S1	C1	C2	C3	C4	C5	S2
G-1	Dh	0	80	171	264	355	445	523
	Dst	0	4	7	8	7	4	0
	Dex1	0	1	1	1	1	1	0
	Dsl	0	13	23	27	23	13	0
	Dhr	0	4	7	8	7	4	0
	Dpa	0	4	6	7	6	4	0
	Dsy	0	1	1	1	1	1	0
	D	0	26	46	53	46	26	0
G-2	Dh	0	94	196	302	406	508	597
	Dst	0	4	8	9	8	4	0
	Dex1	0	1	1	2	1	1	0
	Dsl	0	13	24	27	24	13	0
	Dhr	0	2	4	5	4	2	0
	Dpa	0	4	7	8	7	4	0
	Dsy	0	0	1	1	1	0	0
	D	0	25	45	52	45	25	0
G-3	Dh	0	103	218	335	452	567	668
	Dst	0	4	8	9	8	4	0
	Dex1	0	1	1	2	1	1	0
	Dsl	0	13	24	28	24	13	0
	Dhr	0	2	4	4	4	2	0
	Dpa	0	4	7	8	7	4	0
	Dsy	0	0	1	1	1	0	0
	D	0	25	44	51	45	25	0
G-4	Dh	0	109	235	365	495	623	736
	Dst	0	4	8	9	8	4	0
	Dex1	0	1	1	2	1	1	0
	Dsl	0	13	24	27	24	13	0
	Dhr	0	2	5	5	5	2	0
	Dpa	0	4	7	8	7	4	0
	Dsy	0	0	1	1	1	0	0
	D	0	25	45	52	45	25	0
G-5	Dh	0	110	249	391	534	675	800
	Dst	0	4	8	9	8	4	0
	Dex1	0	1	1	1	1	1	0
	Dsl	0	13	23	26	23	13	0
	Dhr	0	4	8	9	8	4	0
	Dpa	0	4	6	7	6	4	0
	Dsy	0	1	1	1	1	1	0
	D	0	26	47	54	47	26	0

注意
 Dh : 縦断勾配
 Dst : 鋼重によるたわみ
 Dex1 : 添架物によるたわみ
 Dsl : 床版によるたわみ
 Dhr : 高欄によるたわみ
 Dpa : 舗装によるたわみ
 Dsy : 遮音壁によるたわみ
 D : 合計

配置図

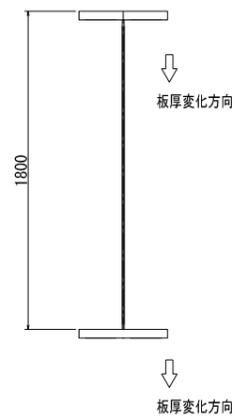


注)
 1 寸法単位はミリメートルとする

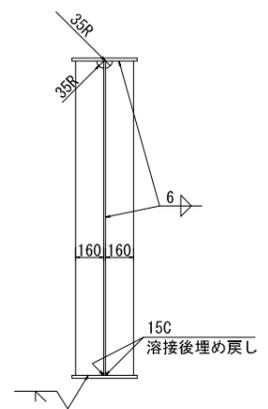
実施		【3号橋】	
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	各部詳細図		
縮尺	-	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	8/64	

各部詳細図

主桁基本寸法 S=1:20

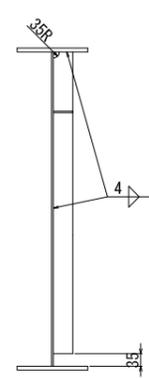


端支点

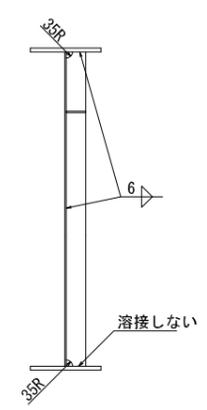


垂直補剛材詳細図 S=1:20

中間部

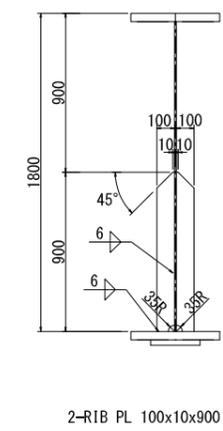


格点部

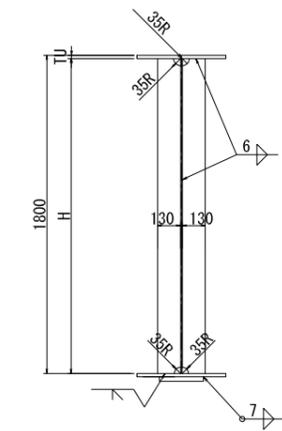


支点上補強リブ詳細 S=1:20

端支点部

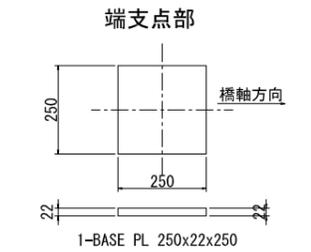


ジャッキアップ支点上詳細 S=1:20



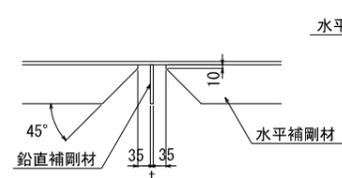
	G1	G2	G3	G4	G5
TU	31	27	23	27	29
H	1769	1773	1777	1773	1771

ベースプレート詳細 S=1:10

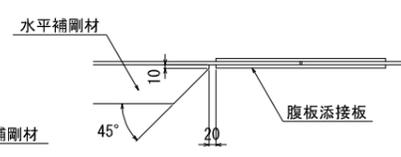


水平補剛材詳細図 S=1:10

中間部

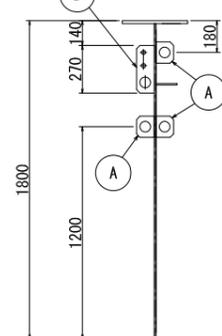


添接部

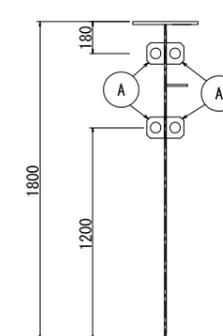


補剛材及び支保工具取付位置 S=1:20

外桁



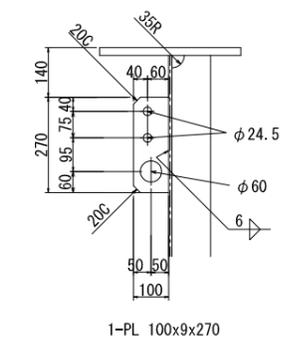
内桁



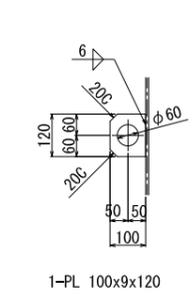
取付位置...間隔は1.8m以内とする

吊金具詳細図 S=1:10

Bタイプ



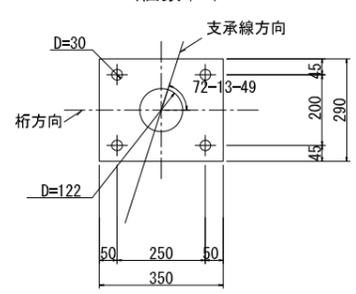
Aタイプ



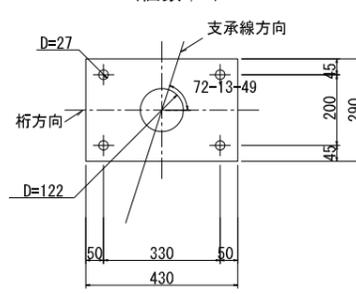
1-PL 100x9x120

ソールプレート詳細 S=1:10

A1橋台(固定)
(個数: 6)



A2橋台(可動)
(個数: 6)



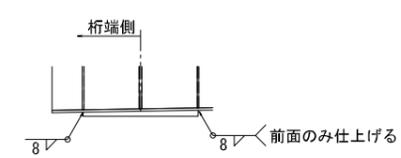
1-SOLE PL 290xTSx350 (SM490YB)

1-SOLE PL 290xTSx430 (SM490YB)

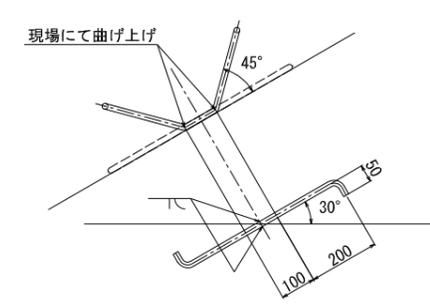
	A1側					A2側				
	G1	G2	G3	G4	G5	G1	G2	G3	G4	G5
T1	24.0	23.4	23.0	22.9	22.9	24.3	23.8	23.2	22.7	22.1
T2	30.0	30.6	31.0	31.1	31.1	31.7	32.2	32.8	33.3	33.9
TC	27.0	27.0	27.0	27.0	27.0	28.0	28.0	28.0	28.0	28.0
TS	32	34	34	34	34	34	36	36	36	36

ソールプレートの溶接

S1, <S2>



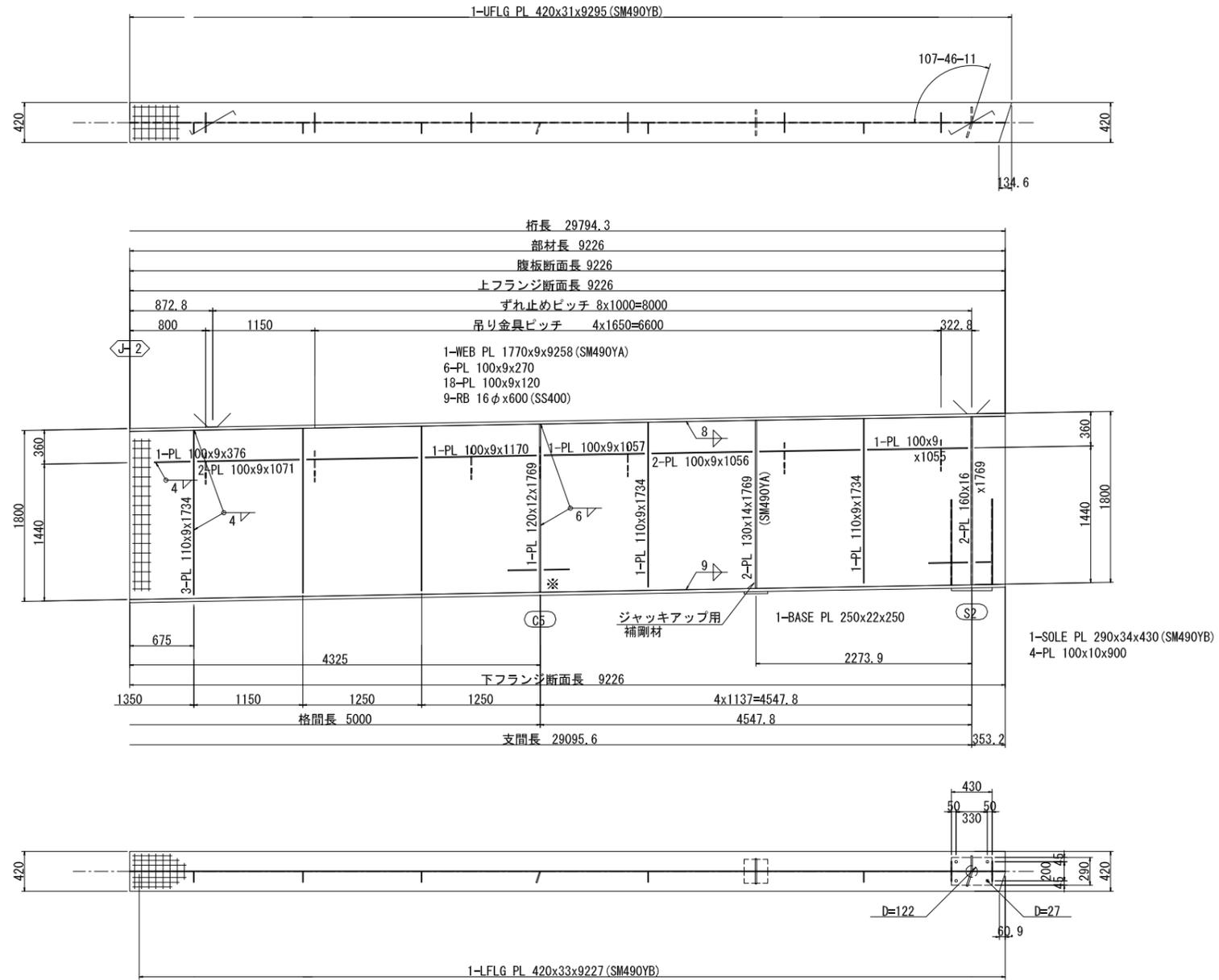
スラブアンカー詳細図 S=1:10



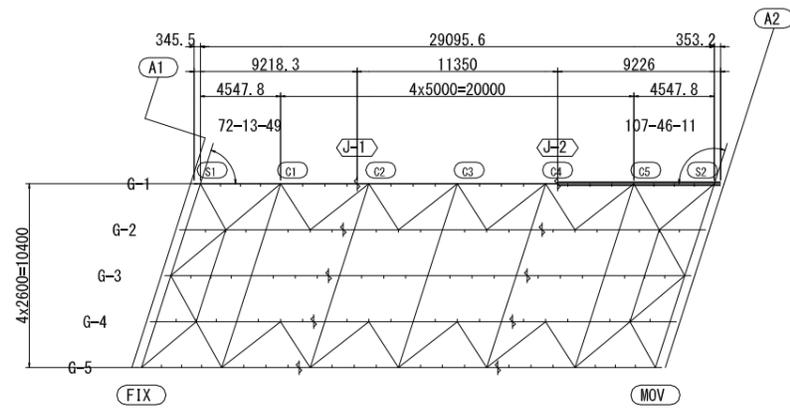
- 注)
1 寸法単位はミリメートルとする
2 特記以外の材質はSM400Aとする
3 特記以外のスカーラップはR=35とする

実施			【3号橋】
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大橋橋)工事		
図面名	各部詳細図		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	9/64	

主桁G1 (その2) S=1:30



配置図



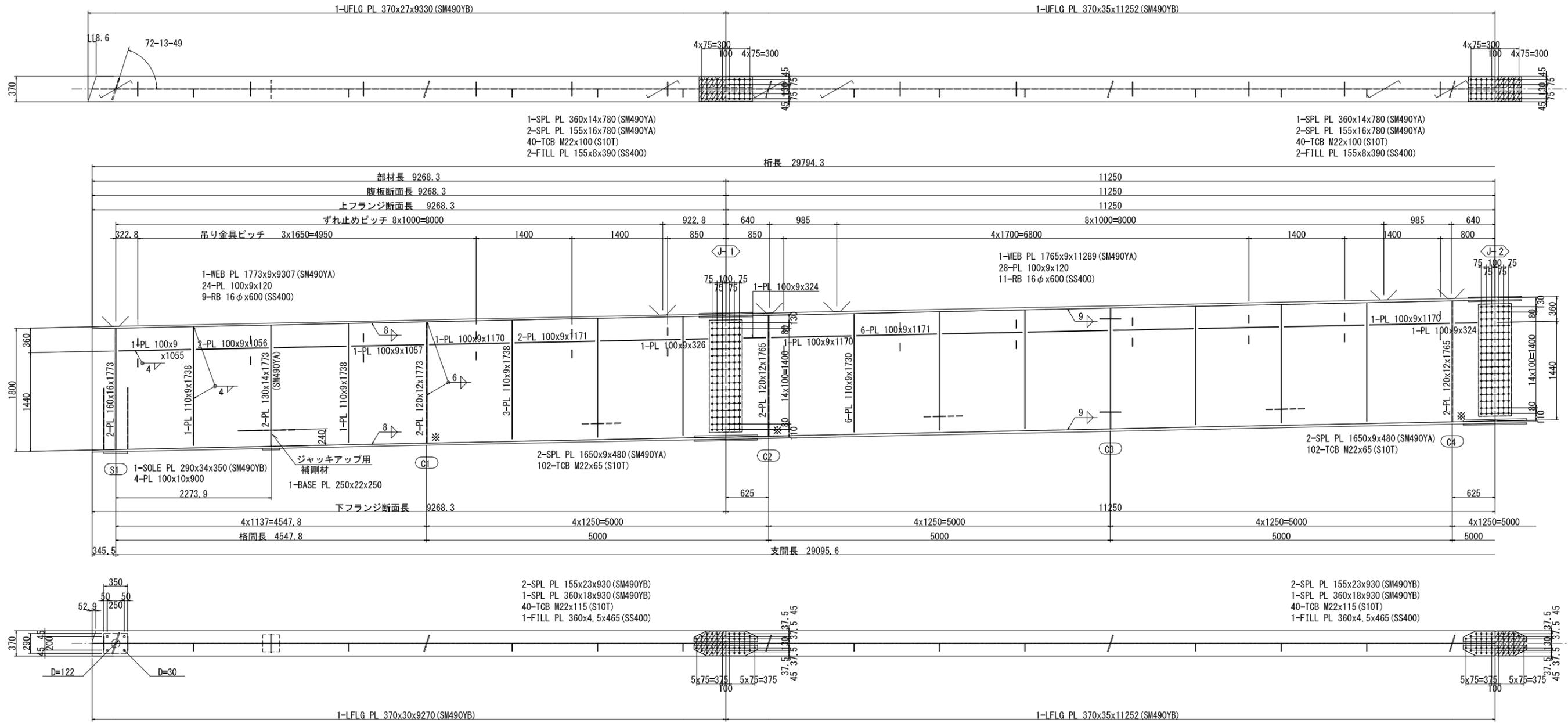
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中 印は TCB M22 (S10T) を示す。
 - 5 ※ 印は溶接しない。

実施

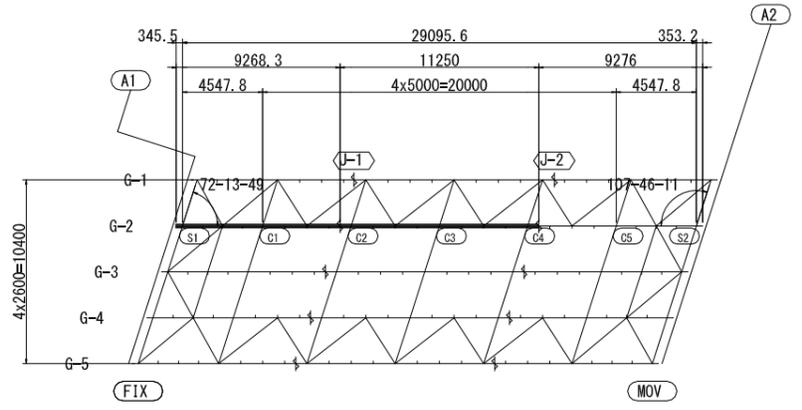
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(橋大規模) 工事		
図面名	主桁G1 (その2)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	11/64	

主桁G2 (その1) S=1:30



配置図



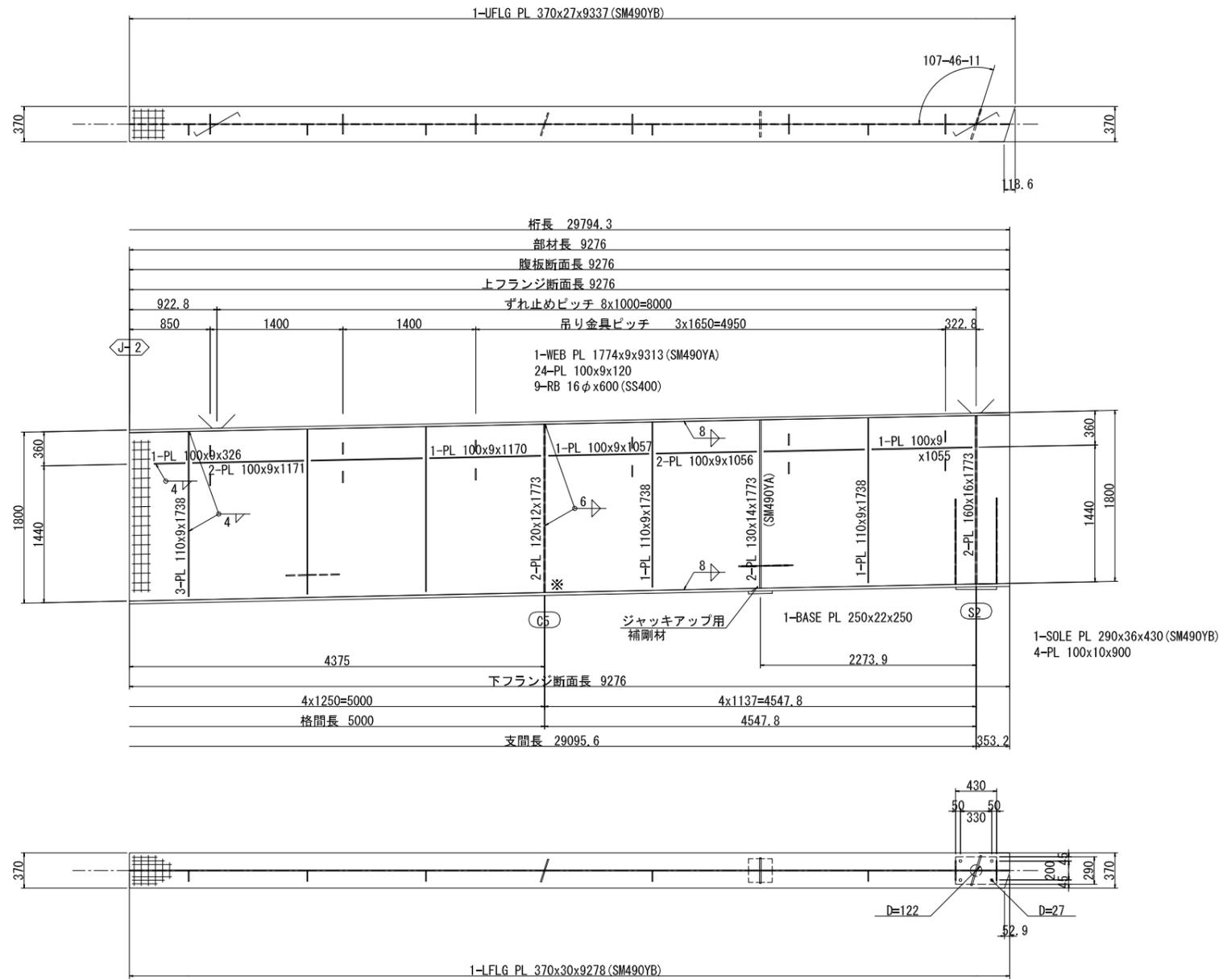
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中印はTCB M22 (S10T)を示す。
 - 5 ※印は溶接しない。

実施

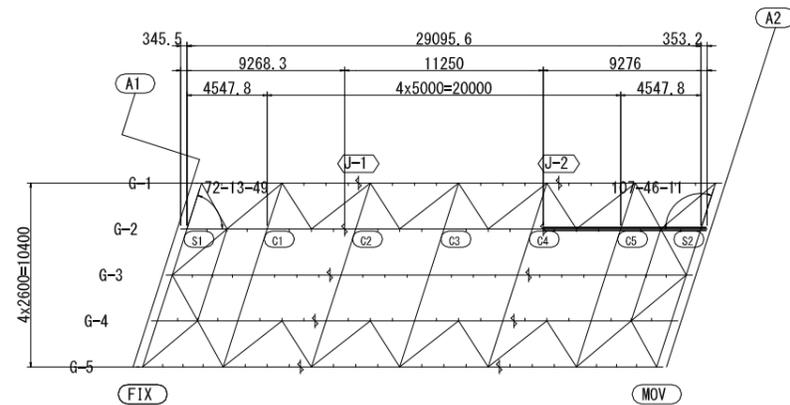
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	主桁G2 (その1)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~NO.
設計者	設計		年度
宮城県	図番	12/64	

主桁G2 (その2) S=1:30



配置図



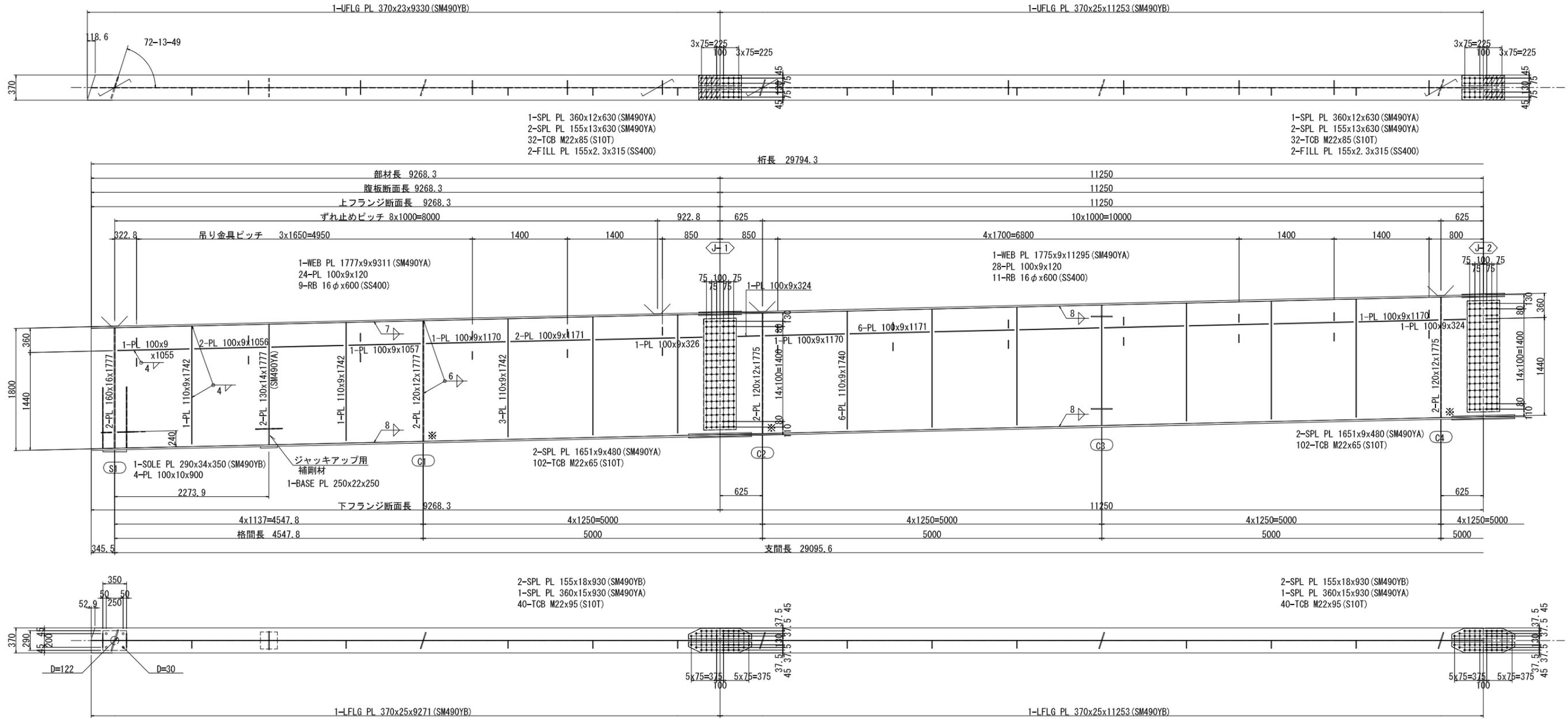
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中 印は TCB M22 (S10T) を示す。
 - 5 ※ 印は溶接しない。

実施

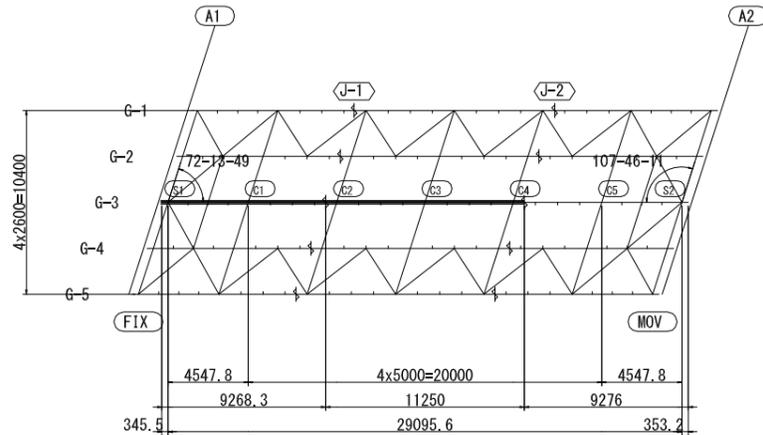
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(新大瀬橋) 工事		
図面名	主桁G2 (その2)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	13/64	

主桁G3 (その1) S=1:30



配置図



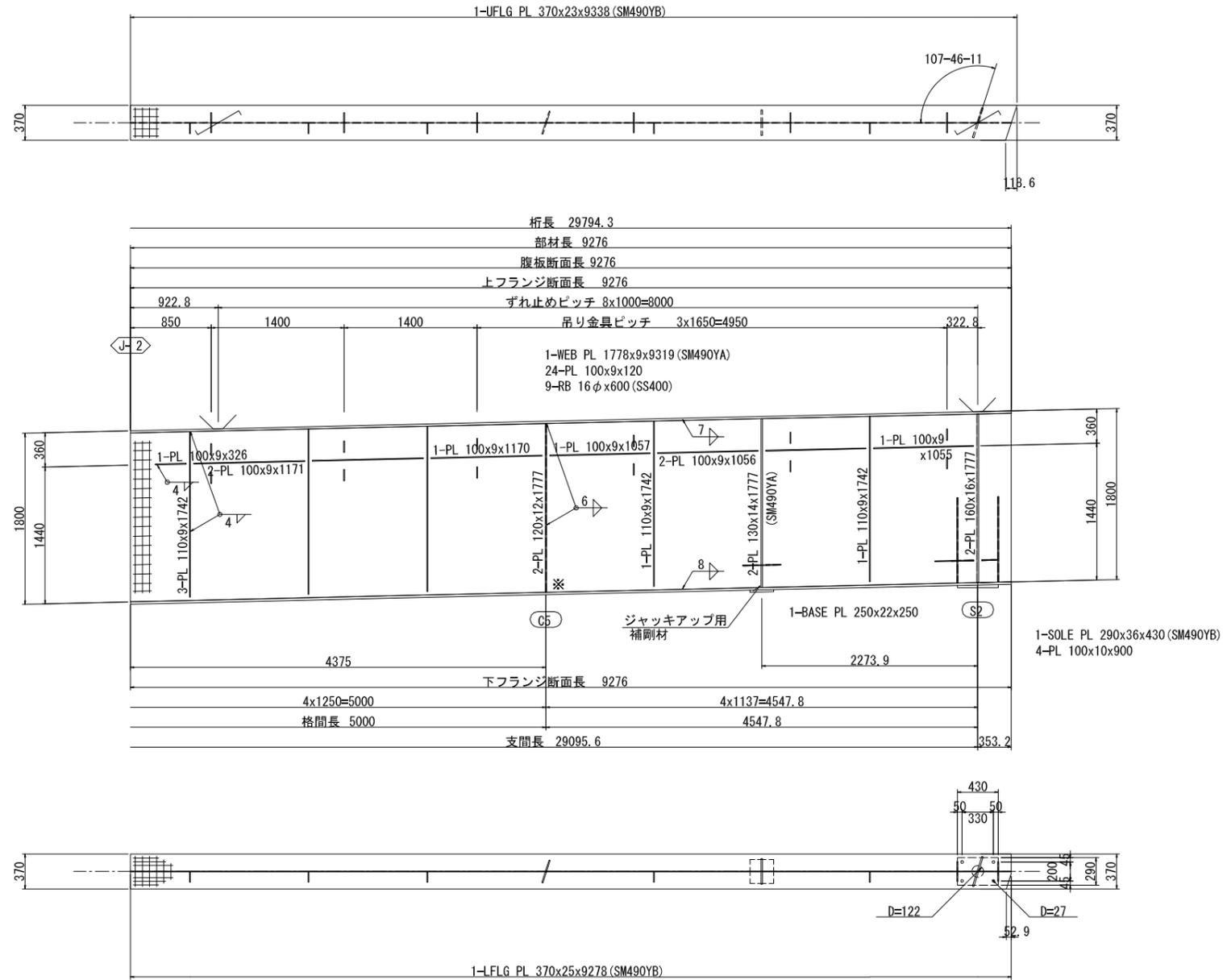
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中印はTCB M22 (S10T)を示す。
 - 5 ※印は溶接しない。

実施

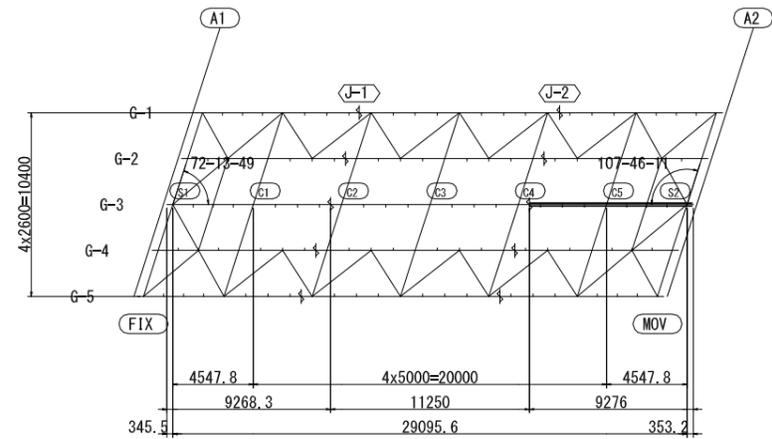
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路 (Ⅲ) 橋梁上部工 (新大瀬橋) 工事		
図面名	主桁G3 (その1)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	14/64	

主桁G3 (その2) S=1:30



配置図



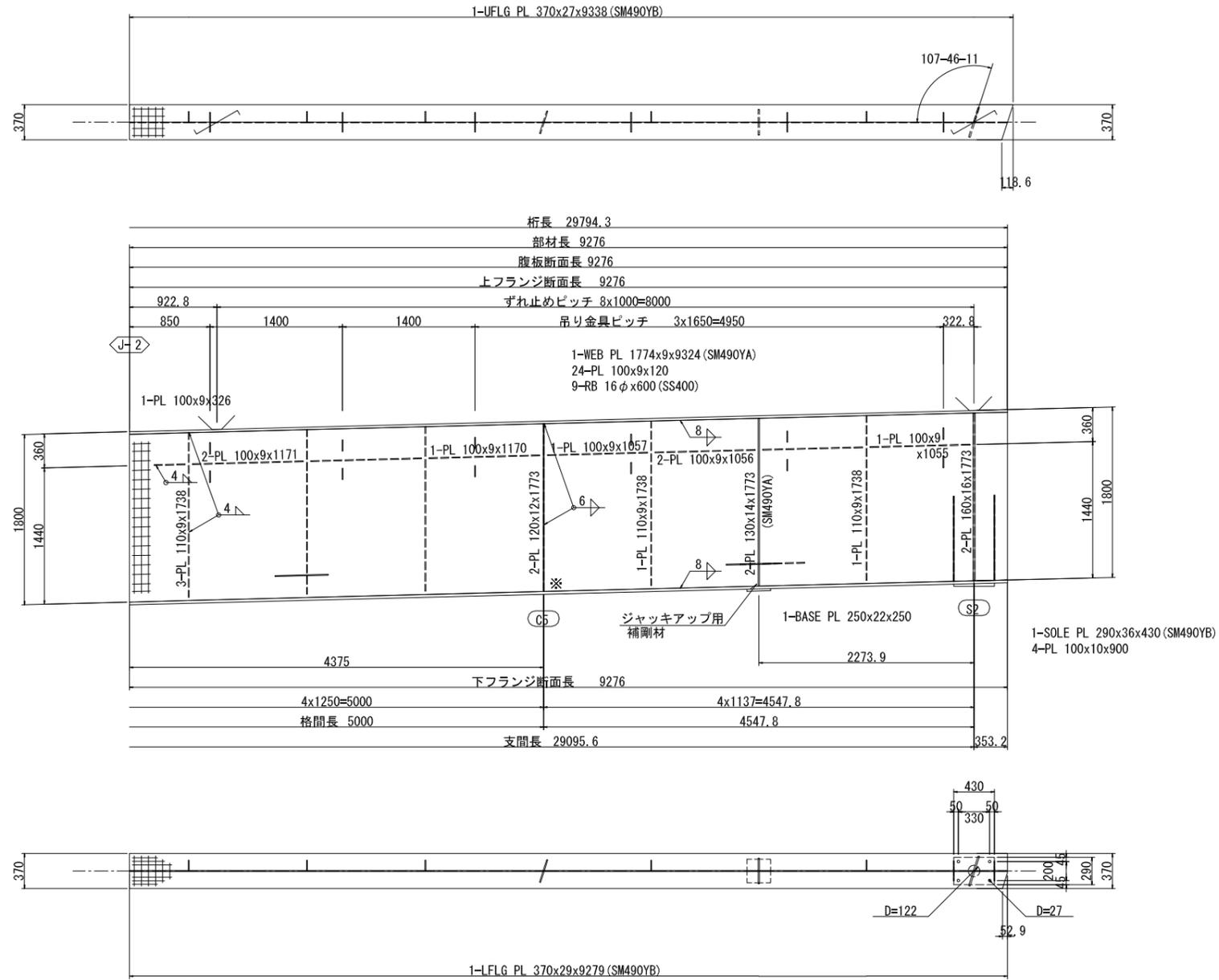
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中 印は TCB M22 (S10T) を示す。
 - 5 ※ 印は溶接しない。

実施

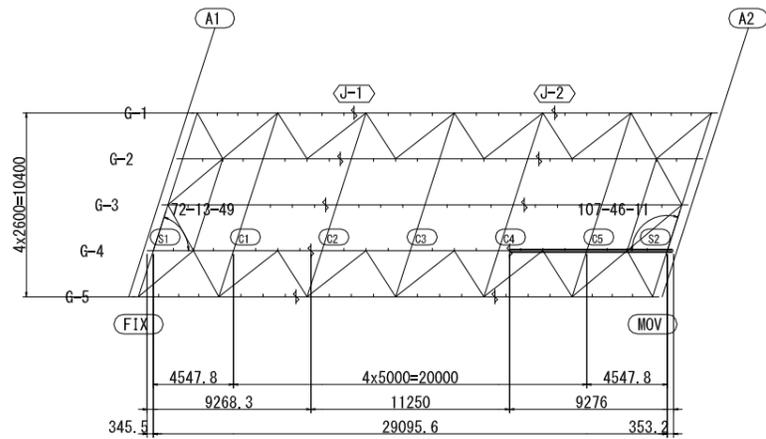
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路 (Ⅲ) 橋梁上部工 (橋大瀬橋) 工事		
図面名	主桁G3 (その2)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	15/64	

主桁G4 (その2) S=1:30



配置図



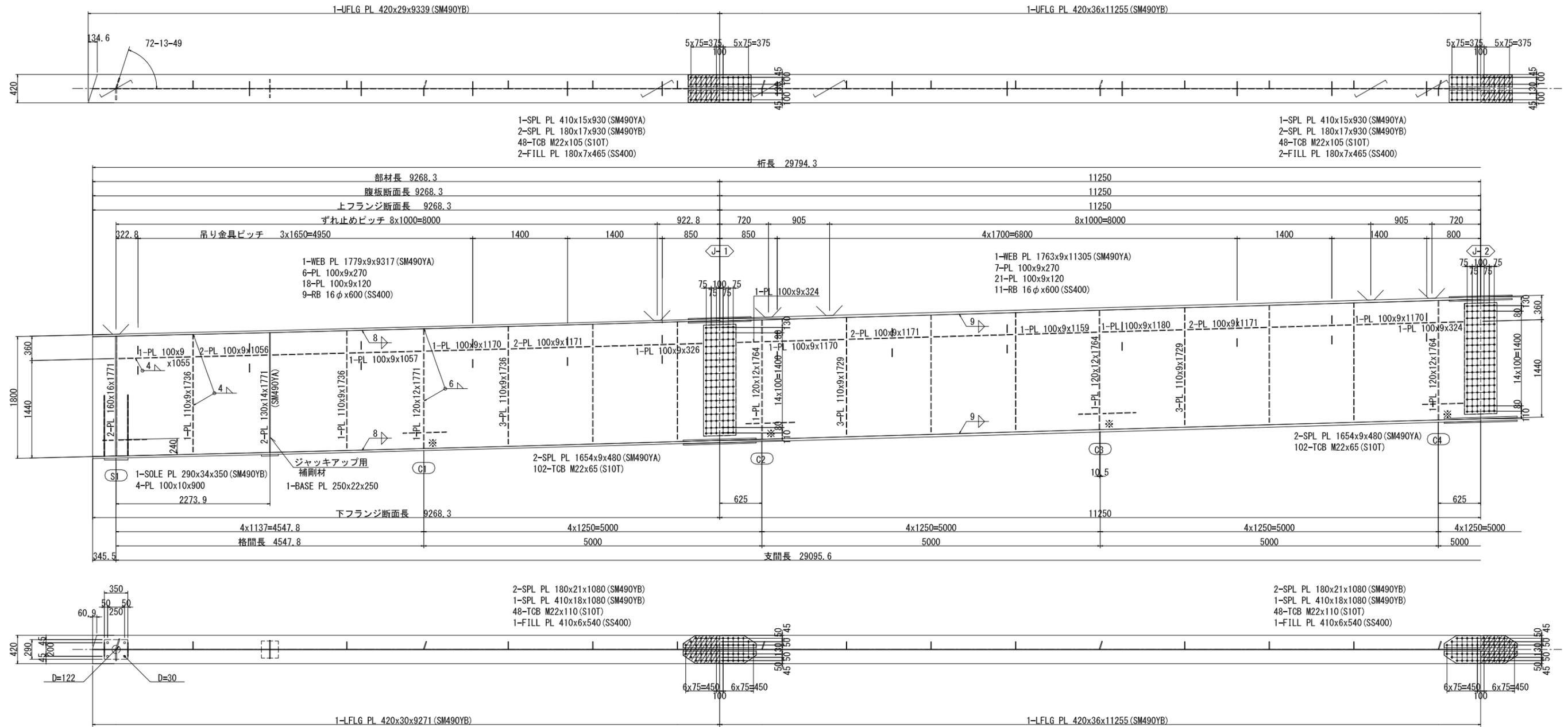
- 注)
 1 寸法単位はミリメートルとする
 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 4 中 印は TCB M22 (S10T) を示す。
 5 ※ 印は溶接しない。

実施

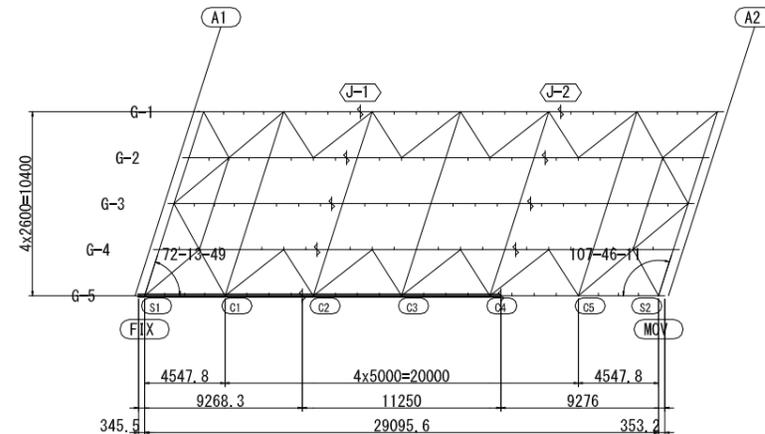
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大橋橋)工事		
図面名	主桁G4 (その2)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	17/64	

主桁G5 (その1) S=1:30



配置図



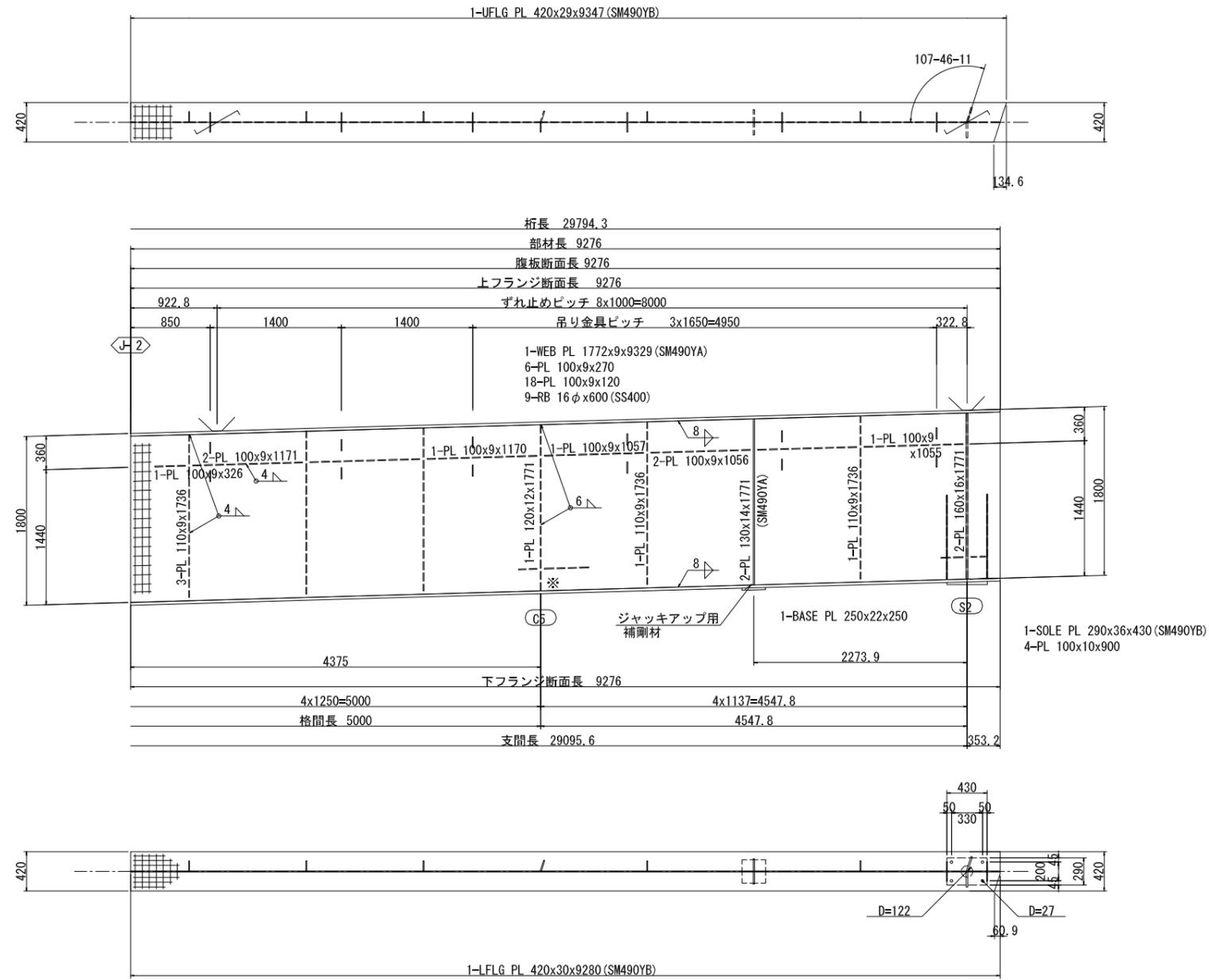
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特配以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中印はTCB M22 (S10T)を示す。
 - 5 ※印は溶接しない。

実施

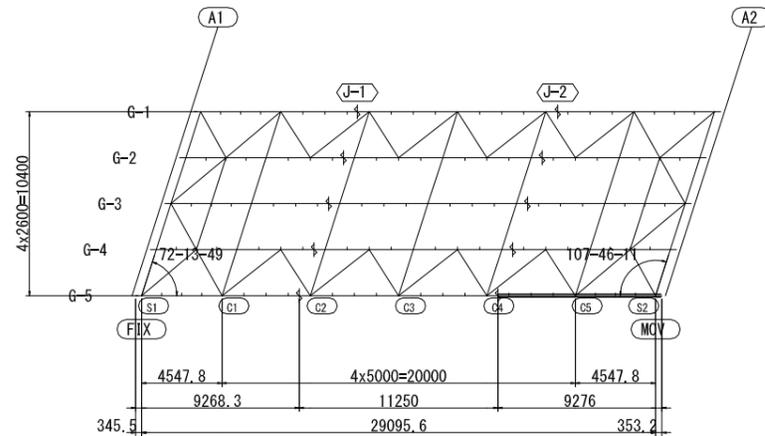
[3号橋]

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路 (Ⅳ) 橋梁上部工 (橋大渡橋) 工事		
図面名	主桁G5 (その1)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~ NO.
設計者	宮城県	設計年度	
図番	18/64		

主桁G5 (その2) S=1:30



配置図



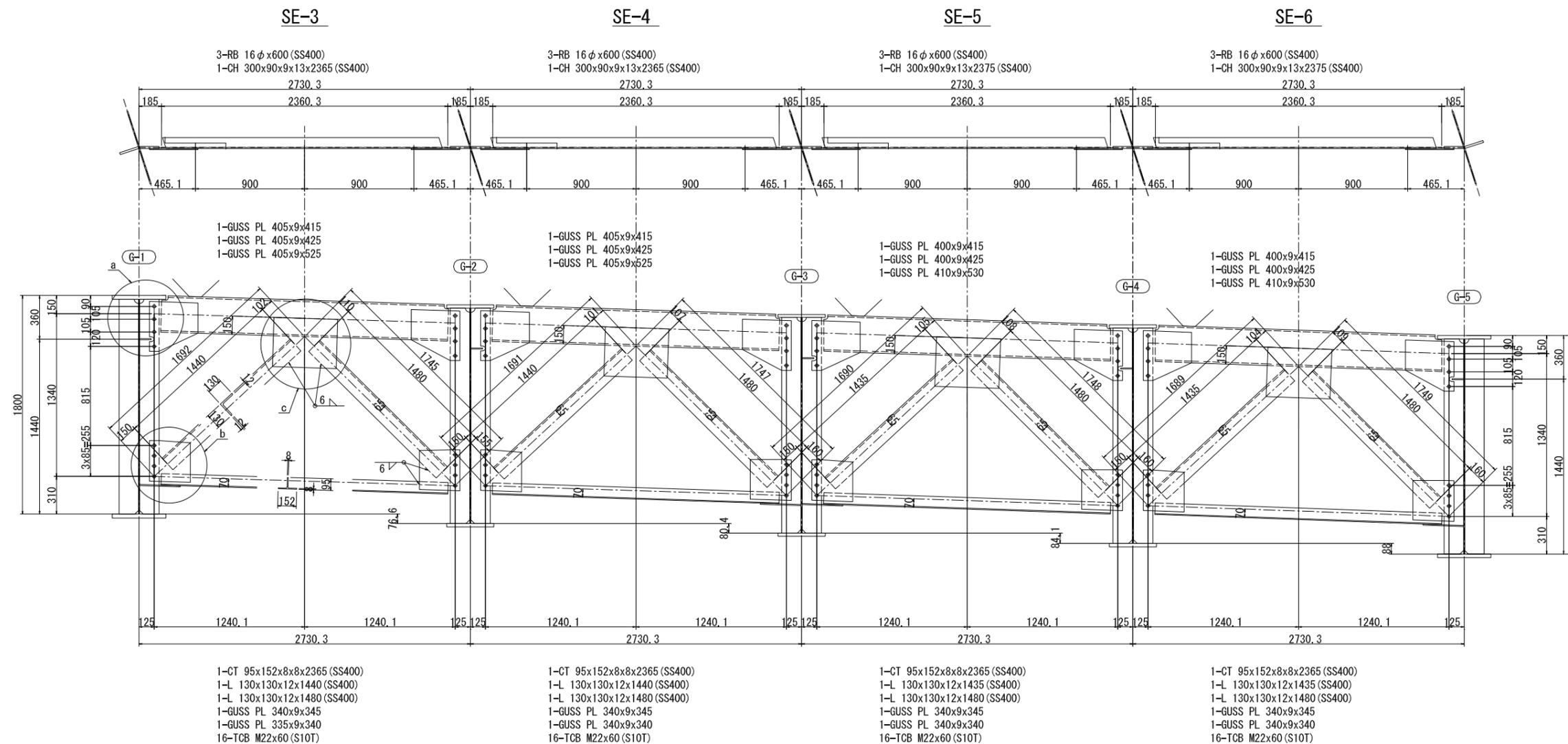
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特配以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中 印は TCB M22 (S10T) を示す。
 - 5 ※ 印は溶接しない。

実施

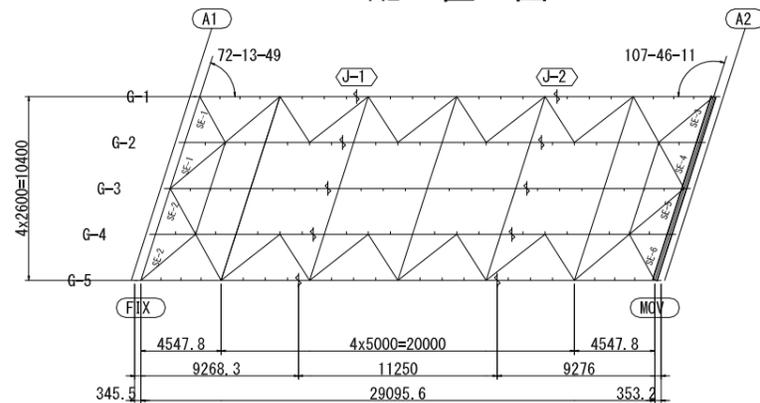
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高道幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	主桁G5 (その2)		
縮尺	1:30	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	19/64	

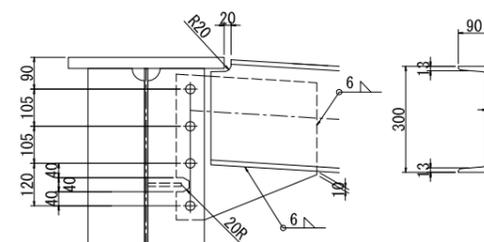
端対傾構 (その2) S=1:20



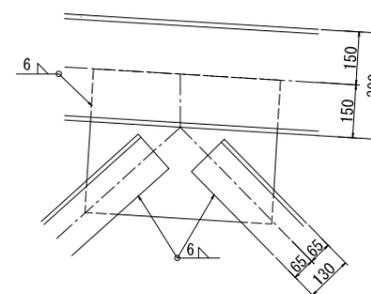
配置図



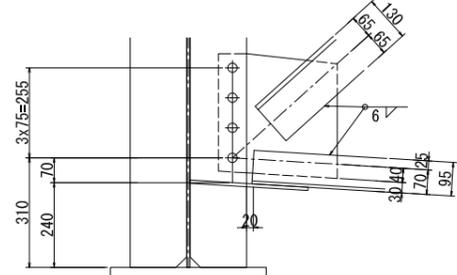
a部詳細 S=1:10



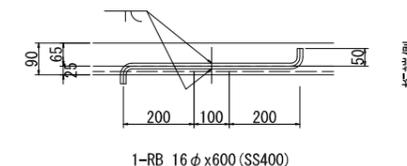
c部詳細 S=1:10



b部詳細 S=1:10



スラブアンカー詳細図 S=1:10



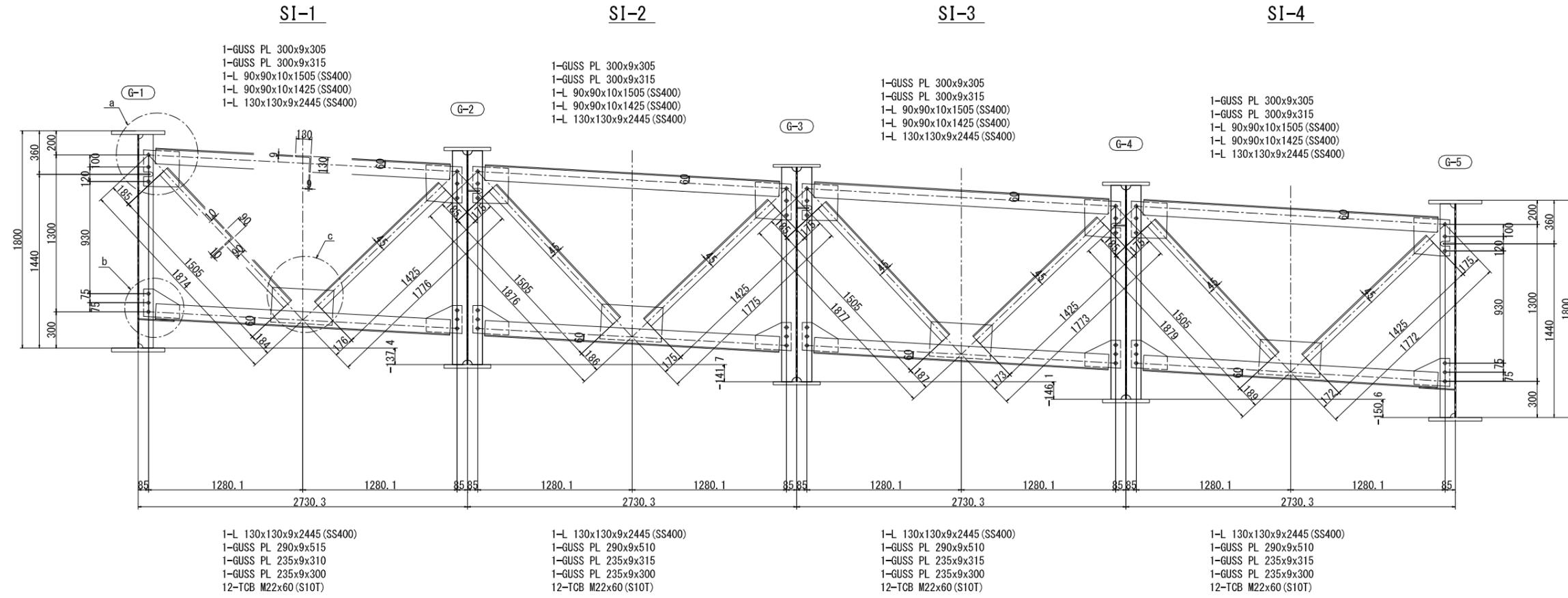
- 注)
 1 寸法単位はミリメートルとする
 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 3 特配以外のスカーラップはR=3.5とする

実施

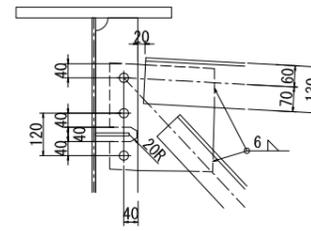
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	端対傾構 (その2)		
縮尺	1:20.10	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	21/64	

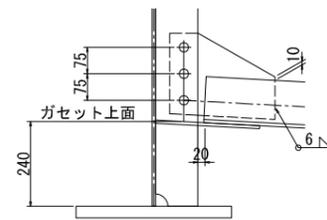
中間対傾構 (その1) S=1:20



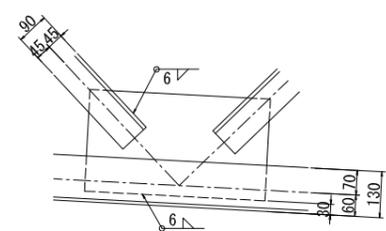
a 部詳細 S=1:10



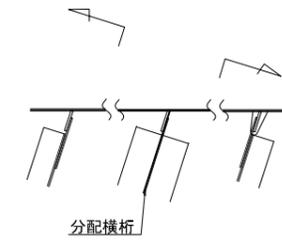
b 部詳細 S=1:10



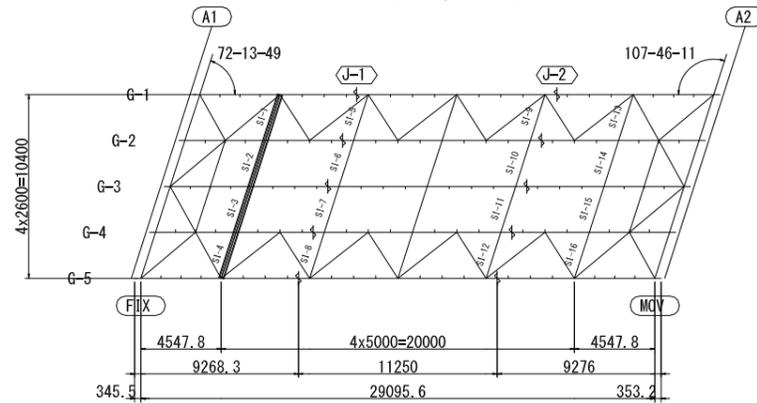
c 部詳細 S=1:10



払い込み方向



配置図



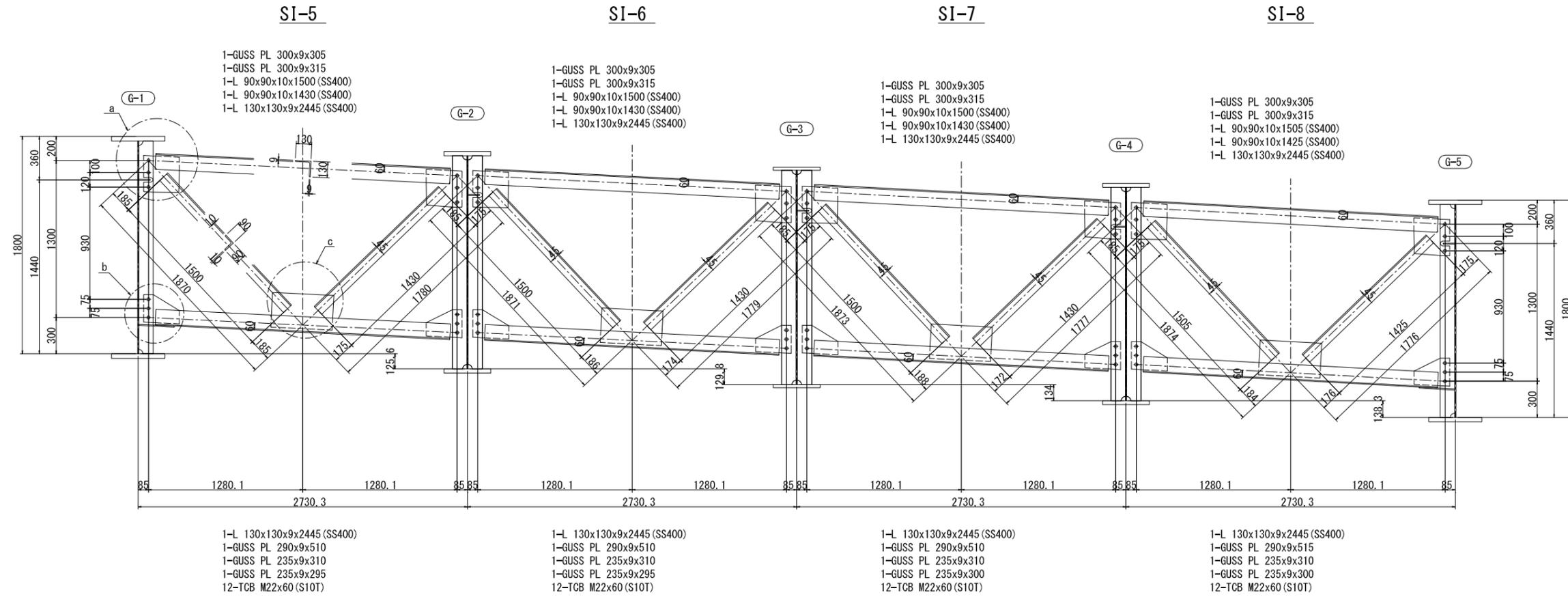
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特配以外のスカーラップはR=35とする

実施

【3号橋】

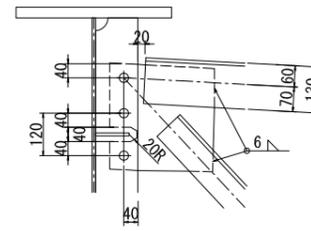
工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(新大瀬橋) 工事		
図面名	中間対傾構 (その1)		
縮尺	1:20.10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	22/64	

中間対傾構 (その2) S=1:20

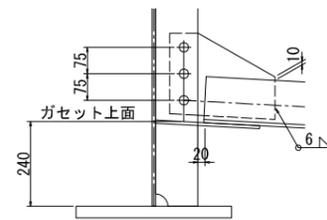


1-L 130x130x9x2445 (SS400)
 1-GUSS PL 290x9x510
 1-GUSS PL 235x9x310
 1-GUSS PL 235x9x295
 12-TCB M22x60 (S10T)

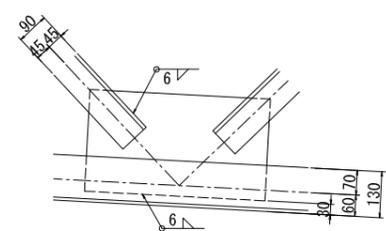
a 部詳細 S=1:10



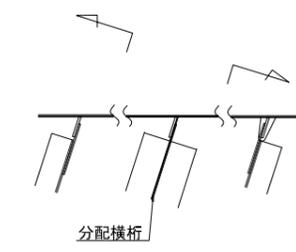
b 部詳細 S=1:10



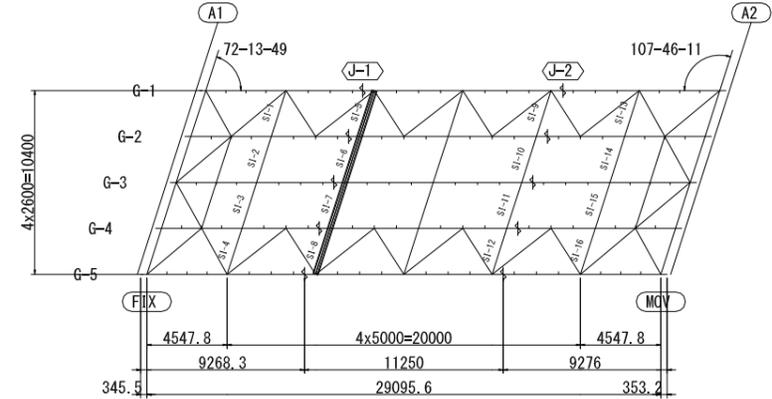
c 部詳細 S=1:10



払い込み方向



配置図



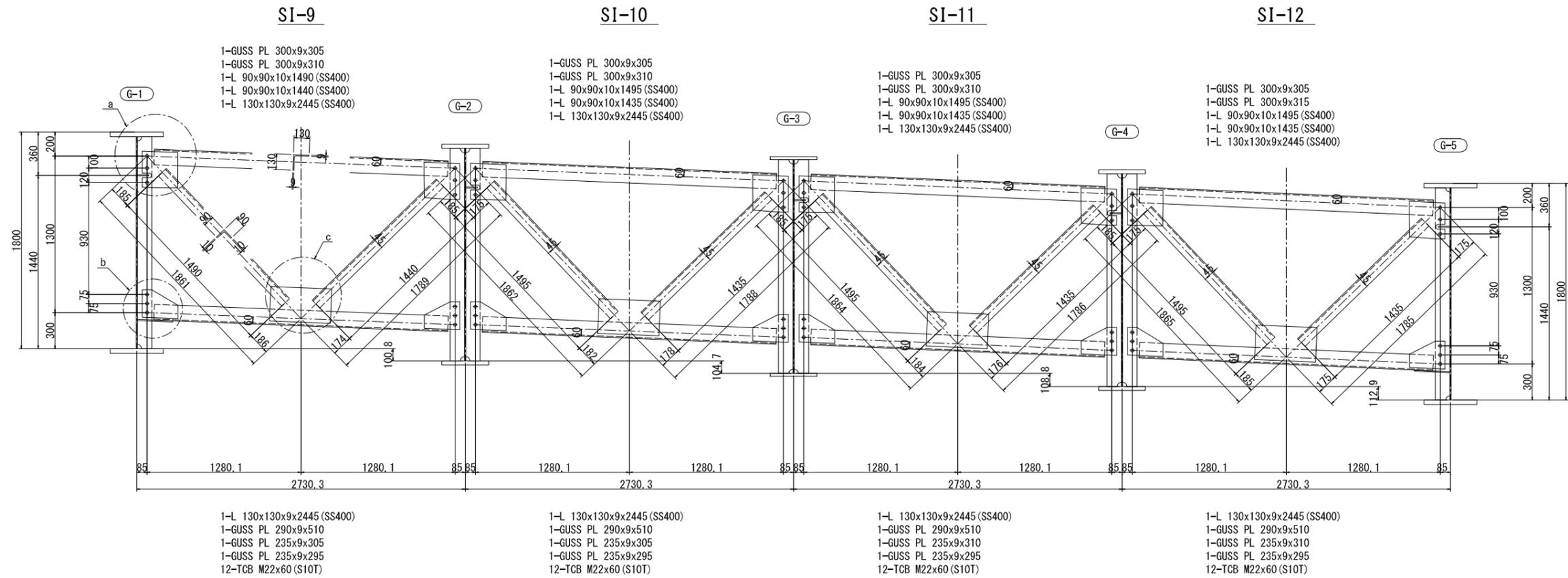
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特配以外のスカーラップはR=35とする

実施

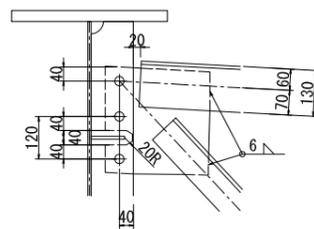
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(橋大規模) 工事		
図面名	中間対傾構 (その2)		
縮尺	1:20.10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	23/64	

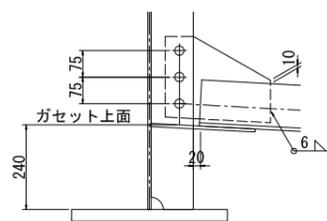
中間対傾構 (その3) S=1:20



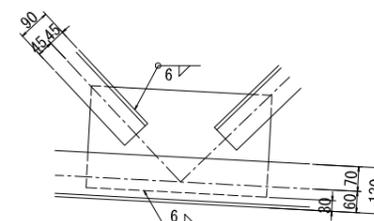
a 部詳細 S=1:10



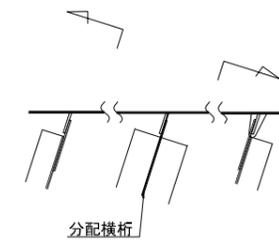
b 部詳細 S=1:10



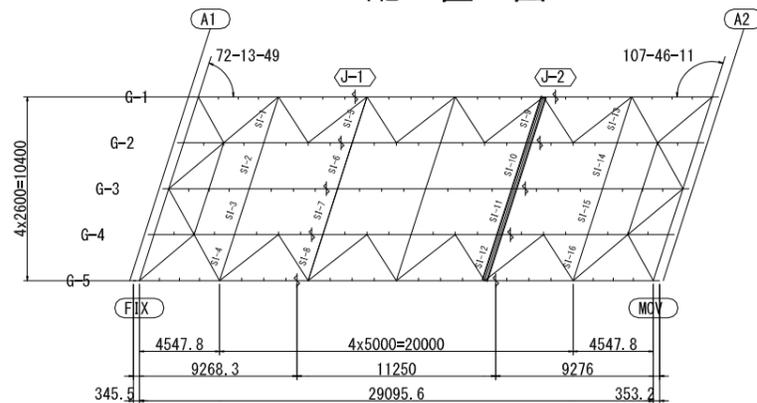
c 部詳細 S=1:10



払い込み方向



配置図



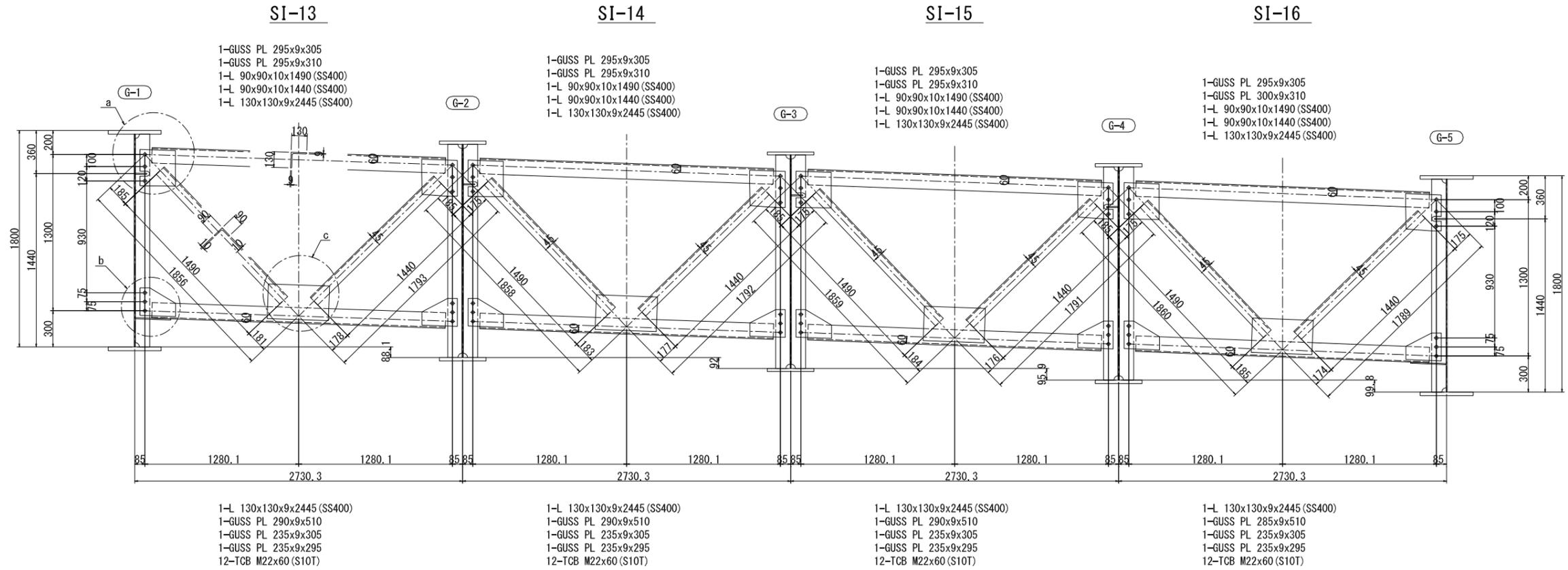
- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特配以外のスカーラップはR=35とする

実施

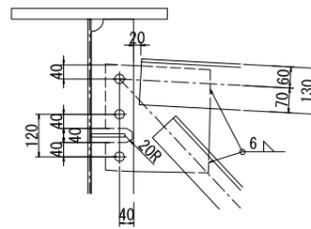
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(田)橋梁上部工(橋大規模)工事		
図面名	中間対傾構 (その3)		
縮尺	1:20, 10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	24/64	

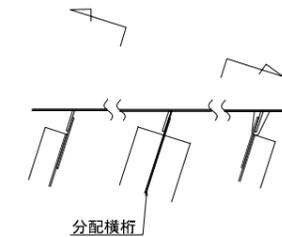
中間対傾構 (その4) S=1:20



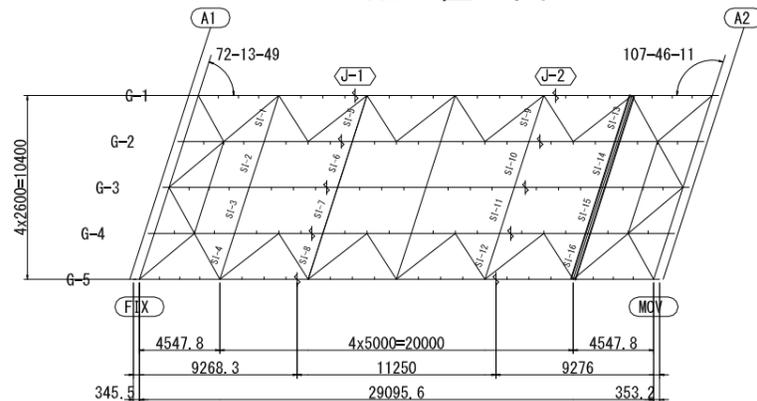
a 部詳細 S=1:10



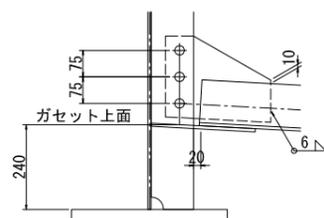
払い込み方向



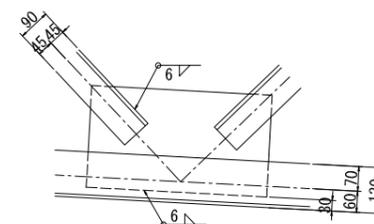
配置図



b 部詳細 S=1:10



c 部詳細 S=1:10



- 注)
 1 寸法単位はミリメートルとする
 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 3 特配以外のスカーラップはR=35とする

実施

【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ県北高森幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	中間対傾構 (その4)		
縮尺	1:20.10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	25/64	

分配横桁

S=1:20

FI-1

- 1-UFLG PL 310x12x2133
- 1-UFLG PL 310x12x495
- 1-SPL PL 300x9x430 (SS400)
- 2-SPL PL 120x9x430 (SS400)
- 12-TCB M22x65 (S10T)

FI-2

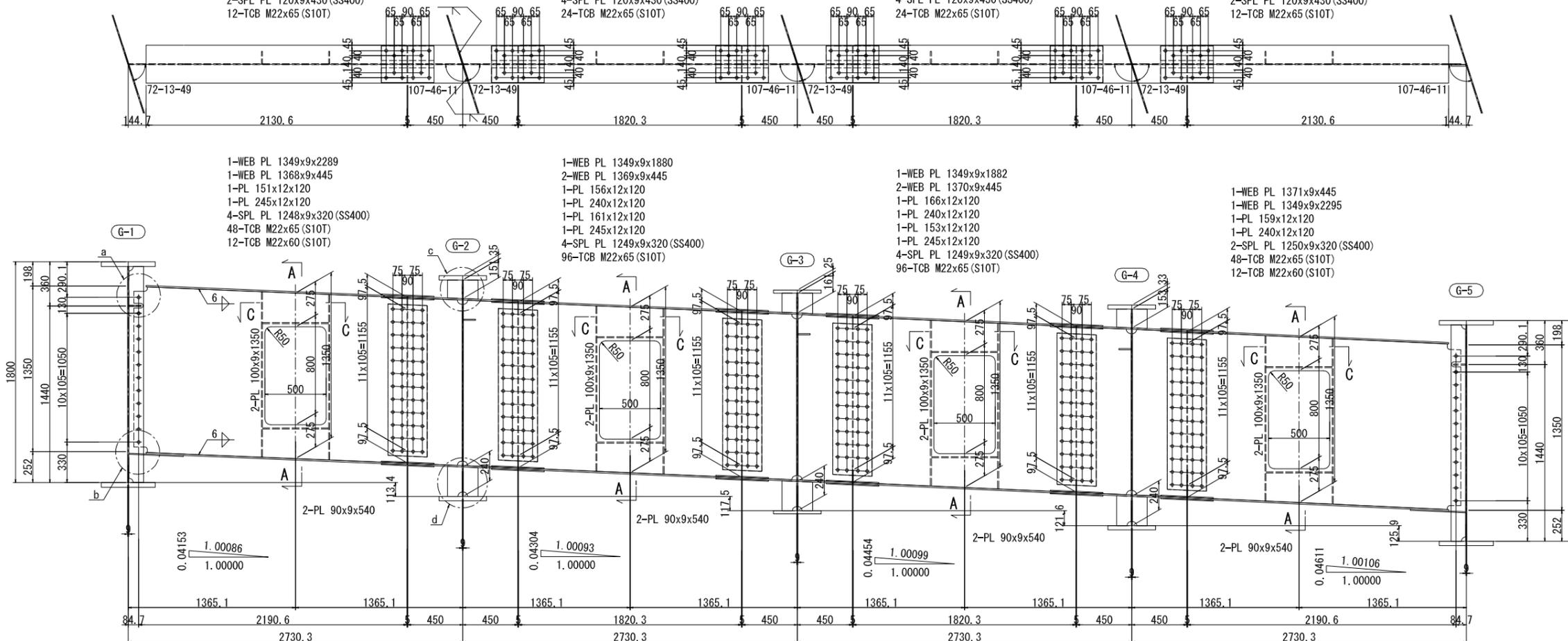
- 1-UFLG PL 310x12x1822
- 2-UFLG PL 310x12x495
- 1-SPL PL 300x9x430 (SS400)
- 4-SPL PL 120x9x430 (SS400)
- 24-TCB M22x65 (S10T)

FI-3

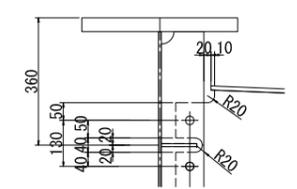
- 1-UFLG PL 310x12x1822
- 2-UFLG PL 310x12x495
- 2-SPL PL 300x9x430 (SS400)
- 4-SPL PL 120x9x430 (SS400)
- 24-TCB M22x65 (S10T)

FI-4

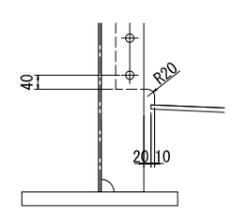
- 1-UFLG PL 310x12x495
- 1-UFLG PL 310x12x2133
- 1-SPL PL 300x9x430 (SS400)
- 2-SPL PL 120x9x430 (SS400)
- 12-TCB M22x65 (S10T)



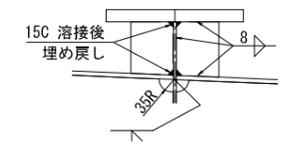
a 部詳細 S=1:10



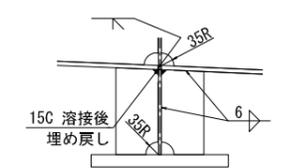
b 部詳細 S=1:10



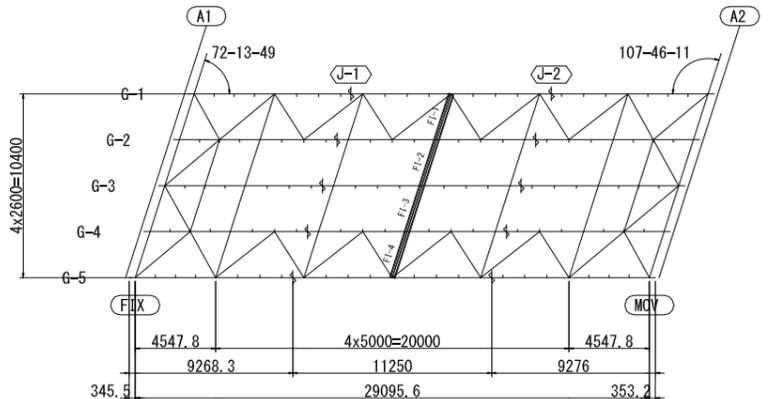
c 部詳細 S=1:10



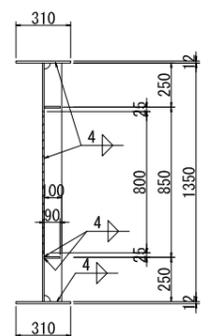
d 部詳細 S=1:10



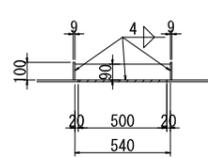
配置図



A-A



C-C



- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 印は TCB M22 (S10T) を示す。

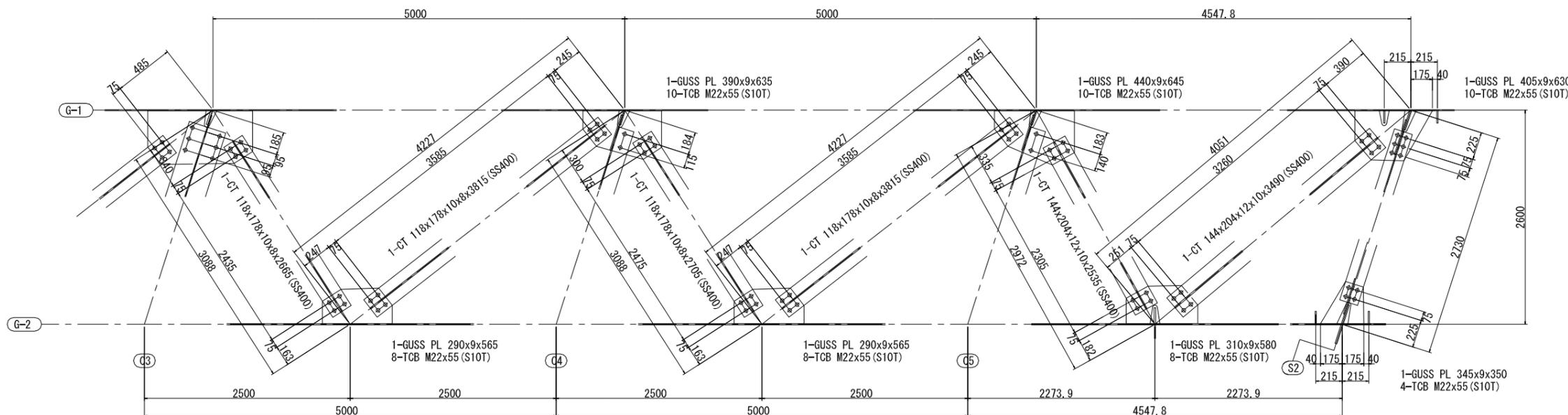
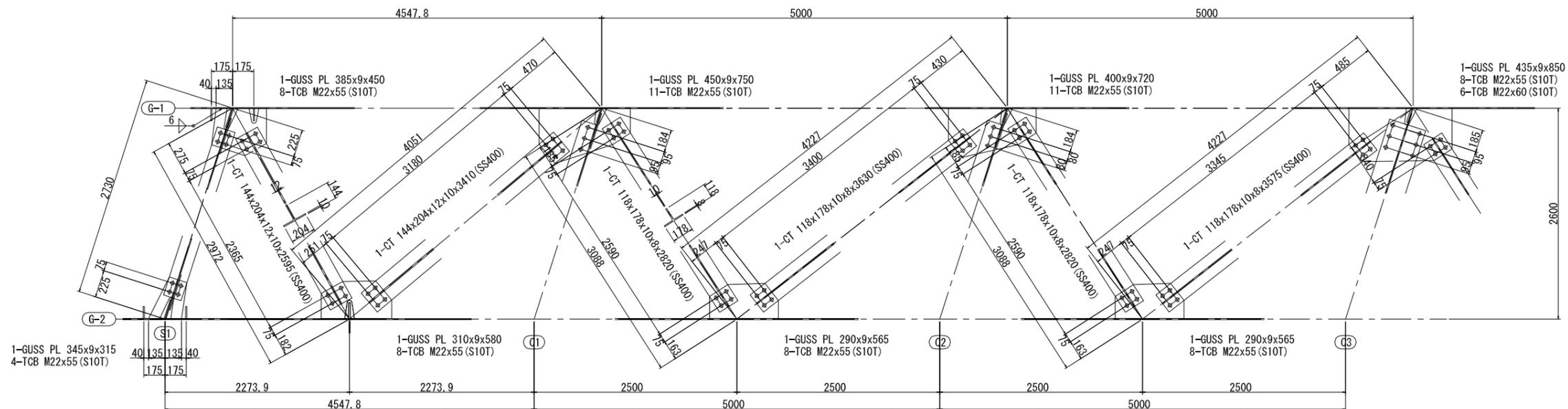
実施

【3号橋】

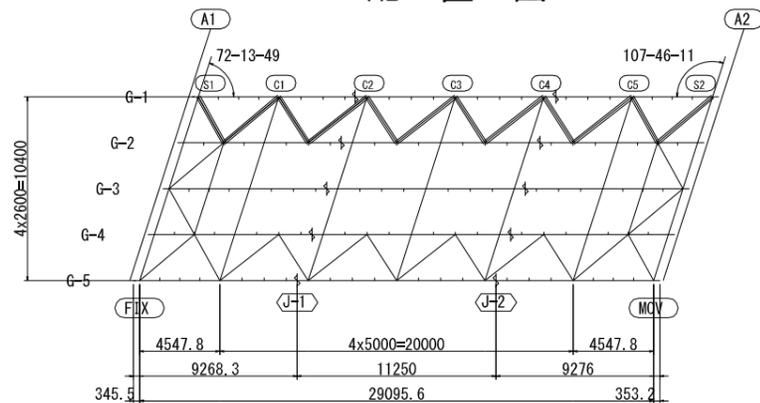
工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(新大瀬橋) 工事		
図面名	分配横桁		
縮尺	1:20, 10	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	26/64	

横構(その1)

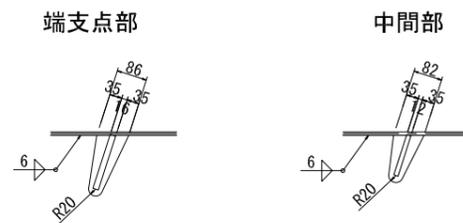
S=1:30



配置図



スカーラップ詳細 S=1:10



- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特配以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特配以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 ㊦印は TCB M22(S10T)を示す。

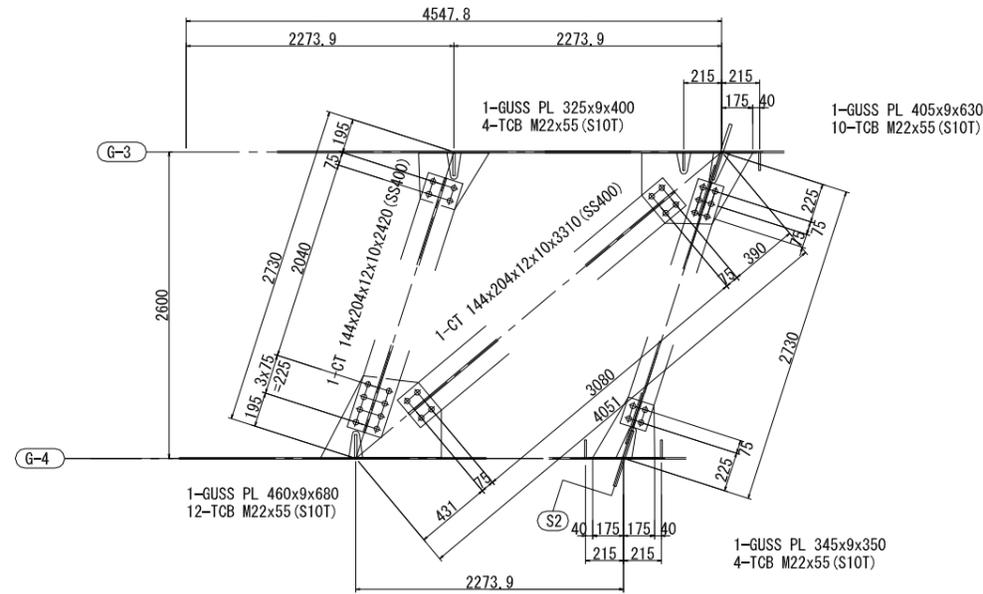
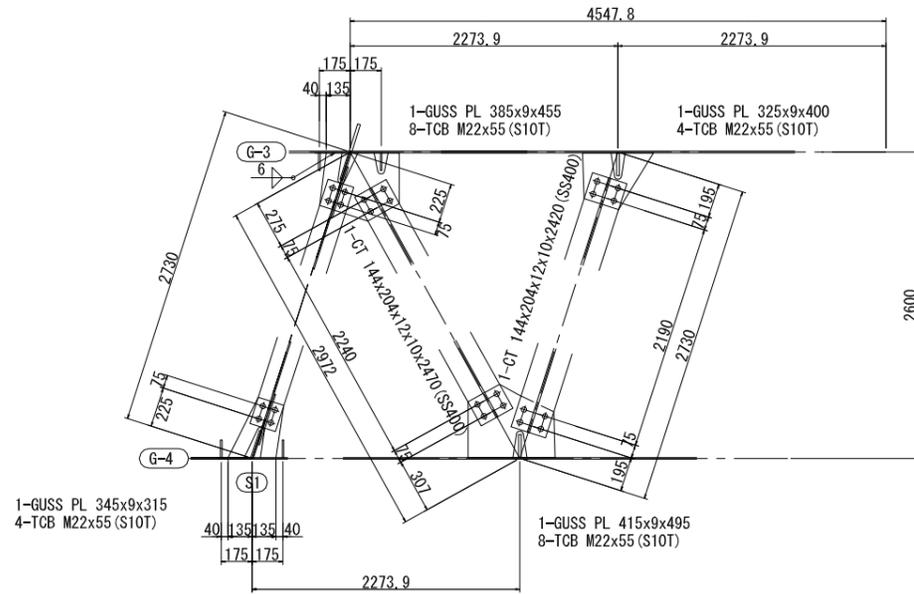
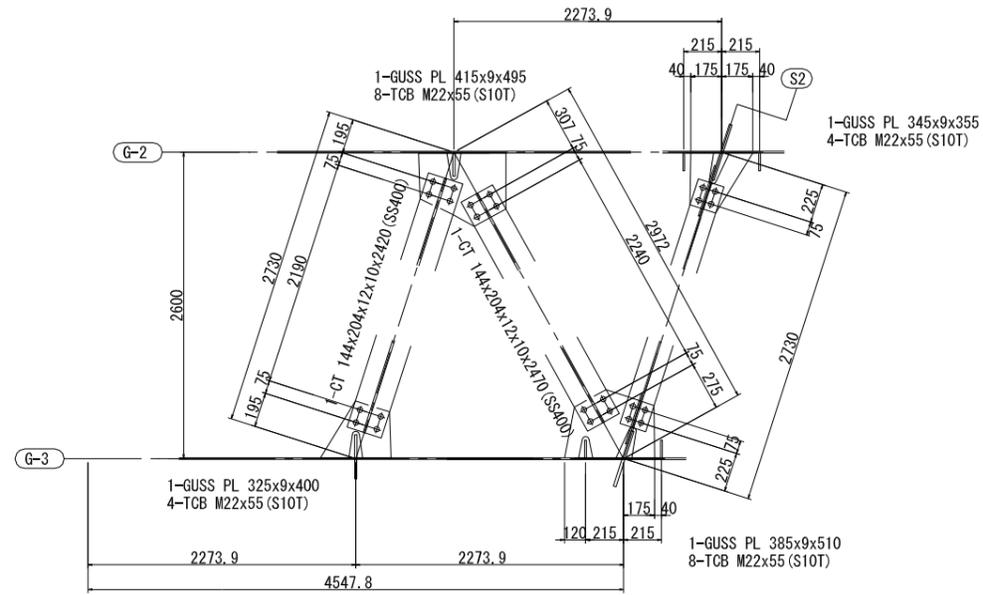
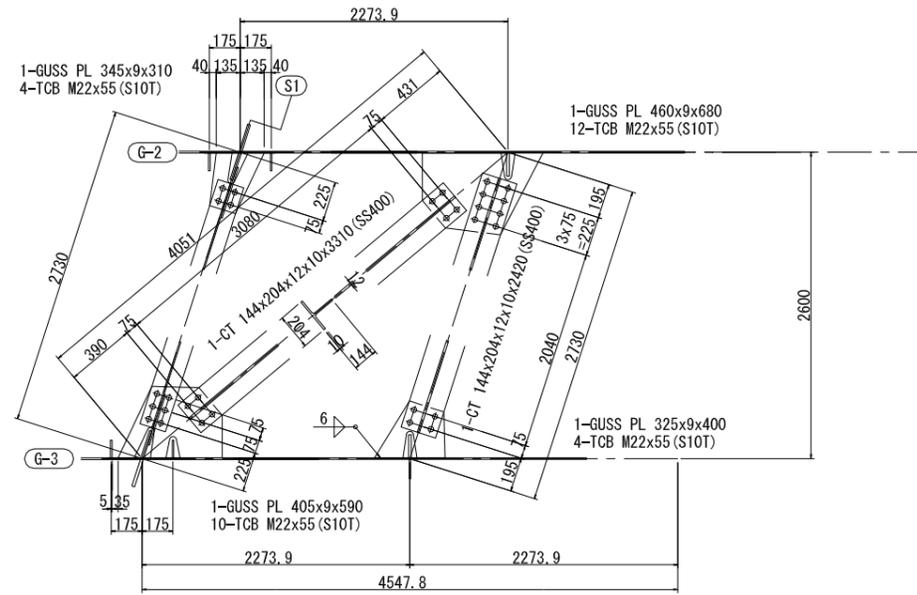
実施

【3号橋】

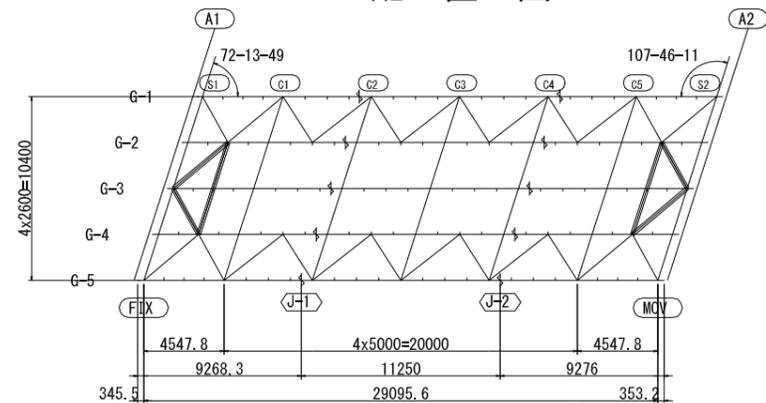
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大規模)工事		
図面名	横構(その1)		
縮尺	1:30.10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	27/64	

横構(その2)

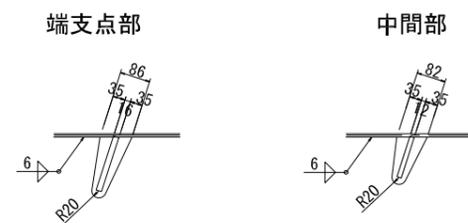
S=1:30



配置図



スカーラップ詳細 S=1:10



- 注)
- 1 寸法単位はミリメートルとする
 - 2 特記以外の材質はSM400Aとする
 - 3 特記以外のスカーラップはR=35とする
 - 4 中印は TCB M22 (S10T) を示す。

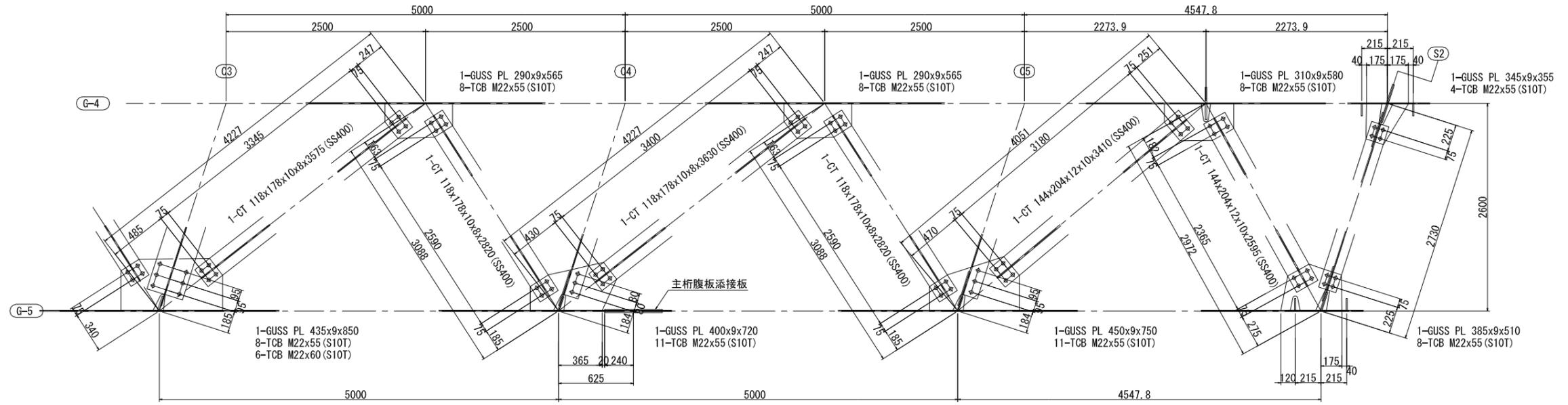
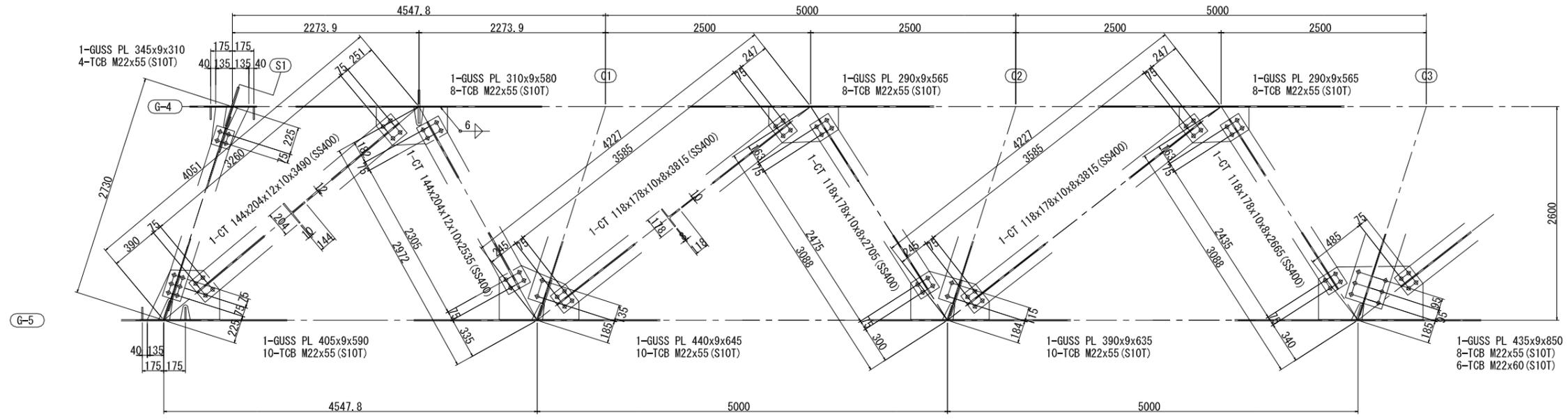
実施

【3号橋】

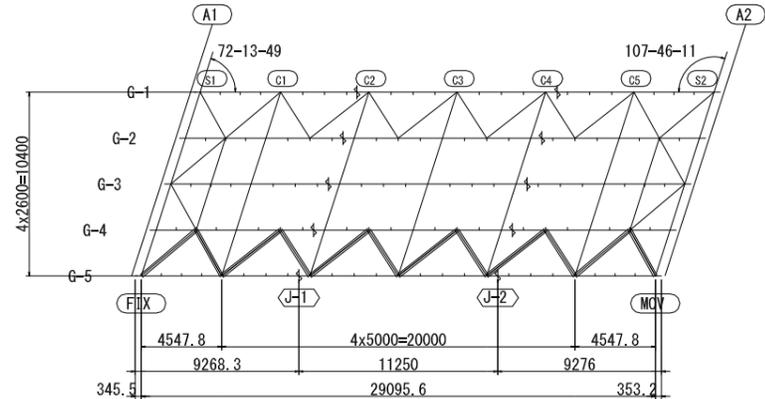
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	横構(その2)		
縮尺	1:30.10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	28/64	

横構(その3)

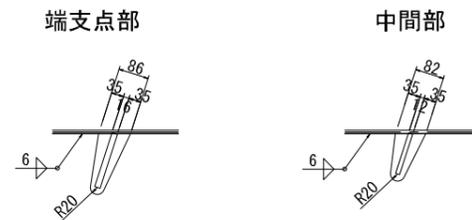
S=1:30



配置図



スカーラップ詳細 S=1:10



注)

- 1 寸法単位はミリメートルとする
- 2 特配以外の材質はSM400Aとする
- 3 特配以外のスカーラップはR=35とする
- 4 中印は TCB M22 (S10T) を示す。

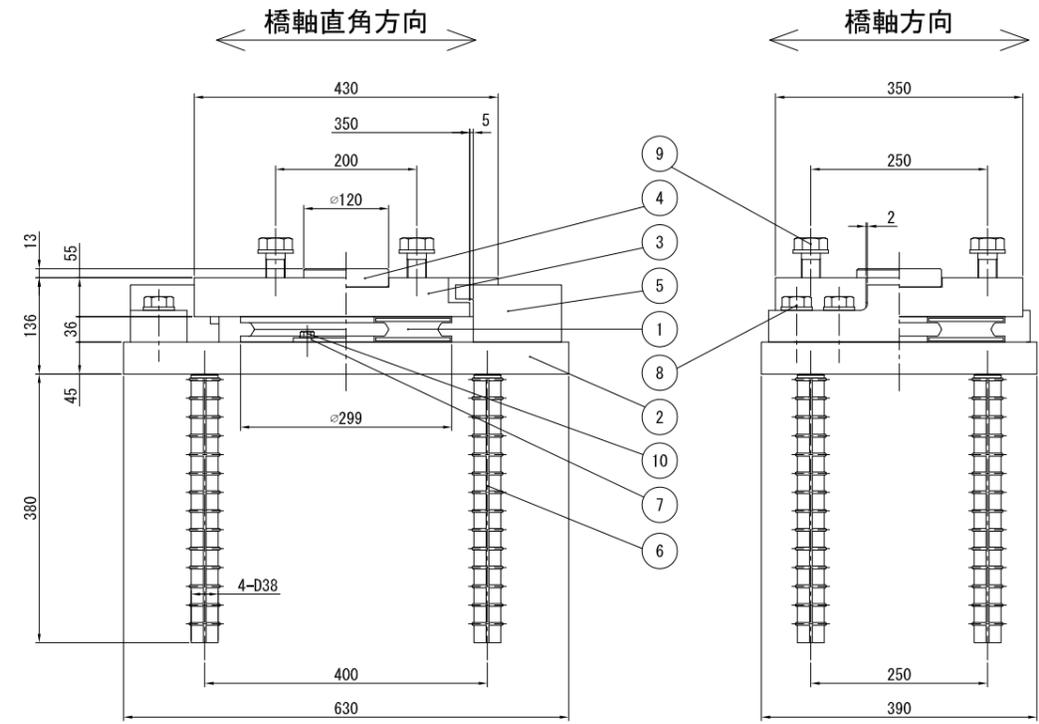
実施

【3号橋】

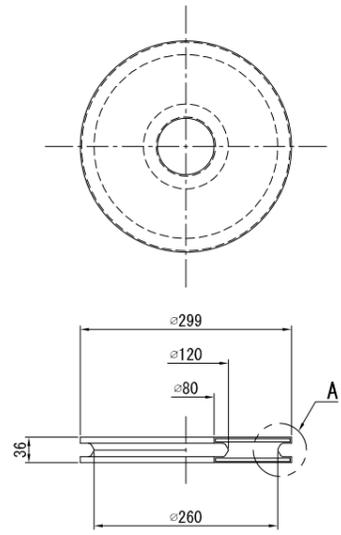
工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	横構(その3)		
縮尺	1:30, 10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	29/64	

支承詳細図 (その1) A1 (固定)

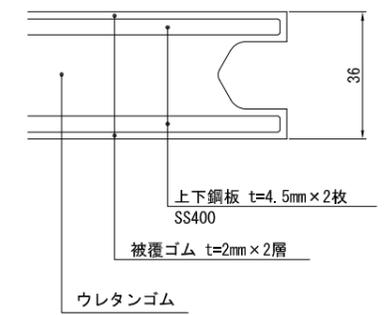
S=1:5



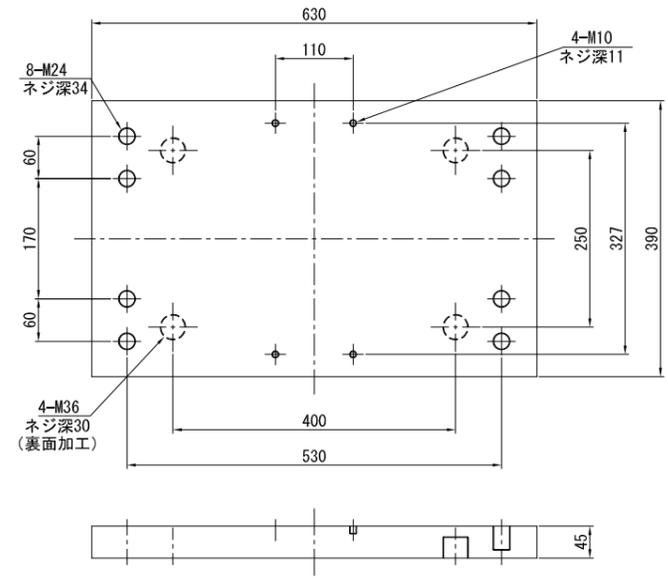
① ✓ ゴム支承 U+SS400



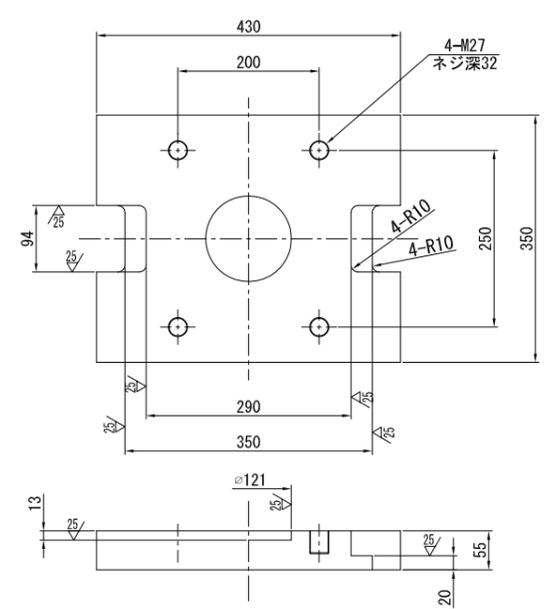
A部詳細図 S=1:1



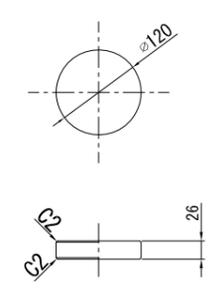
② ✓ 下沓 SM490A



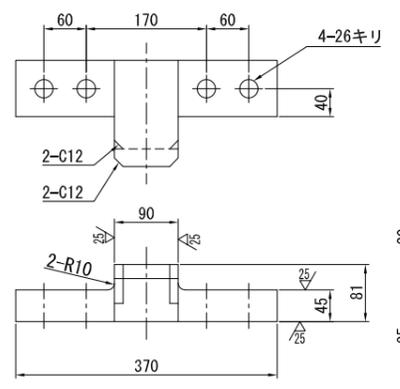
③ ✓ (25) 上沓 SM490A



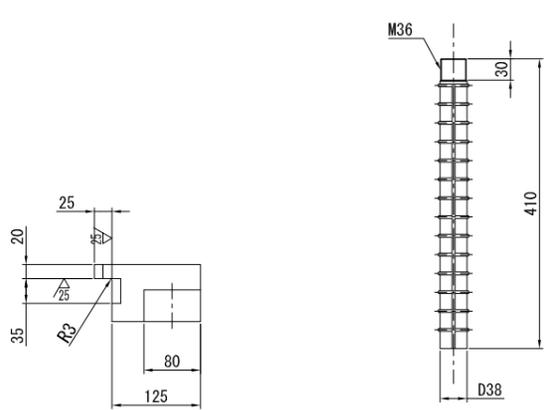
④ せん断キー SM490A



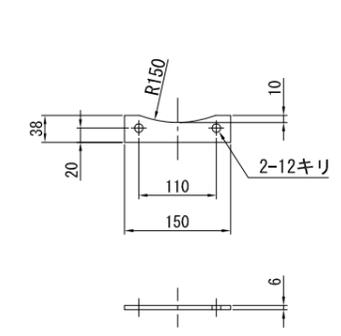
⑤ ✓ (25) サイドブロック SM490A



⑥ ✓ アンカーボルト SD345



⑦ ✓ ストッパー SS400



設計条件

最大反力	Rmax	952 kN		
最大反力 回転照査用	Rmax2	766 kN		
死荷重反力	R _D	524 kN		
照査荷重	R _{I1}	221 kN		
最大水平力	橋軸方向	R _{req1}	567 kN	
	橋軸直角方向	R _{req2}	284 kN	
上向きの地震力	R _U	-157 kN		
照査荷重時の変位量	δ _{c1}	0.44 mm		
変位量	回転変位量	δ _r	0.87 mm	
水平変位量	常時	橋軸方向	ΔL ₁	± 0 mm
		橋軸直角方向	ΔL _{e1}	± - mm
	地震時	橋軸直角方向	ΔL _{e2}	± - mm

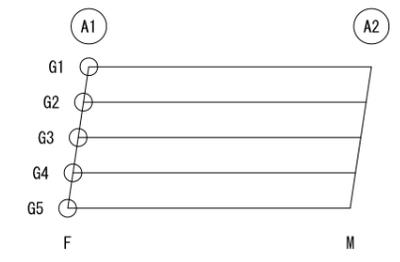
材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
1	ゴム支承	U+SS400	1	7.0	DRB
2	下沓	SM490A	1	84.8	
3	上沓	SM490A	1	58.7	
4	せん断キー	SM490A	1	2.3	
5	サイドブロック	SM490A	2	29.3	
6	アンカーボルト	SD345	4	14.7	
7	ストッパー	SS400	2	0.5	
8	六角ボルト・平座金		8	3.4	JIS B 1180 JIS B 1256
9	六角ボルト・平座金		4	2.6	JIS B 1180 JIS B 1256
10	六角ボルト・平座金		4	0.1	JIS B 1180 JIS B 1256
全質量				203.4	(kg)

注1) ○印の部番は溶融亜鉛めっき仕様とする。
めっき付着量550g/m²以上。
ただしボルト・ナット座金類は350g/m²以上。
注2) アンカーボルトは鉄筋防錆剤塗布のこと。
注3) 組立及び吊り上げ用の吊りボルト孔を必要により設ける。

- ⑧ 六角ボルト 中 M24×80 8.8
平座金 並丸 24×44×4.5-22H
- ⑨ 六角ボルト 中 M27×L 8.8
平座金 並丸 27×50×4.5-22H
- ⑩ 六角ボルト 中 M10×15 8.8
平座金 並丸 10×22×1.6-22H

配置図



実施

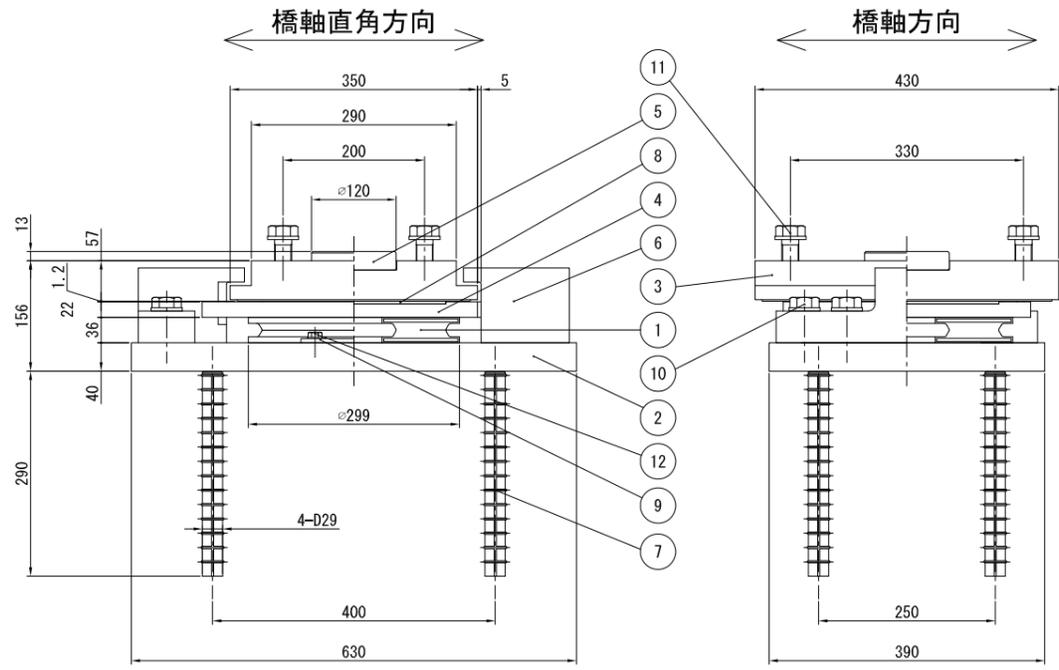
【参考図】
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路 (Ⅲ) 橋梁上部工 (新大瀬橋) 工事		
図面名	支承詳細図 (その1)		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	34/64	

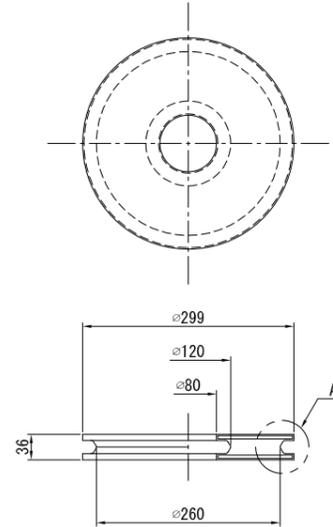
注) 1 寸法単位はミリメートルとする

支承詳細図 (その2) S=1:5

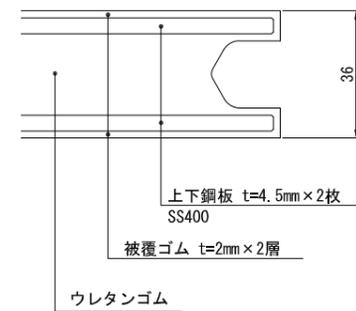
A2 (可動)



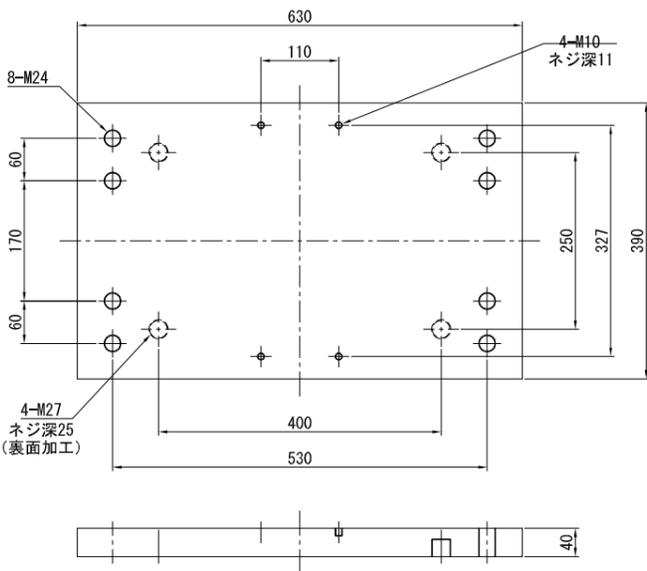
① ✓ゴム支承 U+SS400



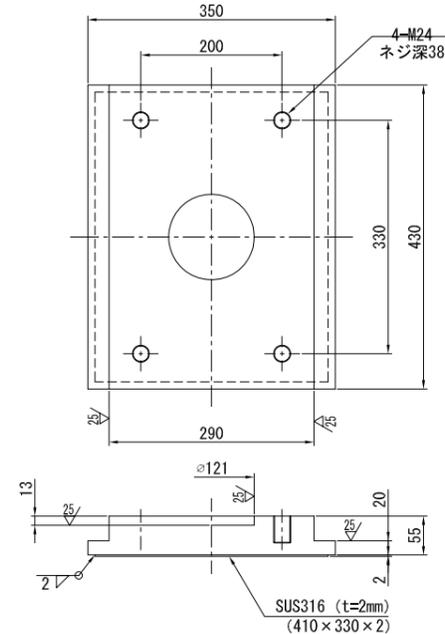
A部詳細図 S=1:1



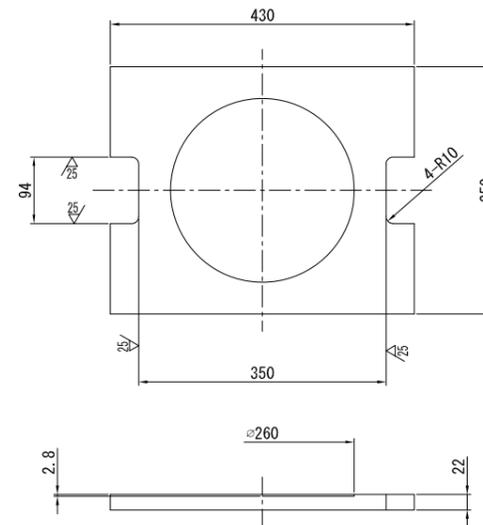
② ✓下沓 SM490A



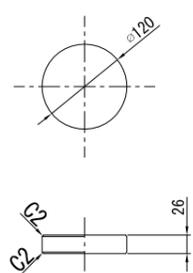
③ ✓(25) 上沓 SM490A+SUS316



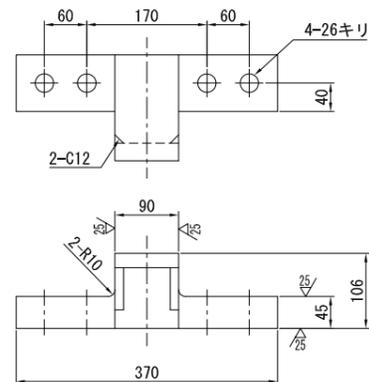
④ ✓(25) 中間プレート SM490A



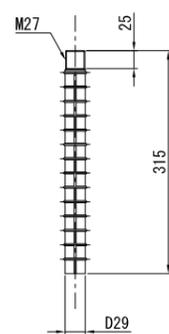
⑤ ✓せん断キー SM490A



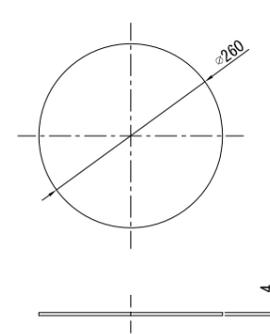
⑥ ✓(25) サイドブロック SM490A



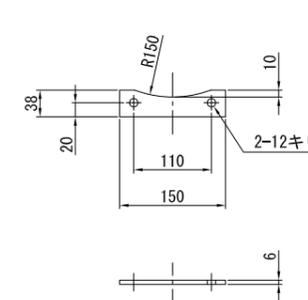
⑦ ✓アンカーボルト SD345



⑧ ✓滑り板 PTFE



⑨ ✓ストッパー SS400



設計条件

反力	最大反力	Rmax	923 kN
	最大反力	回転照臨面2	772 kN
	死荷重反力	R0	512 kN
	照査荷重	R11	223 kN
力	最大水平力	橋軸方向	RHeq1 92 kN
		橋軸直角方向	RHeq2 283 kN
変位量	照査荷重時の変位量	δc1	0.45 mm
		δr	0.87 mm
	回転変位量	常時 橋軸方向	ΔL1 ± 37 mm
		地震時 橋軸方向	ΔLe1 ± - mm
水平変位量	地震時 橋軸直角方向	ΔL2 ± - mm	

材料表

部番	部品名称	材質	個数	質量 (kg)	備考
1	ゴム支承	U+SS400	1	7.0	DRB
2	下沓	SM490A	1	75.5	
3	上沓	SM490A+SUS316	1	58.3	
4	中間プレート	SM490A	1	23.5	
5	せん断キー	SM490A	1	2.3	
6	サイドブロック	SM490A	2	33.8	
7	アンカーボルト	SD345	4	6.4	
8	滑り板	PTFE	1	0.5	
9	ストッパー	SS400	2	0.5	
10	六角ボルト・平座金	—	8	3.4	JIS B 1180 JIS B 1256
11	六角ボルト・平座金	—	4	2.0	JIS B 1180 JIS B 1256
12	六角ボルト・平座金	—	4	0.1	JIS B 1180 JIS B 1256
全質量				213.3	(kg)

注1) ○印の部番は溶融亜鉛めっき仕様とする。
めっき付着量550g/m²以上。
ただしボルト・ナット座金類は350g/m²以上。
注2) アンカーボルトは鉄筋防錆剤塗布のこと。
注3) 組立及び吊り上げ用の吊りボルト孔を必要により設ける。

- ⑩ 六角ボルト 中 M24×80 8.8
平座金 並丸 24×44×4.5-22H
- ⑪ 六角ボルト 中 M24×L 8.8
平座金 並丸 24×44×4.5-22H
- ⑫ 六角ボルト 中 M10×15 8.8
平座金 並丸 10×22×1.6-22H

配置図



実施

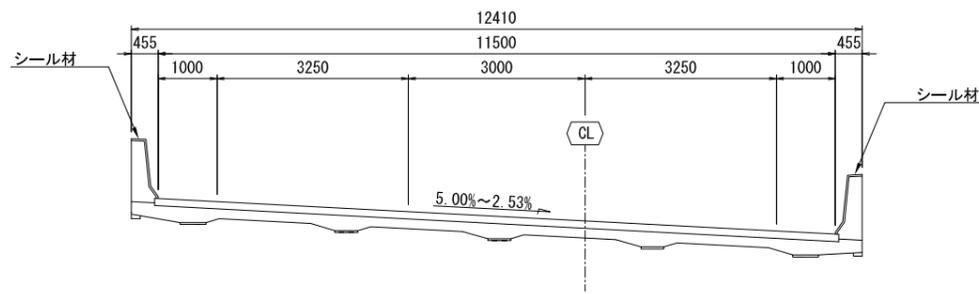
【参考図】
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ) 橋梁上部工(橋大規模) 工事		
図面名	支承詳細図 (その2)		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	35/64	

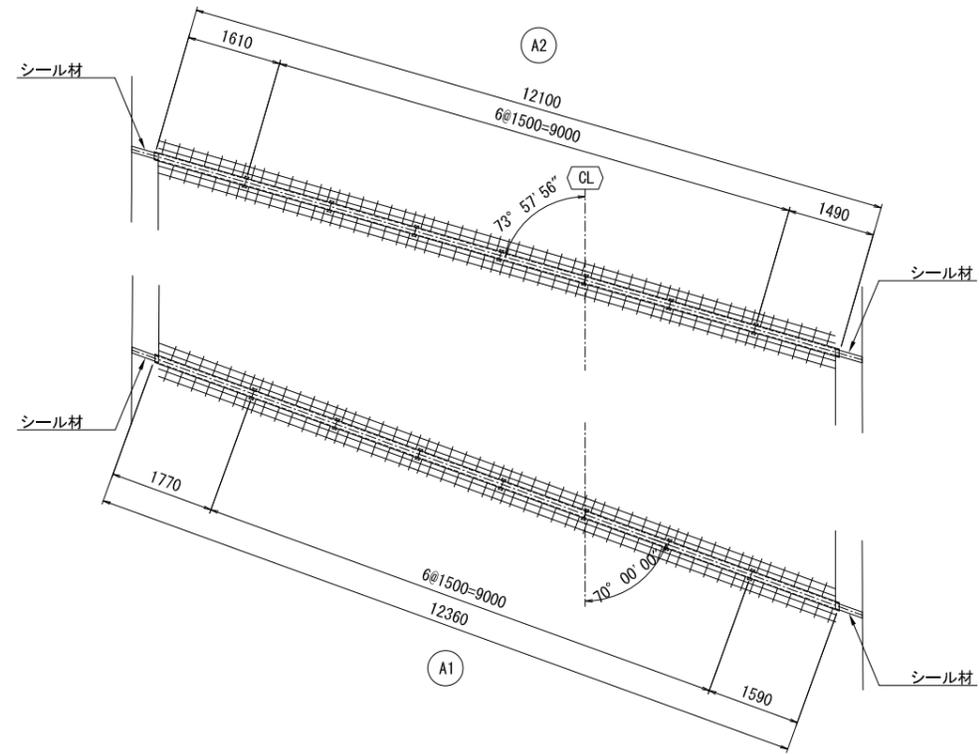
注) 1 寸法単位はミリメートルとする

伸縮装置詳細図

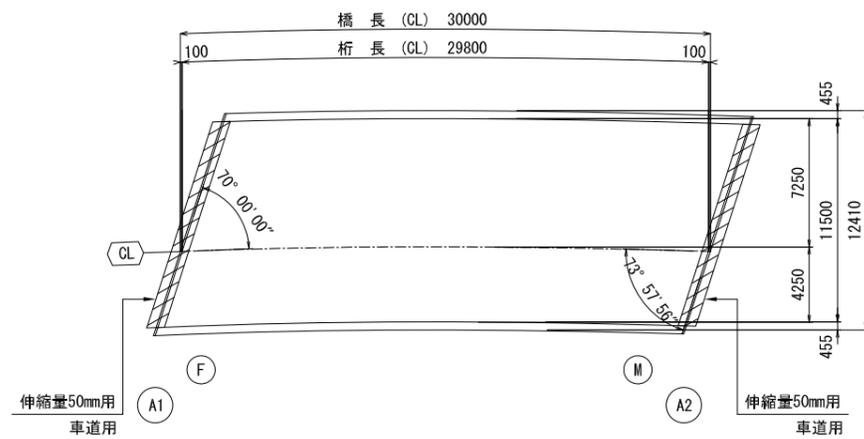
断面図 S = 1:60



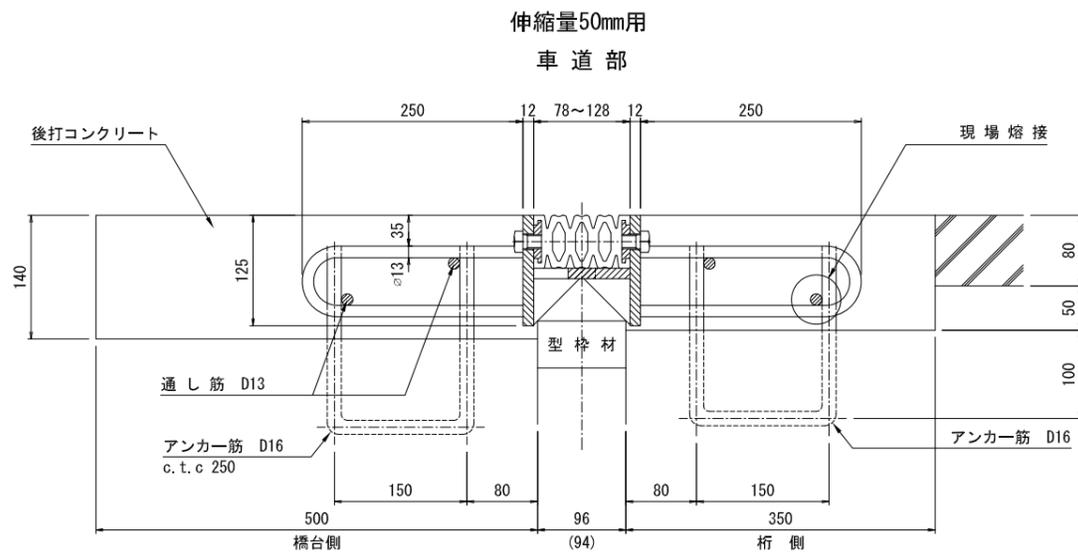
平面図 S = 1:60



配置図 S = 1:200

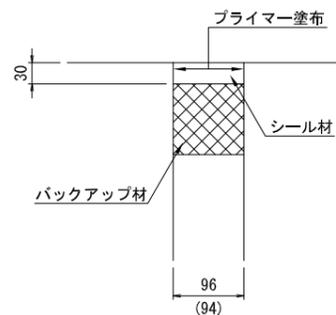


伸縮装置断面図 S = 1:4



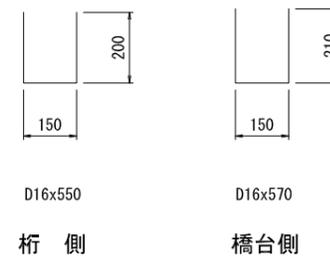
※()内寸法はA1側を示す。

シール材充填図 S = 1:5

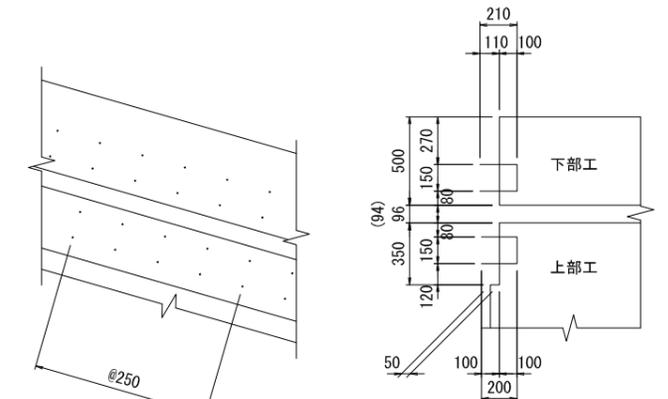


※()内寸法はA1側を示す。

鉄筋加工図 S = 1:10



アンカー筋埋設図 S = 1:20



※()内寸法はA1側を示す。

伸縮装置材料表

名称	材質	A1数量	A2数量	合計数量	備考
伸縮量50mm用	SS400 合成ゴム SR235 SR245	12.360 m	12.100 m	24.460 m	車道用
シール材	シリコン系	8.37リッター	8.49リッター	16.86リッター	
後打コンクリート		1.428 m ³	1.398 m ³	2.826 m ³	

アンカー筋表

寸法	A1数量	A2数量	合計数量	1本当り質量	合計質量	備考
D16x550	49本	48本	97本	0.858 kg	83.2 kg	桁側
D16x570	49本	48本	97本	0.889 kg	86.3 kg	橋台側

注) 橋台側アンカー筋は下部工にて計上。

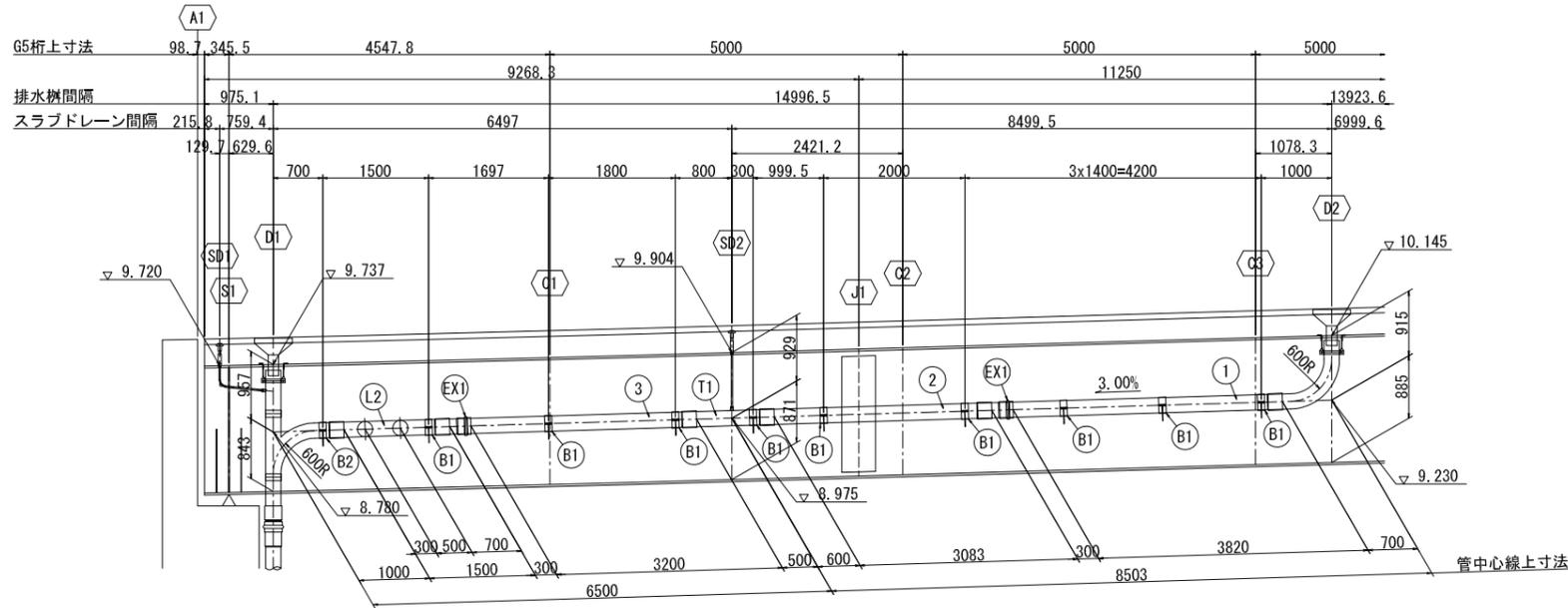
実施

工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大減橋)工事		
図面名	伸縮装置詳細図		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	36/64	

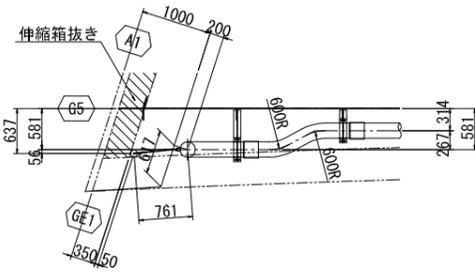
【参考図】

【3号橋】

上部工排水装置 (その1) S=1:50



平面図



材料

排水樹

- D --- 2
- スラブドレーン
- SD --- 3
- 取付金具
- S1 --- 2
- B1 --- 9
- B2 --- 1
- F1 --- 2
- K1 --- 2

直管

- ① 1-VP 200A×4000
- ② 1-VP 200A×3283
- ③ 1-VP 200A×3380

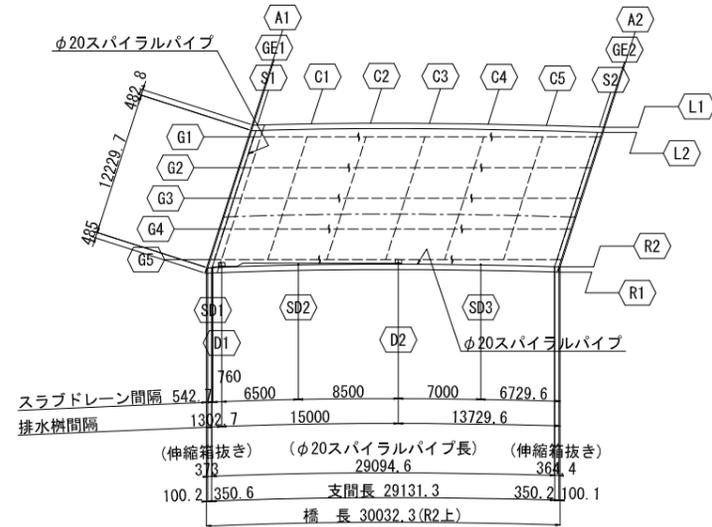
曲管

- L1 --- 1
- L2 --- 1
- チーズ管
- T1 --- 1
- T2 --- 1

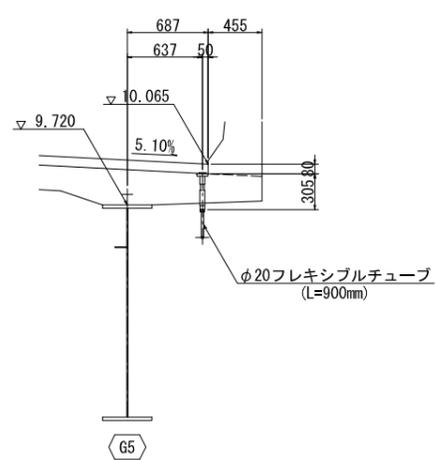
伸縮管

- EX1 --- 2
- EX2 --- 1
- 流芯延長
- VP 200A = 17.942 m
- フレキシブルチューブ延長
- φ20 = 4.100 m

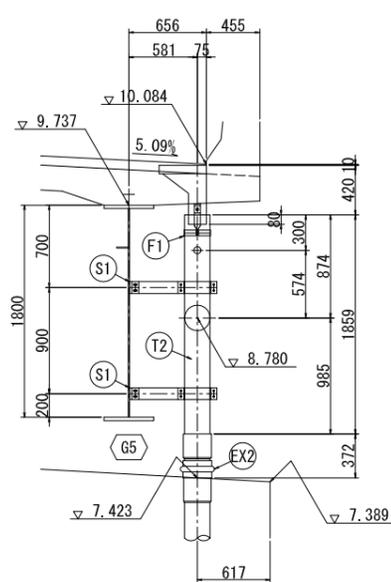
配置図



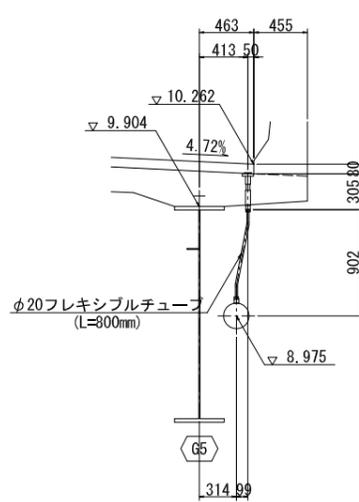
SD1



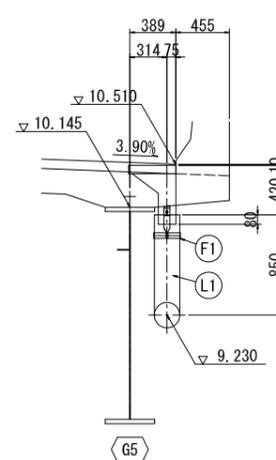
D1



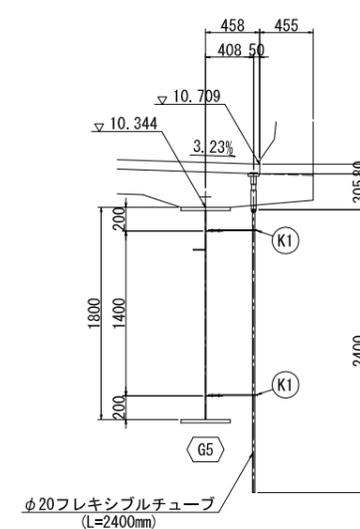
SD2



D2



SD3



実施

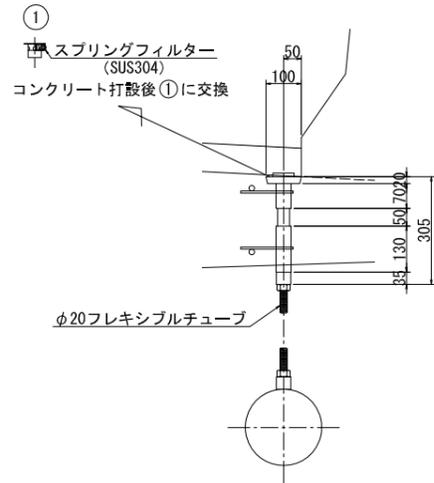
【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	上部工排水装置 (その1)		
縮尺	1:50	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	37/64	

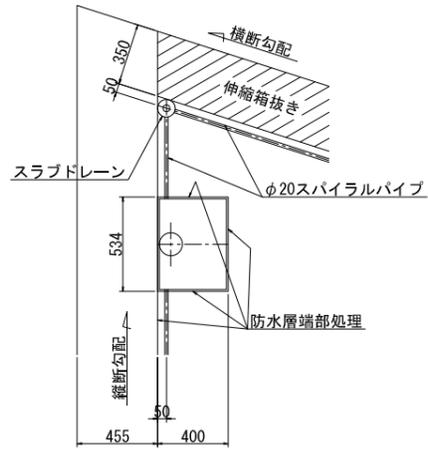
上部工排水装置 (その3) S=1:10

スラブドレーン詳細

SD1~SD3 製作数:3

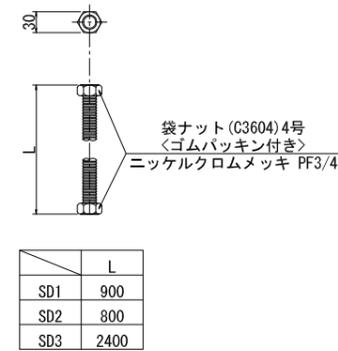


排水柵とスパイラルパイプの取り合い S=1:20



φ20フレキシブルチューブ詳細 S=1:5

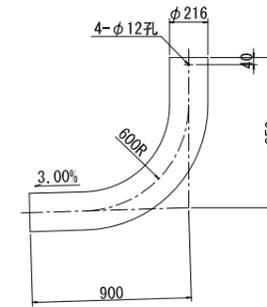
製作数:各1



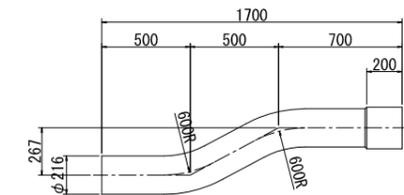
品名	L
SD1	900
SD2	800
SD3	2400

曲管詳細

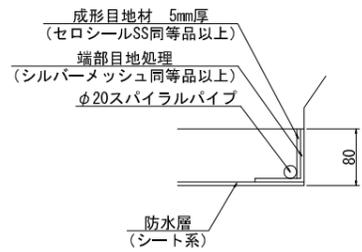
L1 製作数:1



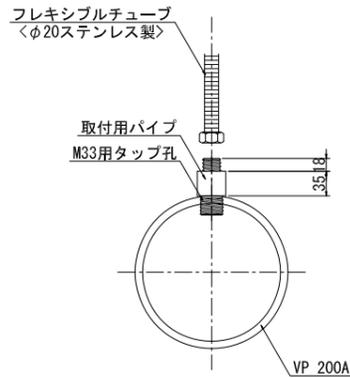
L2 製作数:1



防水層端部処理詳細 S=1:5

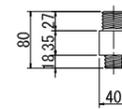


フレキシブルチューブとVP管接続部 S=1:5



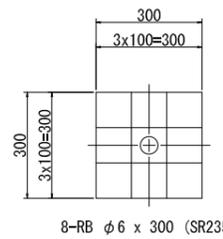
取付用パイプ S=1:5

製作数:5

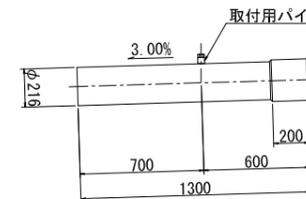


床版排水管補強筋

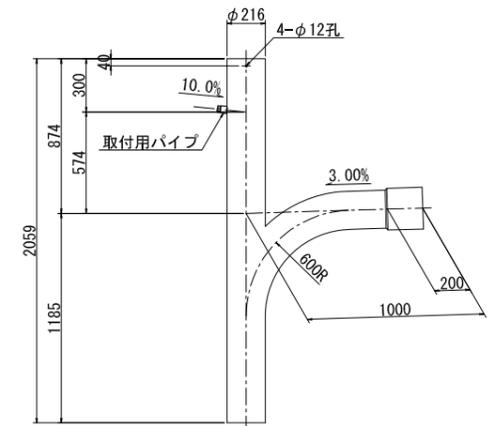
製作数:3



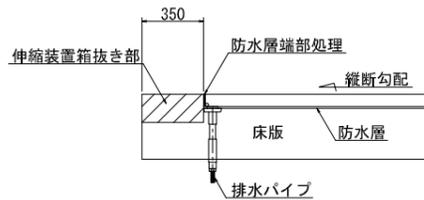
T1 製作数:1



T2 製作数:1

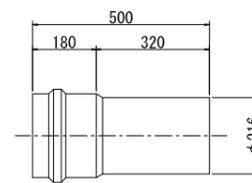


伸縮装置部の排水処理 S=1:20

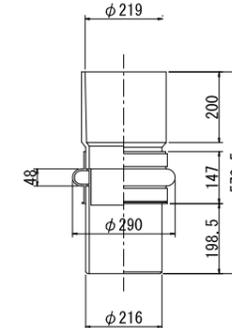


伸縮管詳細

EX1 製作数:2



EX2 製作数:1



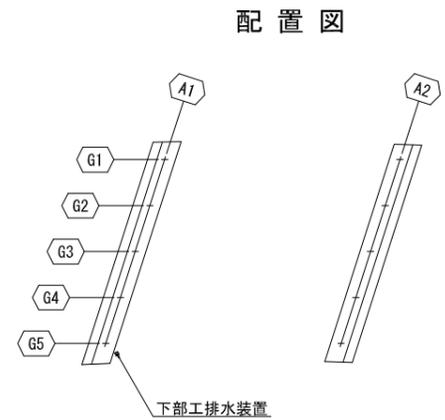
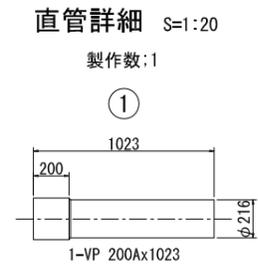
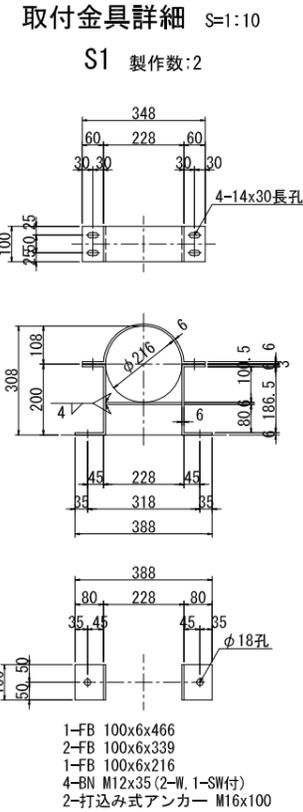
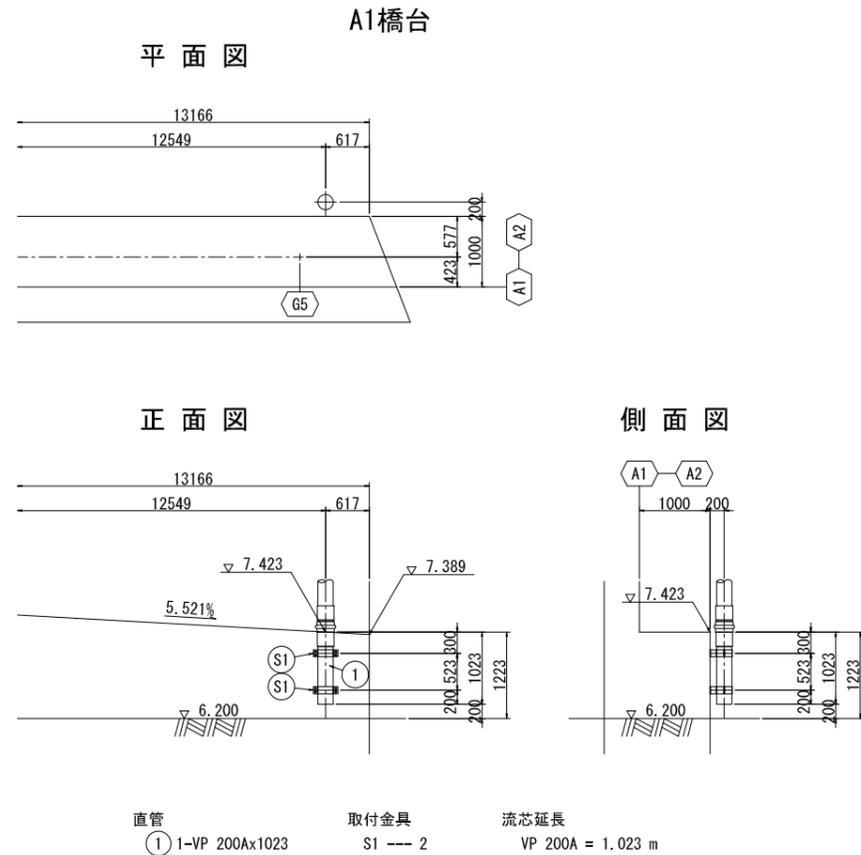
名称	サイズ	単位	数量	備考
スラブドレーン	L=305	ヶ	3	
固定金具	φ6	ヶ	6	普通鉄筋
フレキシブルチューブ	φ20	m	4.100	
スパイラルパイプ	φ20	ヶ	41.325	
取付パイプ	—	ヶ	5	
床版排水管補強筋	RB φ6x300	本	24	SR235
防水層工面積	—	m2	334.120	シート系
端部目地処理	—	m	82.300	シルバーメッシュ同等品以上
成型目地材	5mm厚	ヶ	82.300	セロシールSS同等品以上

実施

【3号橋】

工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大規模)工事		
図面名	上部工排水装置 (その3)		
縮尺	1:10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	39/64	

下部工排水装置 S=1:50



注記
 1. 特配なき材質は全て SS400 とする。
 2. 部材は全て溶融亜鉛メッキ (JIS H8641) を施す。
 付着量は下表参照。

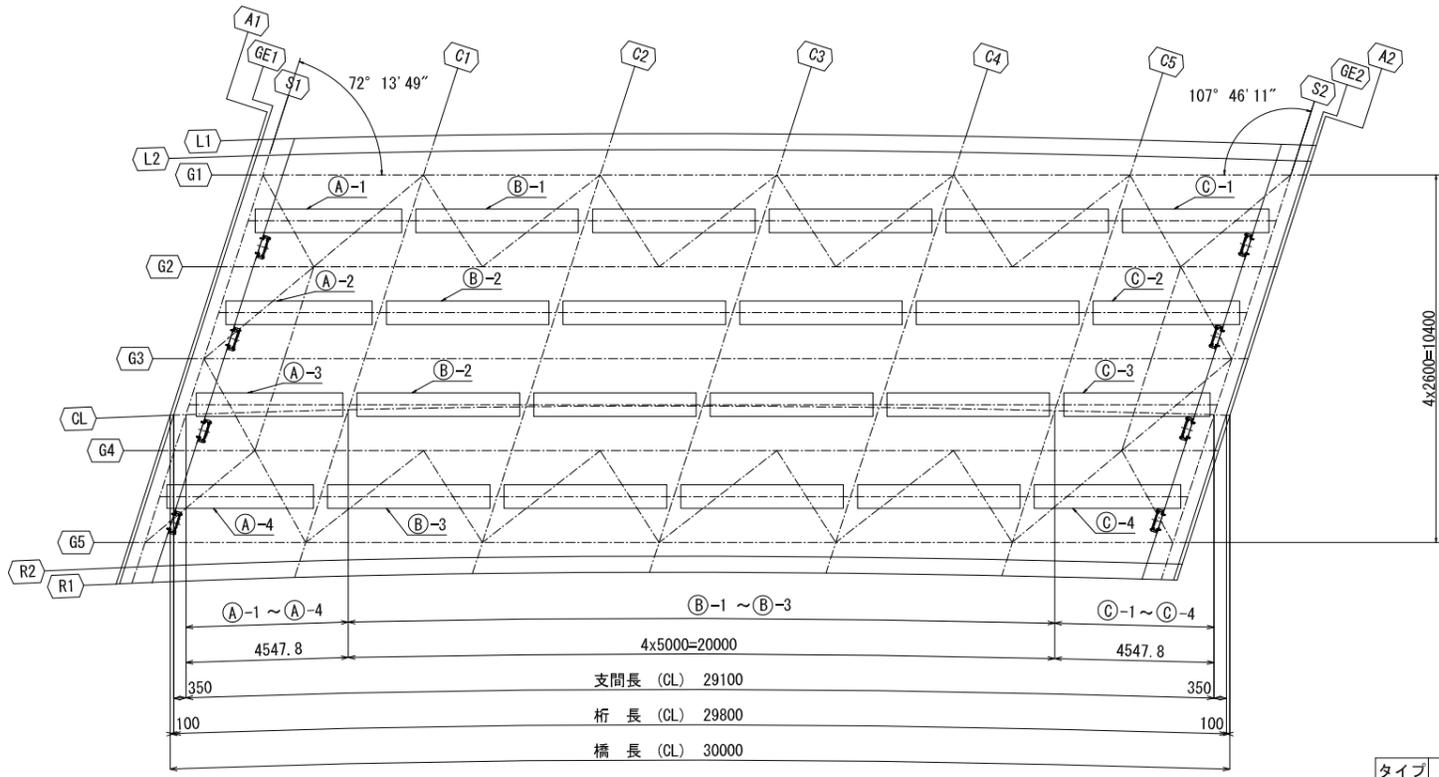
付着量	適用
HDZ55	下記以外の部材
HDZ45	厚さ3mmを超え5mm以下の部材
HDZ35	厚さ3mm未満の部材 及び、ボルト・ナット類

実施 【3号橋】

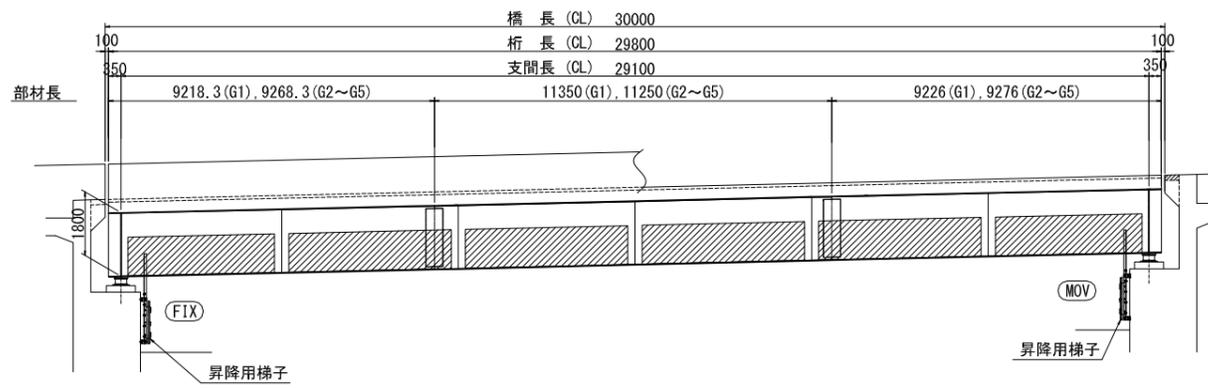
工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号	
路線名	(主)築館登米線	
施工地名	登米市迫町北方地内	
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(旧)橋梁上部工(新大瀬橋)工事	
図面名	下部工排水装置	
縮尺	1:50	位置 NO. ~ NO.
設計者		設計年度
宮城県	図番	40/64

検査路系統図

平面図 S=1:100

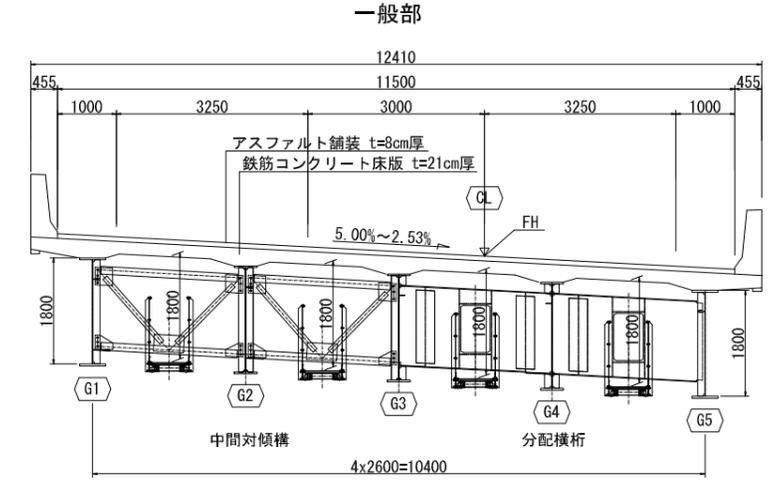


側面図 S=1:100

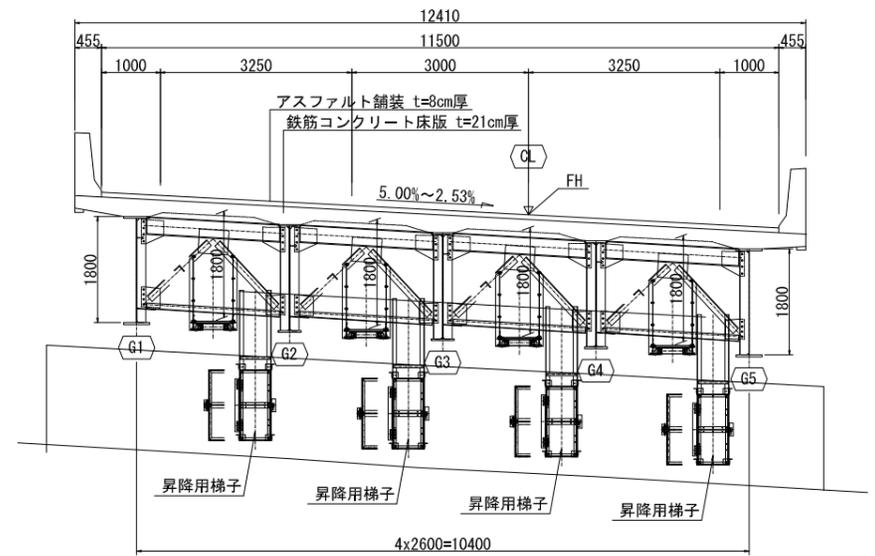


タイプ	数量	長さ
A-1	1	4148
A-2	1	4148
A-3	1	4148
A-4	1	4148
B-1	4	4600
B-2	8	4600
B-3	4	4600
C-1	1	4148
C-2	1	4148
C-3	1	4148
C-4	1	4148
合計	24	

断面図 S=1:60



支点部



注記
1. 検査路は全て直角切とする。

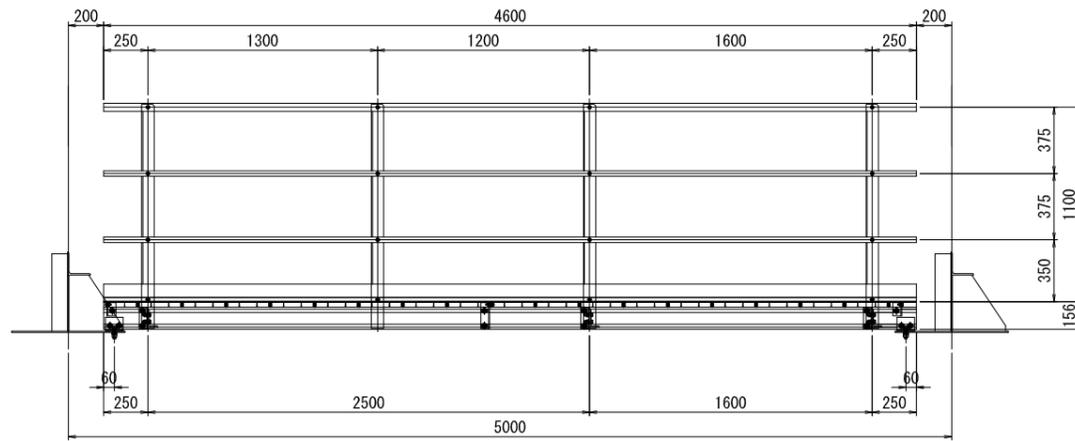
【3号橋】

実施	工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号	
	路線名	(主)築館登米線	
	施工地名	登米市迫町北方地内	
	工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事	
	図面名	検査路系統図	
縮尺	1:100, 60	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	41/64	

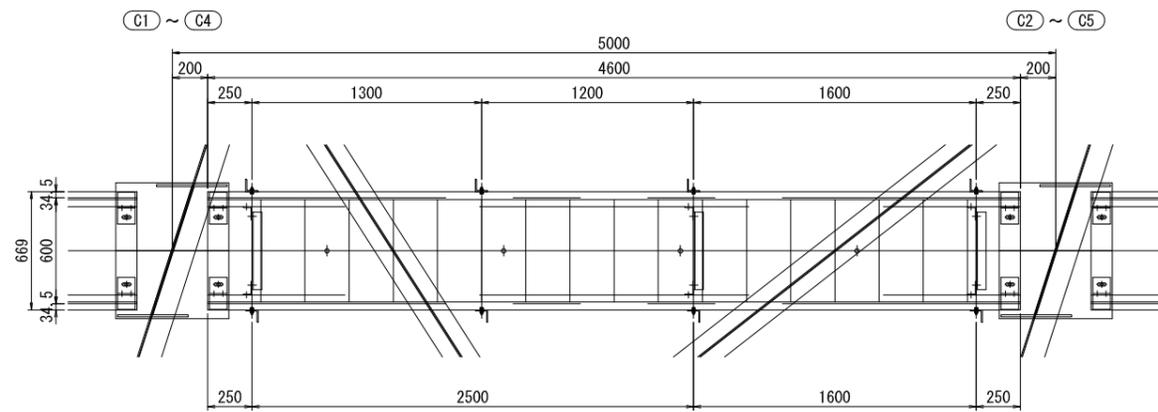
上部工検査路(その1)

タイプ B-1

側面図

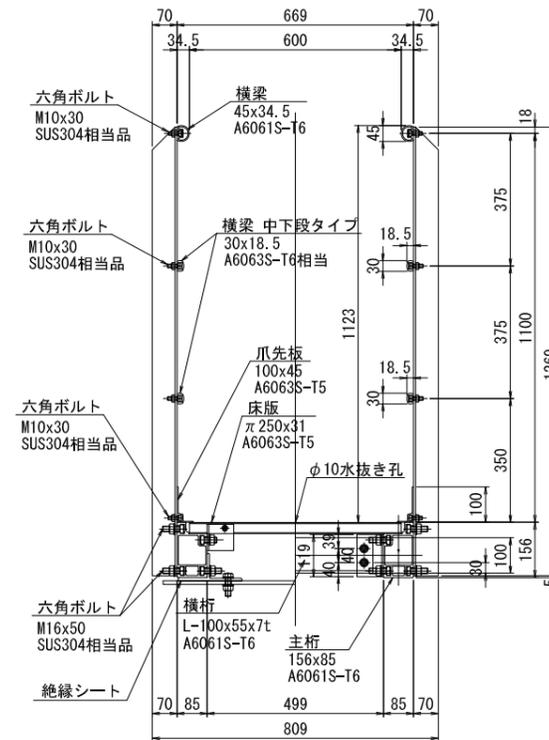


平面図



断面図 S=1:10

端部 支柱部



実施

【3号橋】

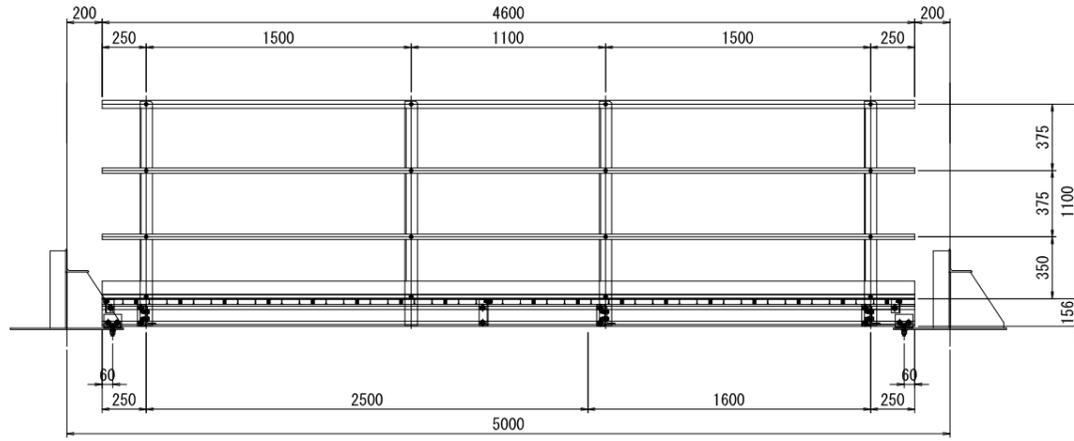
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市追町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大瀬橋)工事		
図面名	上部工検査路(その1)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	42/64	

注記

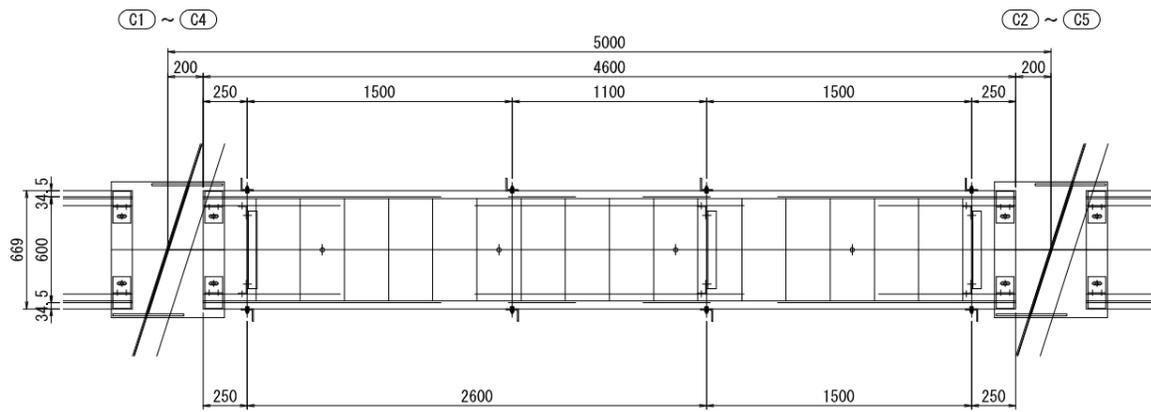
1. 本検査路の表面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
4. 水抜き穴はφ10を1mに1箇所程度設けること。

上部工検査路(その2)

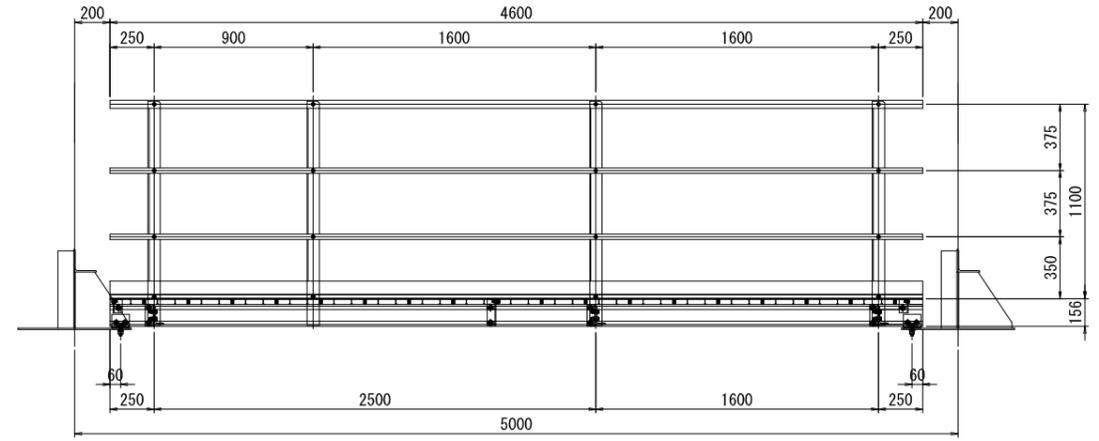
タイプ B-2
側面図



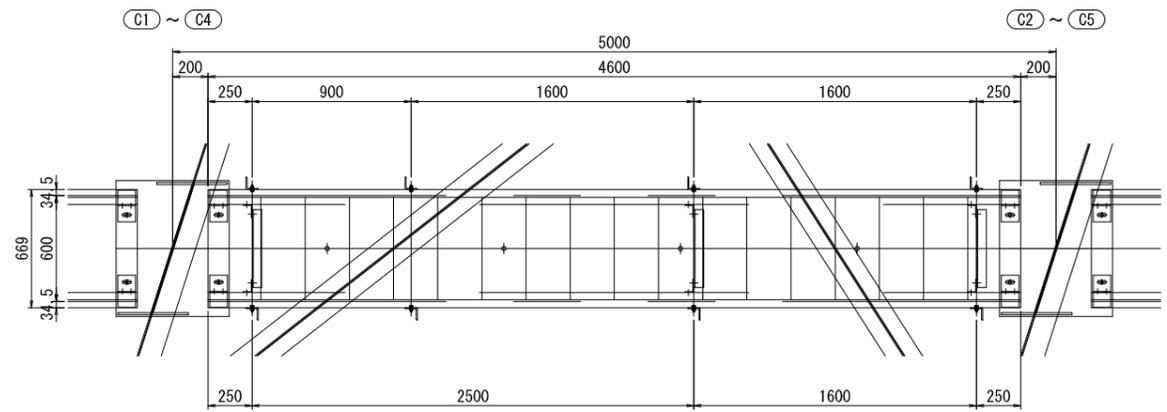
平面図



タイプ B-3
側面図



平面図



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
 4. 水抜き穴はφ10を1mに1箇所程度設けること。

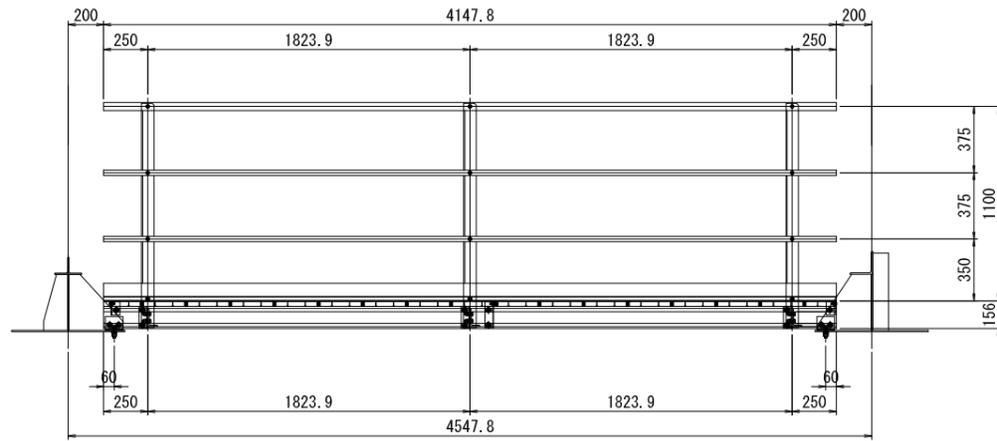
実施

【3号橋】

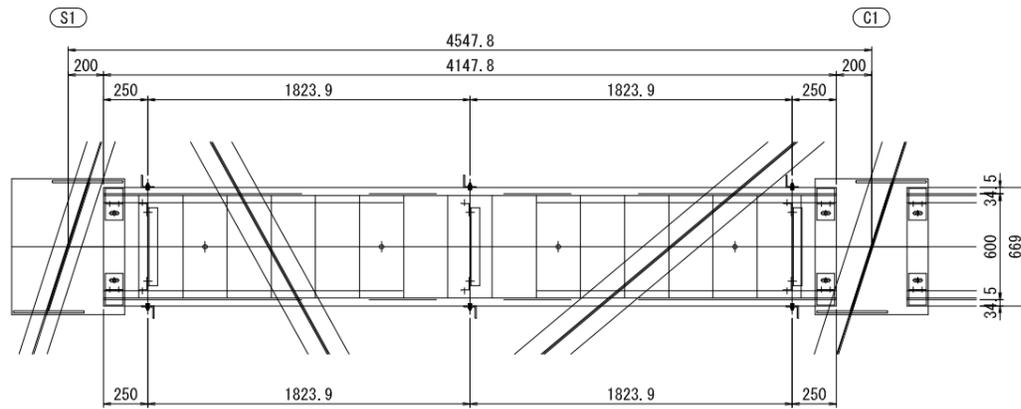
工事番号	令和元年度（Ⅲ）橋第3-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁上部工（新大瀬橋）工事		
図面名	上部工検査路(その2)		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	43/64	

上部工検査路(その3)

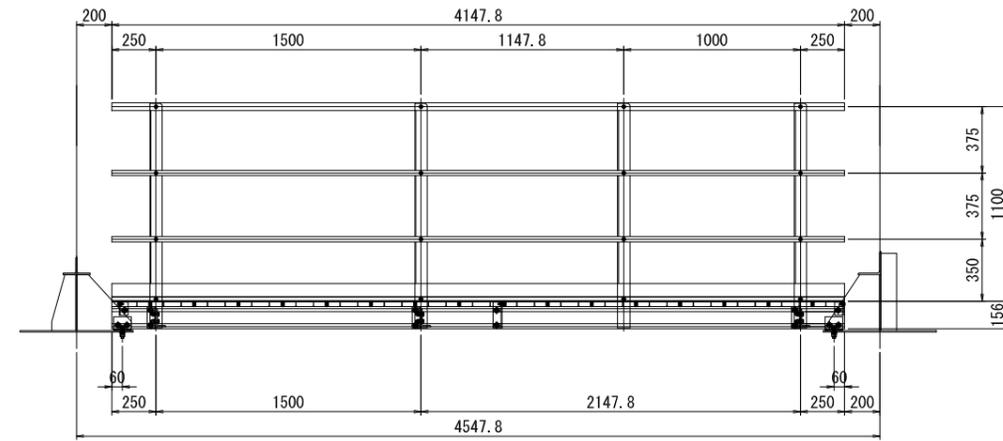
タイプ A-1
側面図



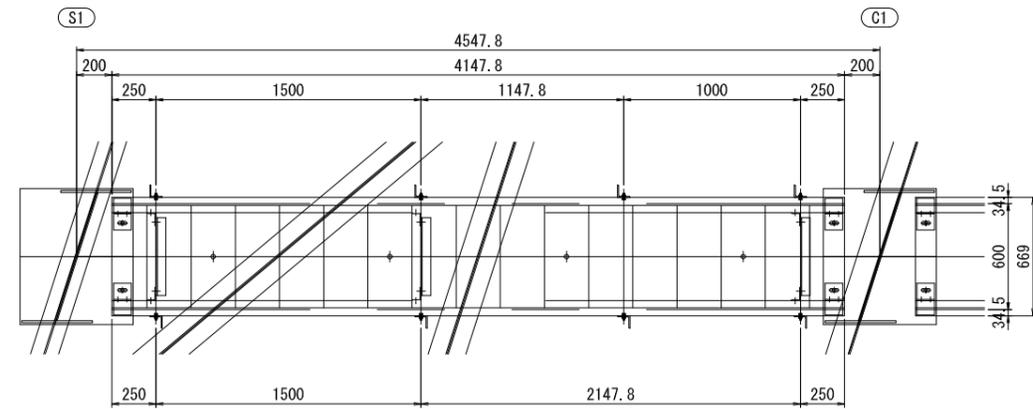
平面図



タイプ A-2
側面図



平面図



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
 4. 水抜き穴はφ10を1mに1箇所程度設けること。

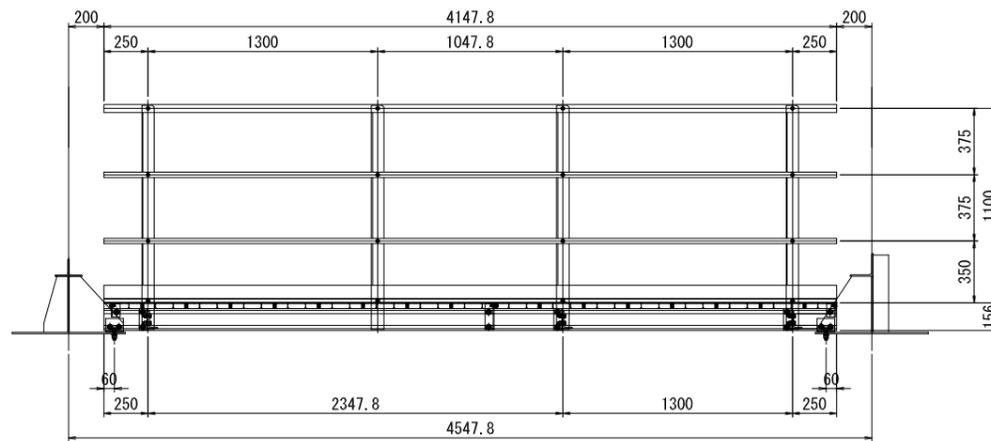
実施

【3号橋】

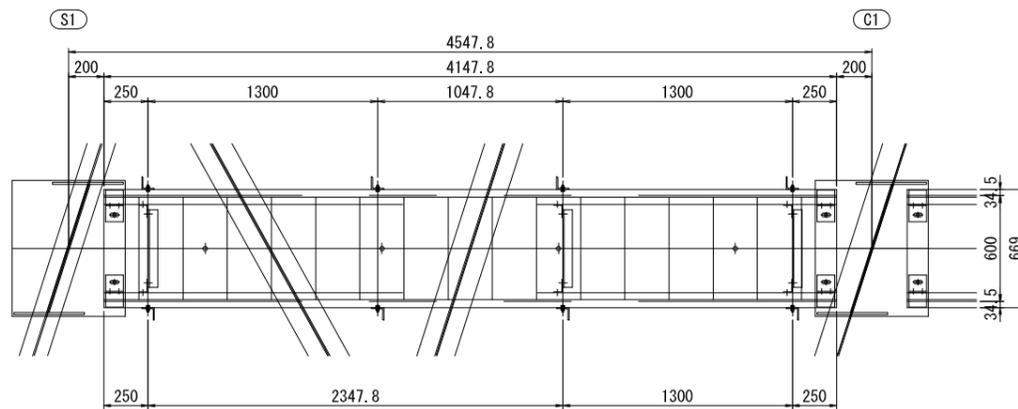
工事番号	令和元年度（Ⅲ）橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	上部工検査路(その3)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	44/64	

上部工検査路(その4)

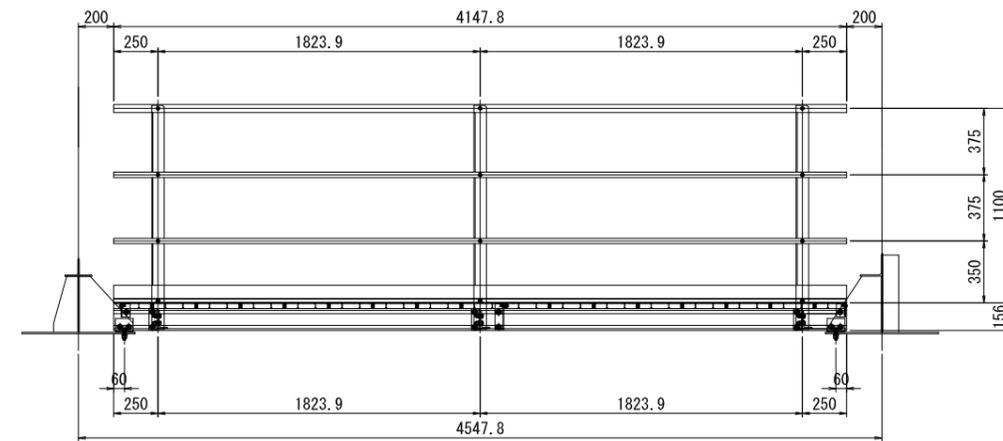
タイプ A-3
側面図



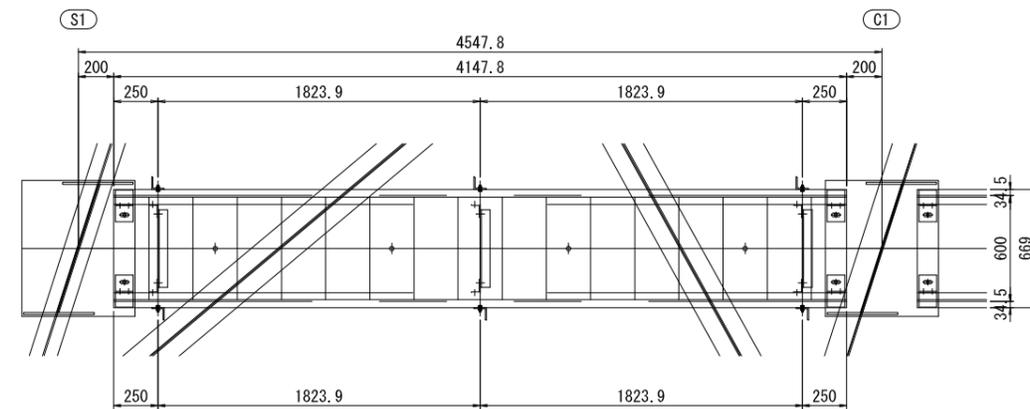
平面図



タイプ A-4
側面図



平面図



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
 4. 水抜き穴はφ10を1mに1箇所程度設けること。

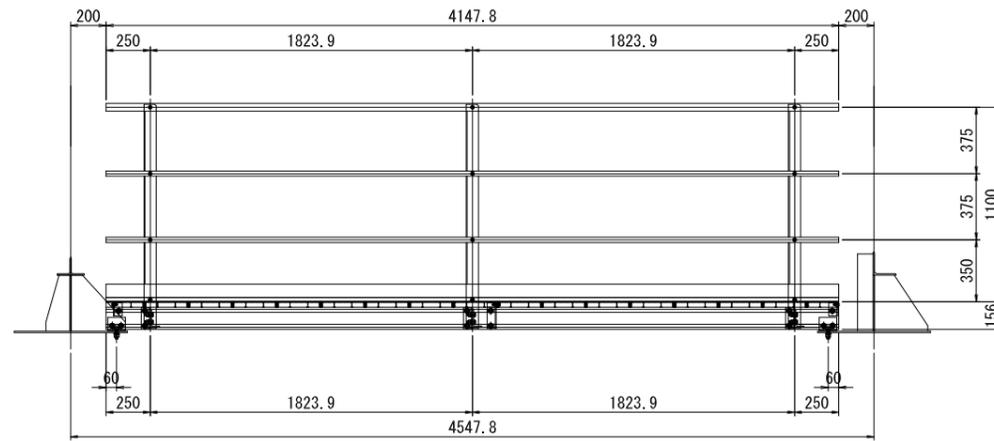
実施

【3号橋】

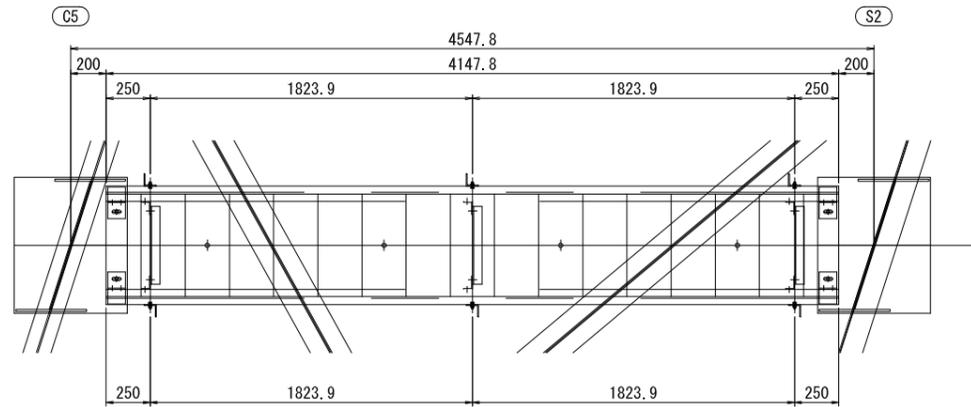
工事番号	令和元年度（Ⅲ）橋第3-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路（Ⅳ）橋梁上部工（橋大規模）工事		
図面名	上部工検査路(その4)		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	45/64	

上部工検査路(その5)

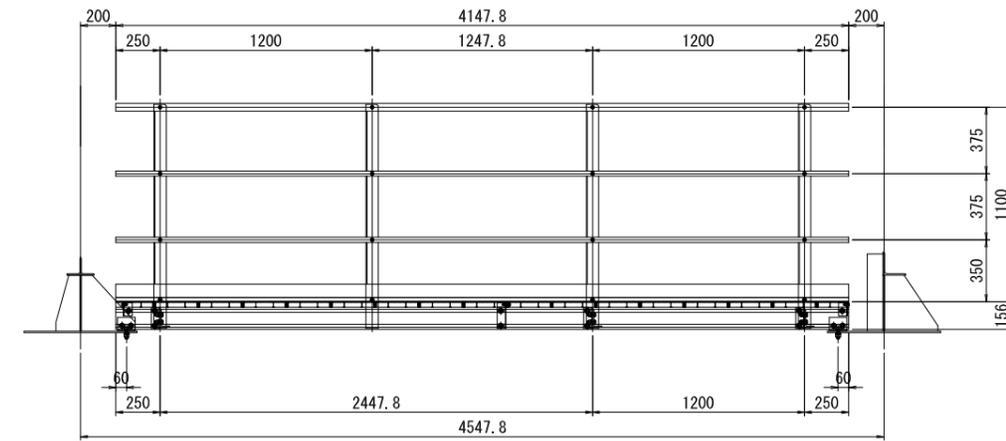
タイプ C-1
側面図



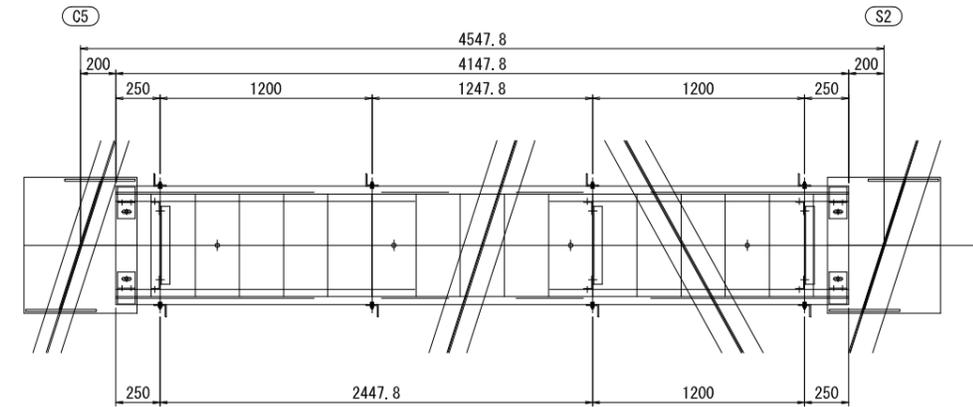
平面図



タイプ C-2
側面図



平面図



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
 4. 水抜き穴はφ10を1mに1箇所程度設けること。

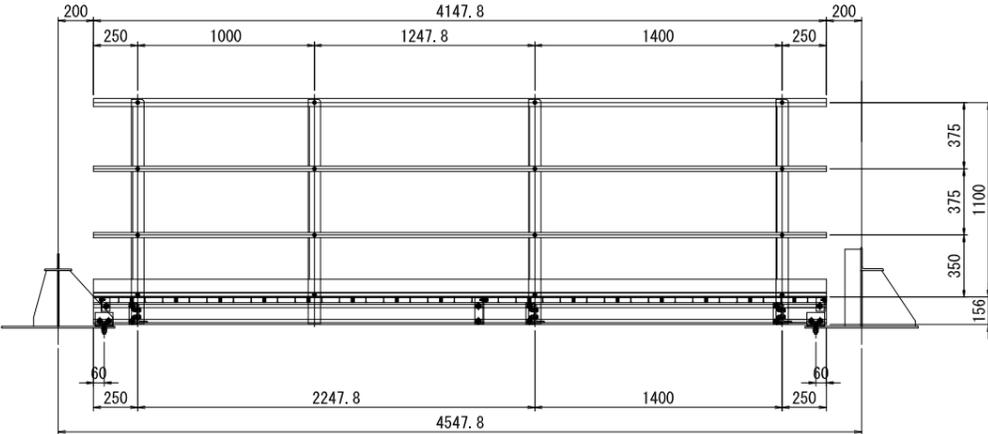
実施

【3号橋】

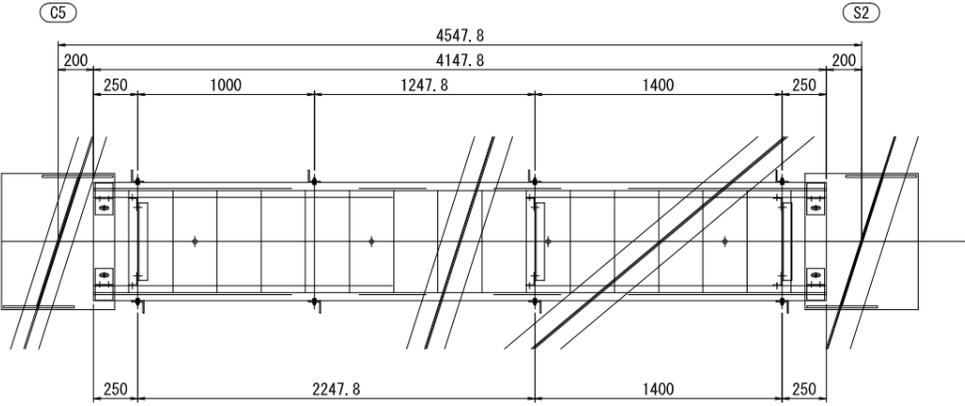
工事番号	令和元年度（Ⅲ）橋第3-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁上部工（新大瀬橋）工事		
図面名	上部工検査路(その5)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	46/64	

上部工検査路(その6)

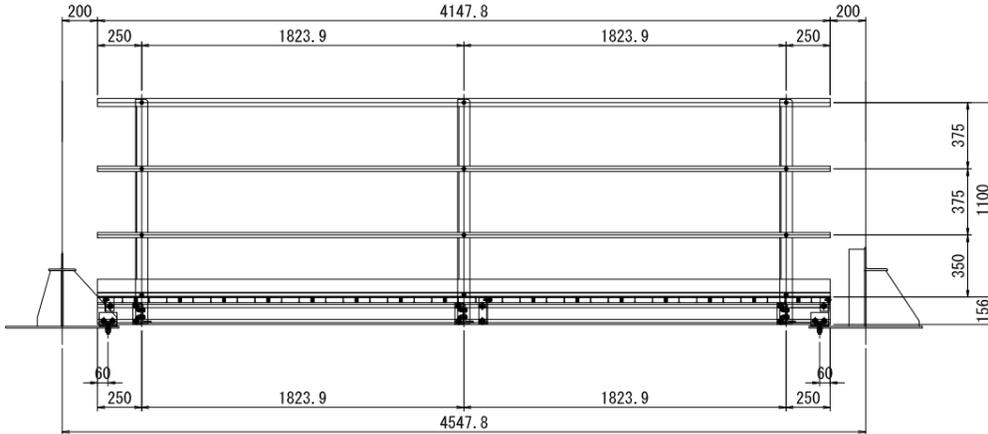
タイプ C-3
側面図



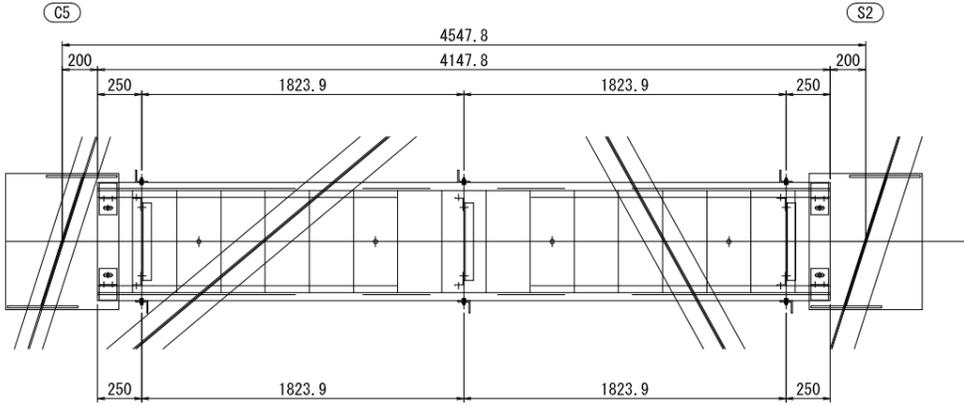
平面図



タイプ C-4
側面図



平面図



- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト（シルバー色）とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き締め止めナットとする。
 4. 水抜き穴はφ10を1mに1箇所程度設けること。

実施

【3号橋】

工事番号	令和元年度（Ⅲ）橋第3-2号		
路線名	（主）築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路（Ⅲ）橋梁上部工（新大瀬橋）工事		
図面名	上部工検査路(その6)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	47/64	

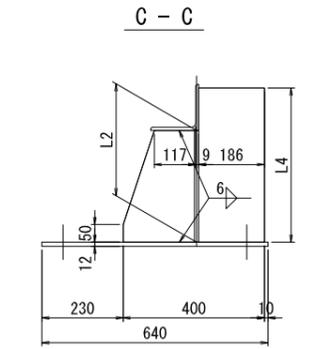
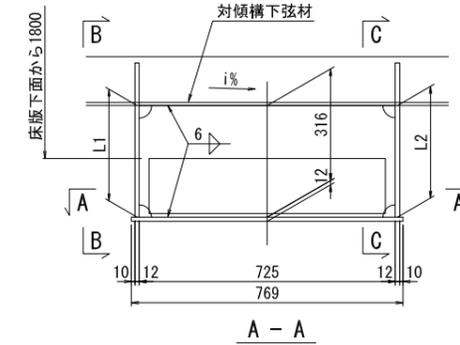
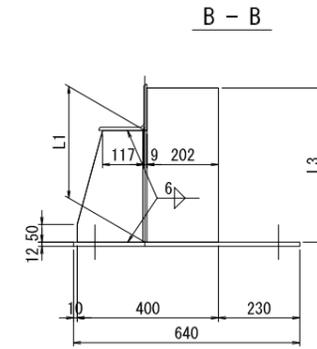
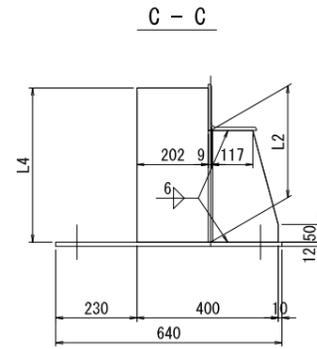
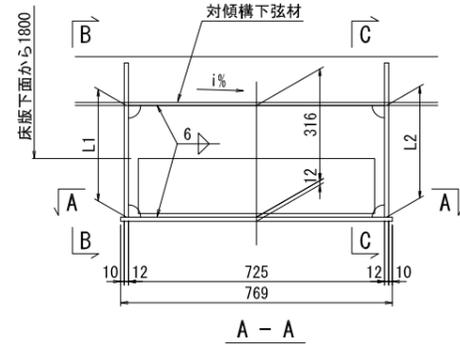
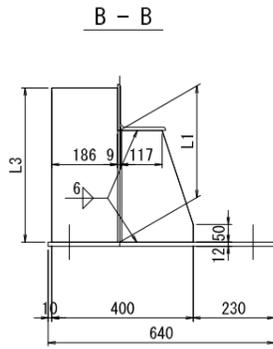
上部工検査路(その8)

受け台詳細

C1, C2 製作数: 8組

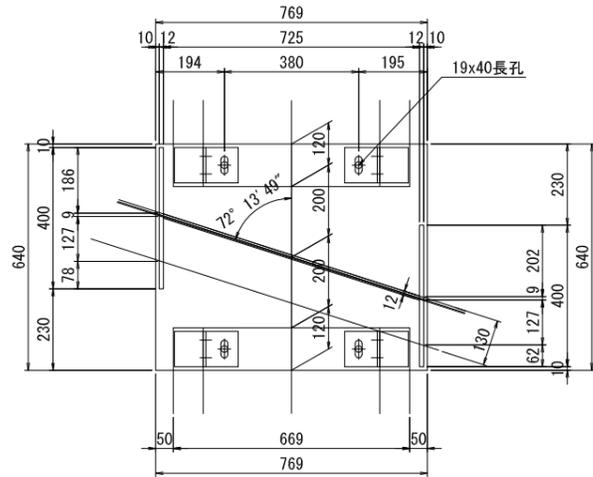
C4, C5 製作数: 8組

C3 製作数: 4組

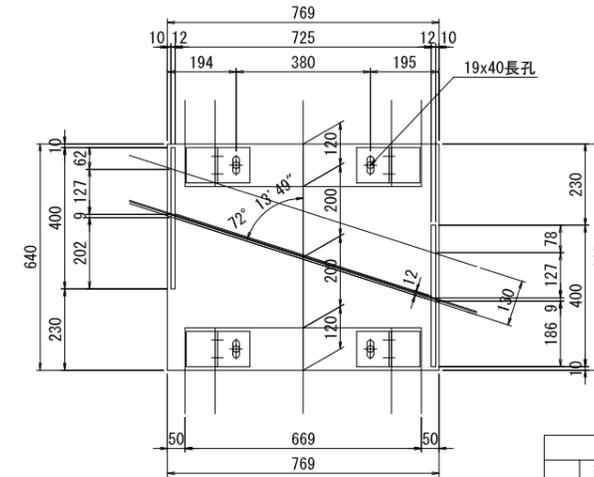


- 1-PL 640x12x769 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL1 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL2 (SM400A)
- 1-PL LL1x12x766 (SM400A)

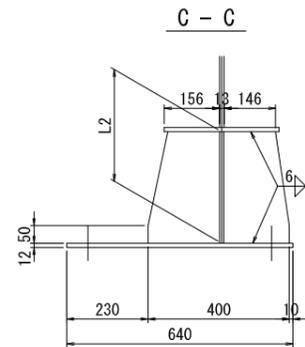
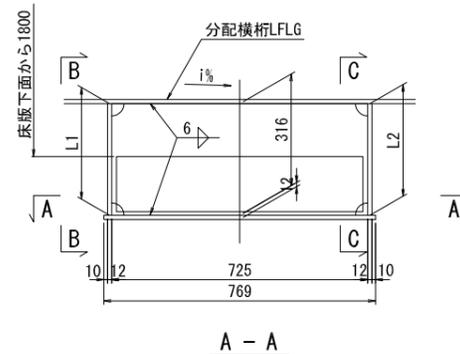
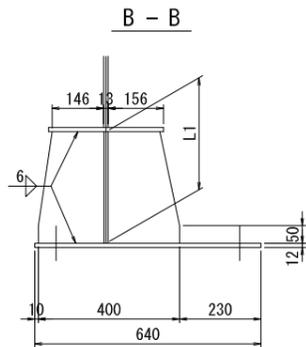
- 1-PL 640x12x769 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL1 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL2 (SM400A)
- 1-PL LL1x12x766 (SM400A)



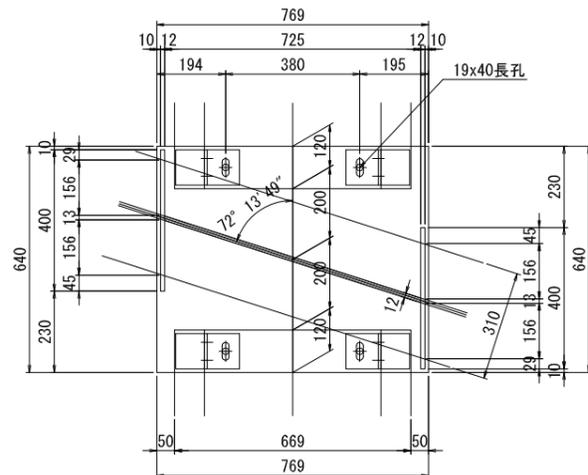
	G1-G2	G2-G3	G3-G4	G4-G5	
C1	i	5.4	5.5	5.7	5.9
	L1	336.2	336.6	337.4	338.1
	L2	295.8	295.4	294.7	293.9
	L3	456.2	456.6	457.4	458.1
	L4	415.8	415.4	414.7	413.9
C2	LL1	457	457	458	459
	LL2	416	416	415	414
	i	4.9	5.1	5.2	5.4
	L1	334.4	335.1	335.5	336.2
	L2	297.7	296.9	296.5	295.8
C3	L3	454.4	455.1	455.5	456.2
	L4	417.7	416.9	416.5	415.8
	LL1	455	456	456	457
	LL2	418	417	417	416



	G1-G2	G2-G3	G3-G4	G4-G5	
C4	i	3.9	4.1	4.2	4.4
	L1	330.6	331.4	331.7	332.5
	L2	301.4	300.7	300.3	299.5
	L3	450.6	451.4	451.7	452.5
	L4	421.4	420.7	420.3	419.5
C5	LL1	451	452	452	453
	LL2	422	421	421	420
	i	3.4	3.6	3.7	3.9
	L1	328.7	329.5	329.9	330.6
	L2	303.3	302.5	302.1	301.4
C6	L3	448.7	449.5	449.9	450.6
	L4	423.3	422.5	422.1	421.4
	LL1	449	450	450	451
	LL2	424	423	423	422



- 1-PL 640x12x769 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL1 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL2 (SM400A)
- 1-PL LL1x12x766 (SM400A)



	G1-G2	G2-G3	G3-G4	G4-G5	
C3	i	4.2	4.3	4.5	4.6
	L1	331.7	332.1	332.9	333.2
	L2	300.3	299.9	299.2	298.8
	LL1	332	333	333	334
	LL2	301	300	300	299

注記

- 本検査路の表面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
- ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
- ナットはダブルナット部を除き締めナットとする。
- ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
- 本図の受け台(鋼製)はアルミ検査路範囲外とする。

実施

【3号橋】

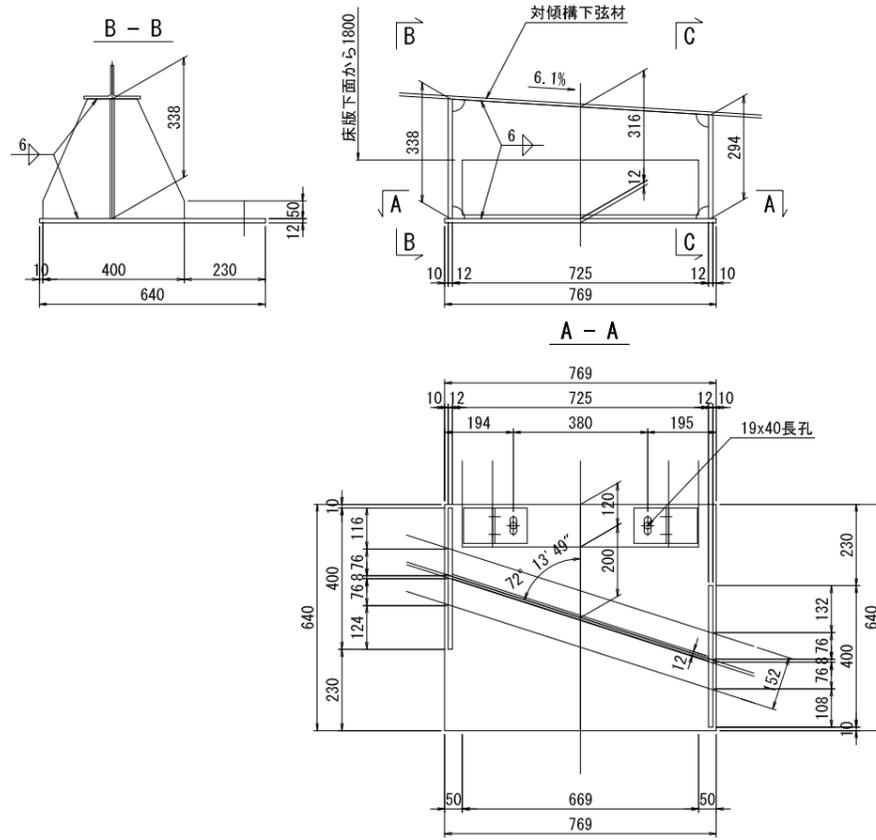
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大規模)工事		
図面名	上部工検査路(その8)		
縮尺	1:10	位置	NO. ~NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	49/64	

上部工検査路(その9)

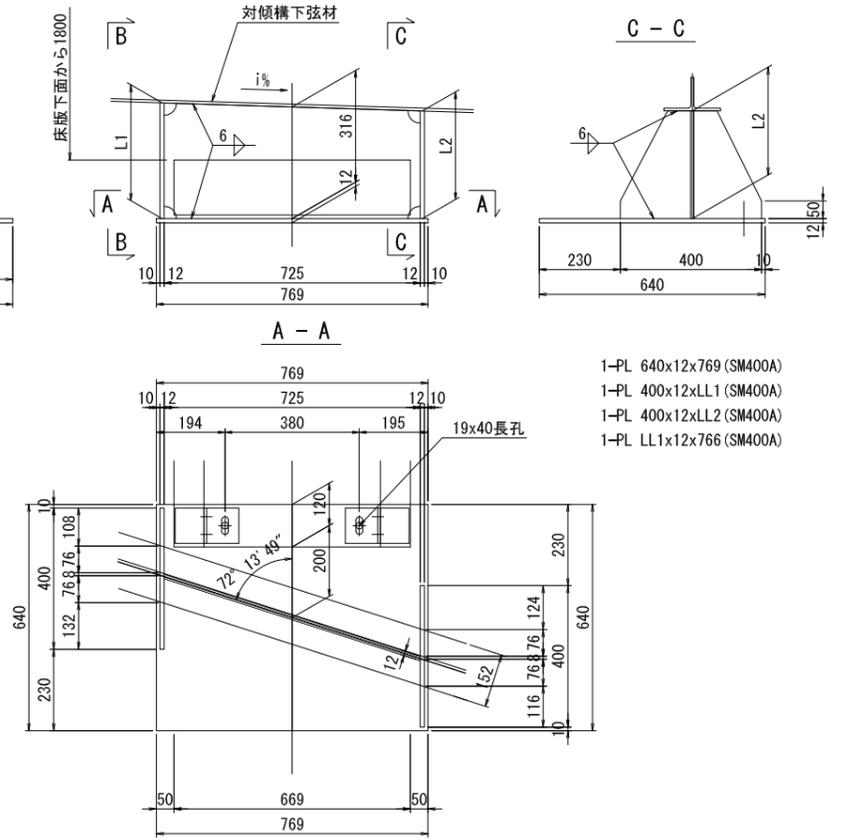
受け台詳細

S1 製作数: 4組

S2 製作数: 4組



- 1-PL 640x12x769 (SM400A)
- 1-PL 400x12x294 (SM400A)
- 1-PL 400x12x339 (SM400A)
- 1-PL 338x12x766 (SM400A)



- 1-PL 640x12x769 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL1 (SM400A)
- 1-PL 400x12xLL2 (SM400A)
- 1-PL LL1x12x766 (SM400A)

		G1-G2	G2-G3	G3-G4	G4-G5
S2	i	3.1	3.2	3.4	3.5
	L1	327.6	328	328.7	329.1
	L2	304.4	304	303.3	302.9
	LL1	328	328	329	330
	LL2	305	304	304	303

- 注記)
1. 本検査路の表面処理はアルマイト(シルバー色)とする。
 2. ボルト、ビス類は塩害対策処理を施すこと。
 3. ナットはダブルナット部を除き弛み止めナットとする。
 4. ボルトの取合いは、現地測量後決定のこと。
 5. 本図の受け台(鋼製)はアルミ検査路範囲外とする。

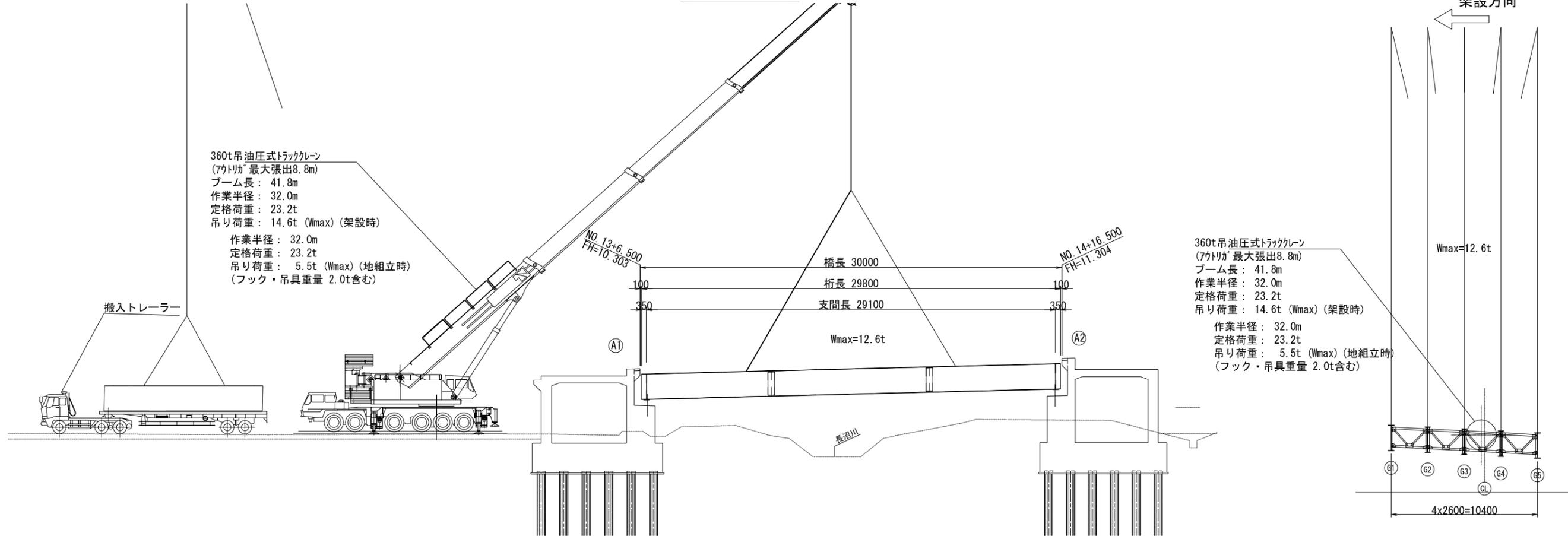
実施

【3号橋】

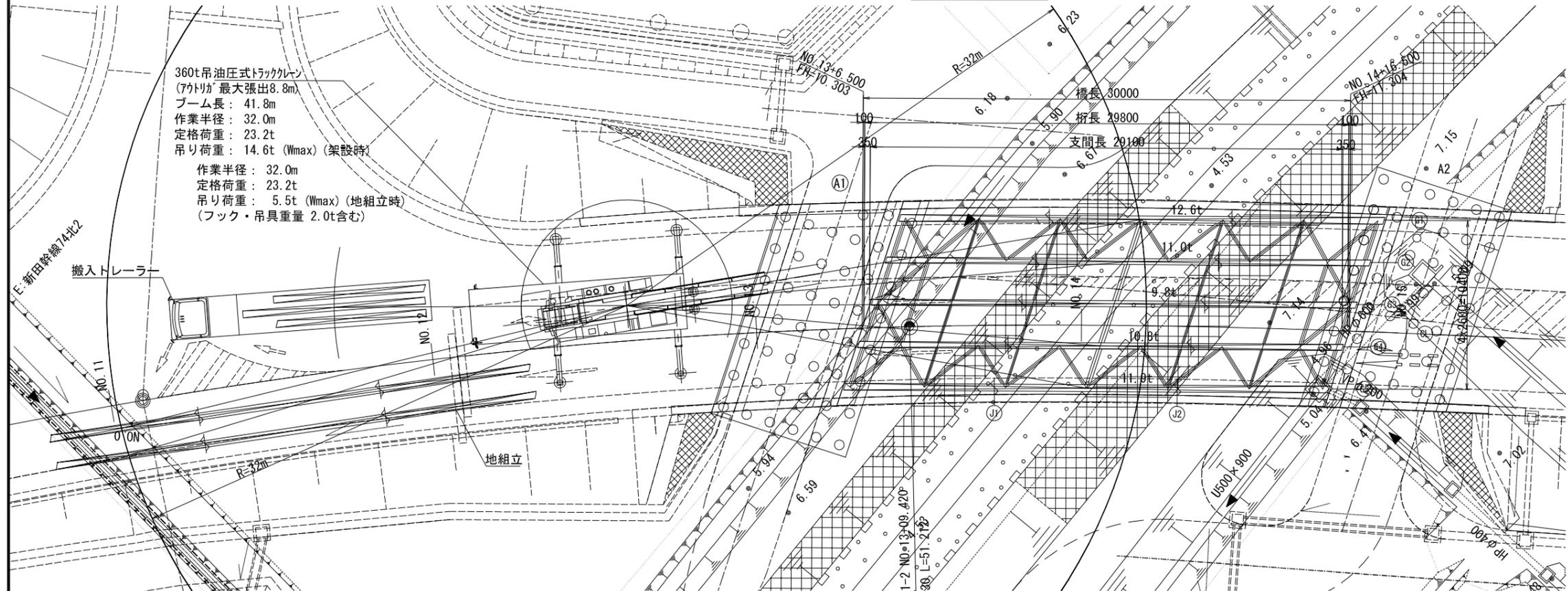
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図面名	上部工検査路(その9)		
縮尺	1:10	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	50/64	

上部工架設計画図 (案)

側面図



平面図



360t吊油圧式トラッククレーン定格総荷重表
TADANO TG-3600M (S性能)
(アトリカ 最大張出8.8m)

作業半径 (m)	ブーム長 (m)	
	41.8	51.0
20.0	41.0	34.6
22.0	36.9	31.4
24.0	33.3	28.6
26.0	30.3	26.1
28.0	27.6	23.9
30.0	25.2	21.9
32.0	23.2	20.2
34.0	21.4	18.7
36.0	19.3	17.3
38.0	17.2	16.1
40.0	-	15.0
42.0	-	14.0
44.0	-	13.1
46.0	-	12.1

(単位: t)

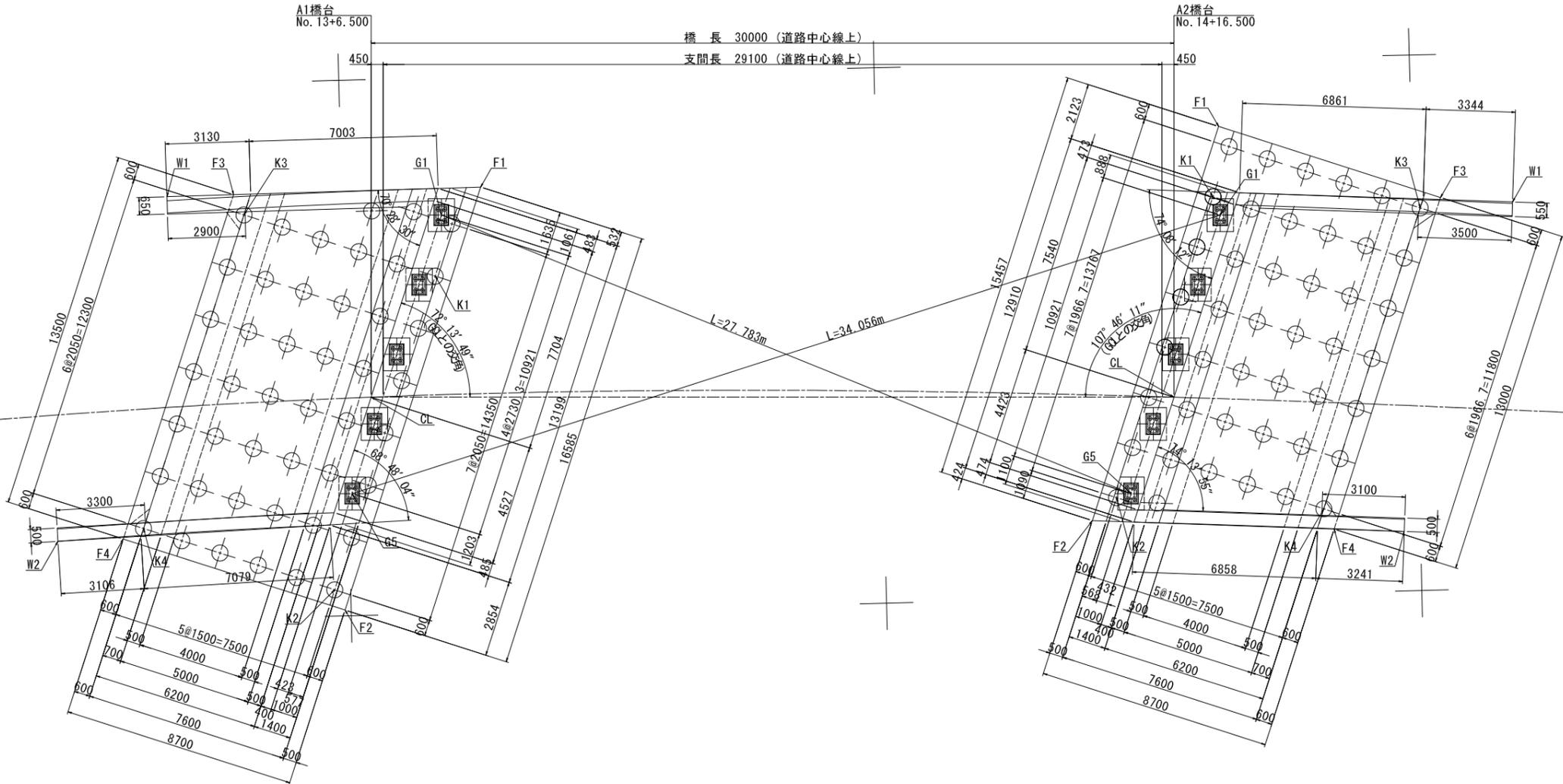
【参考図】

【3号橋】

実施

工事番号	令和元年度 (Ⅲ) 橋第3-2号		
路線名	(主) 築館登米線		
施工地名	登米市町町北方地内		
工事名	みやぎ県北高速幹線道路 (Ⅲ) 橋梁上部工 (新大瀬橋) 工事		
図面名	上部工架設計画図 (案)		
縮尺	S=1:150	位置	NO. ~ NO.
設計者	宮城県	設計年度	
	図番		51/64

下部工座標図 S=1:100



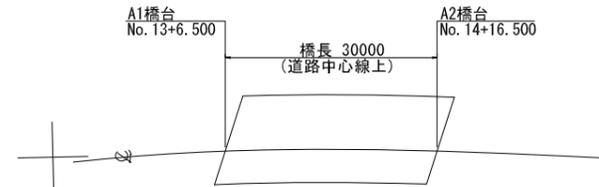
大座標値

		A1橋台		A2橋台	
		X	Y	X	Y
道路中心	CL	-143500.9313	30208.1439	-143530.9169	30207.4363
フーチング	F1	-143505.2047	30215.8905	-143532.8200	30217.5046
	F2	-143499.7719	30200.2205	-143527.7568	30202.9008
	F3	-143495.9741	30215.8255	-143541.0400	30214.6547
	F4	-143491.5519	30203.0704	-143536.7815	30202.3720
ウイング	W1	-143493.4803	30215.8080	-143543.7304	30214.4275
	W2	-143489.1112	30203.0394	-143539.3948	30202.2189
支承	G1	-143503.7144	30214.8801	-143532.8020	30214.1937
	G5	-143500.1370	30204.5616	-143529.2246	30203.8752
杭	K1	-143503.4306	30212.6053	-143533.1904	30216.7412
	K2	-143499.4015	30200.9839	-143529.3250	30205.5922
	K3	-143496.3444	30215.0621	-143540.2765	30214.2844
	K4	-143492.3153	30203.4407	-143536.4112	30203.1354

小座標値

		A1橋台		A2橋台	
		X	Y	X	Y
道路中心	CL	0.0000	0.0000	29.9939	0.0000
支承	G1	2.6234	6.8000	31.7191	6.8000
	G5	-0.7096	-3.6000	28.3861	-3.6000

大座標と小座標の関係 S=1:500



※CLとA1の交点を小座標の原点とし、CLとA2の交点と原点を結んだ線をX軸とする。

座標値

		大座標値		小座標値	
		X	Y	X	Y
A1	No. 13+ 6.500	-143500.9313	30208.1439	0.0000	0.0000
A2	No. 14+16.500	-143530.9169	30207.4363	29.9939	0.0000

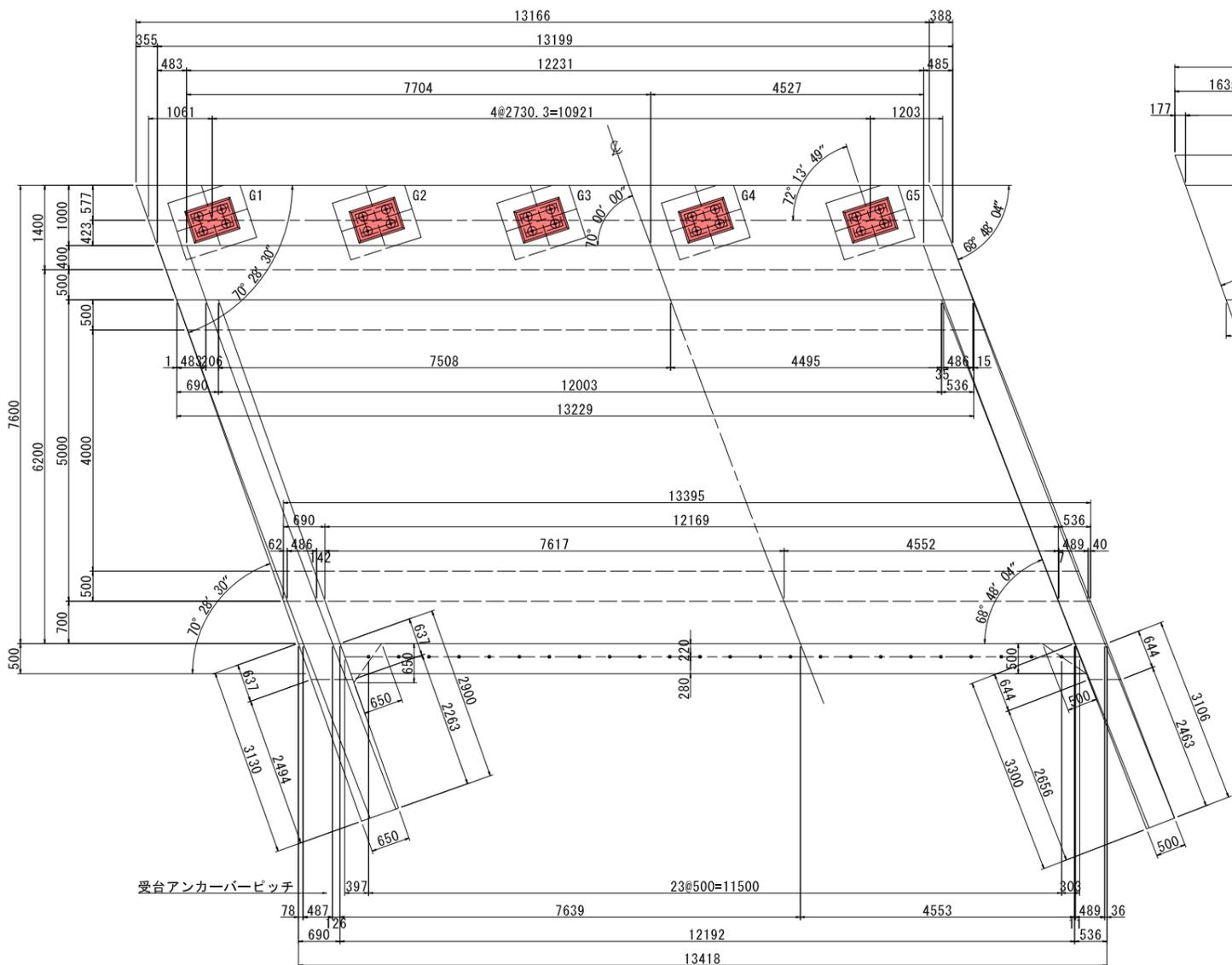
実施

【3号橋】

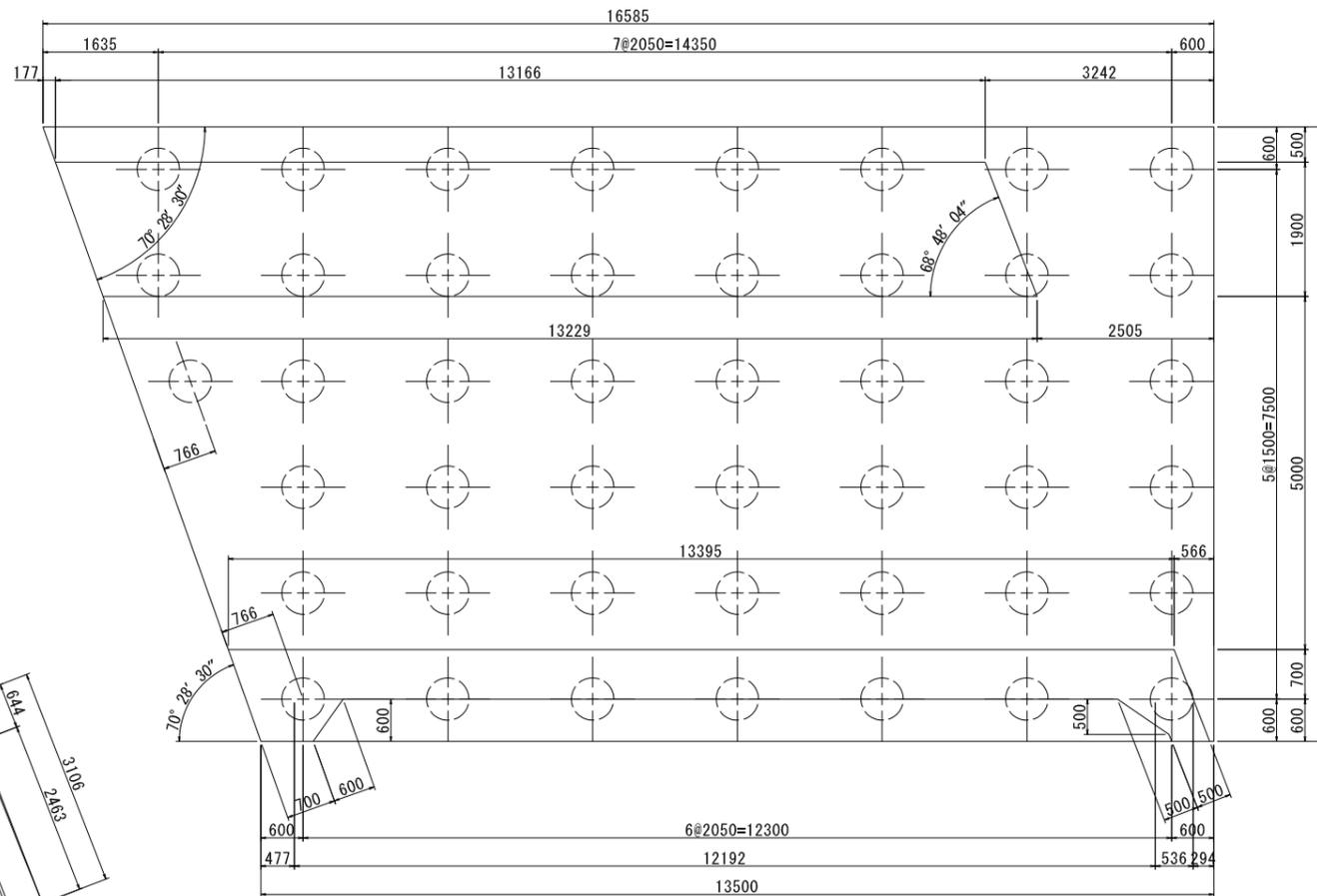
工事番号	令和元年度 (Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
施工地名	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高瀬幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図名	下部工座標図		
縮尺	図示	位置	NO. NO.
設計者		設計	年度
宮城県	図番	52/64	

A1橋台構造図(2) S=1:50 (支承条件:固定)

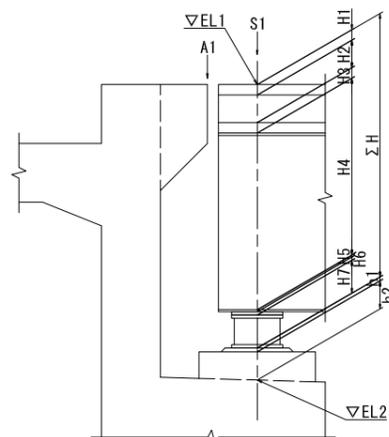
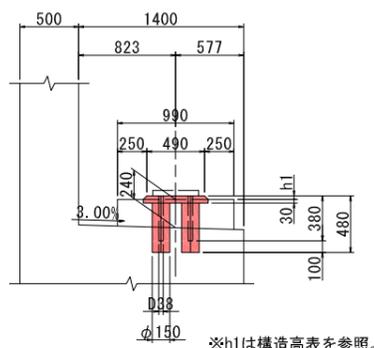
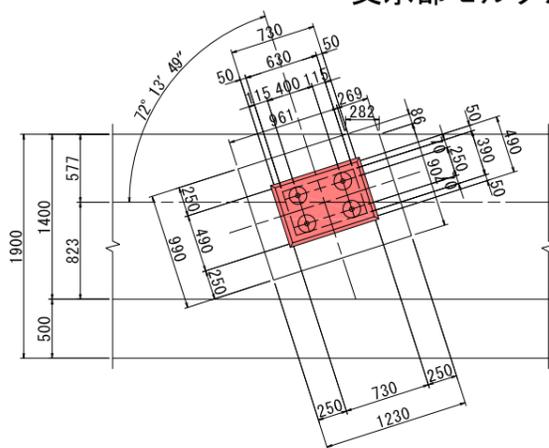
5 - 5



6 - 6



支承部モルタル詳細図 S=1:30



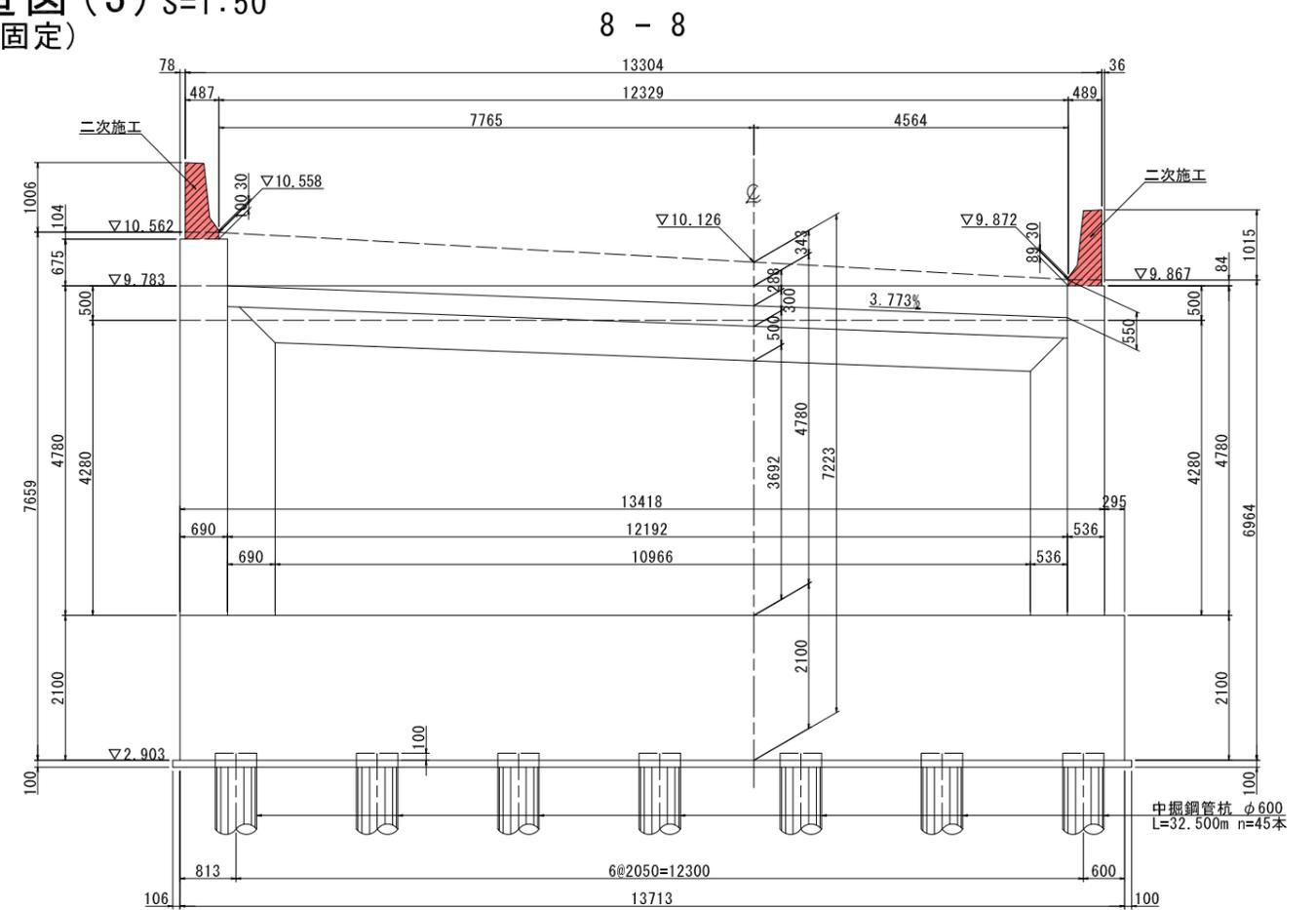
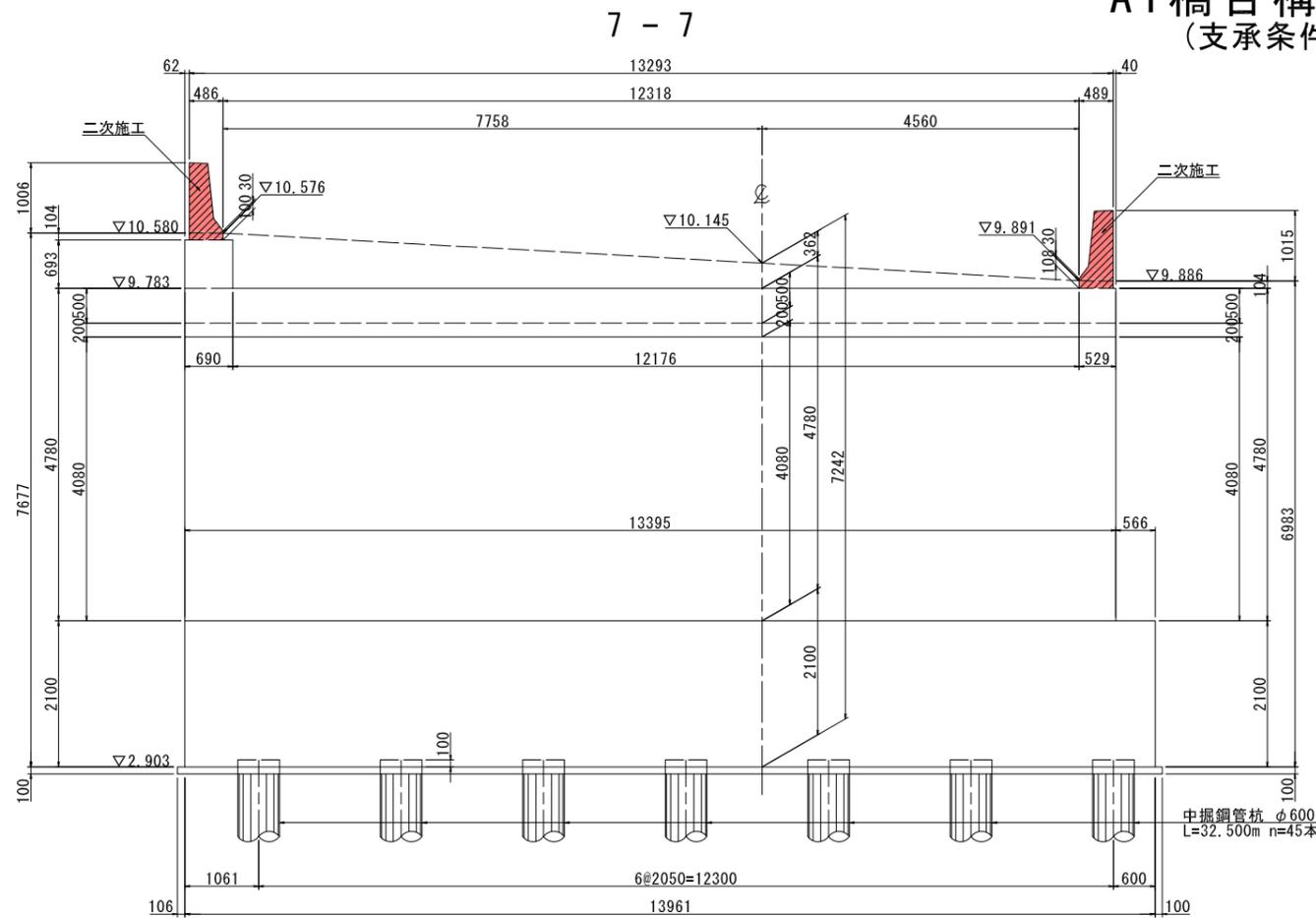
構造高表

A1		S1					A1
計画高	EL1	G1	G2	G3	G4	G5	CL
計画高	EL1	10.7085	10.5573	10.4060	10.2544	10.1026	10.3025
舗装厚	H1	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	
床版厚	H2	0.2100	0.2100	0.2100	0.2100	0.2100	
ハンチ高	H3	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
主桁高	H4	1.8000	1.8000	1.8000	1.8000	1.8000	
下フランジ厚	H5	0.0330	0.0300	0.0250	0.0290	0.0300	
ソールプレート厚	H6	0.0270	0.0270	0.0270	0.0270	0.0270	
支承厚	H7	0.1360	0.1360	0.1360	0.1360	0.1360	
構造高	ΣH	2.3760	2.3730	2.3680	2.3720	2.3730	
沓座モルタル	h1	0.0297	0.0322	0.0366	0.0317	0.0297	バラ高
沓座コンクリート	h2	0.2400	0.2400	0.2400	0.2400	0.2400	2.6200
橋座天端	EL2	8.0628	7.9121	7.7614	7.6107	7.4599	7.6825

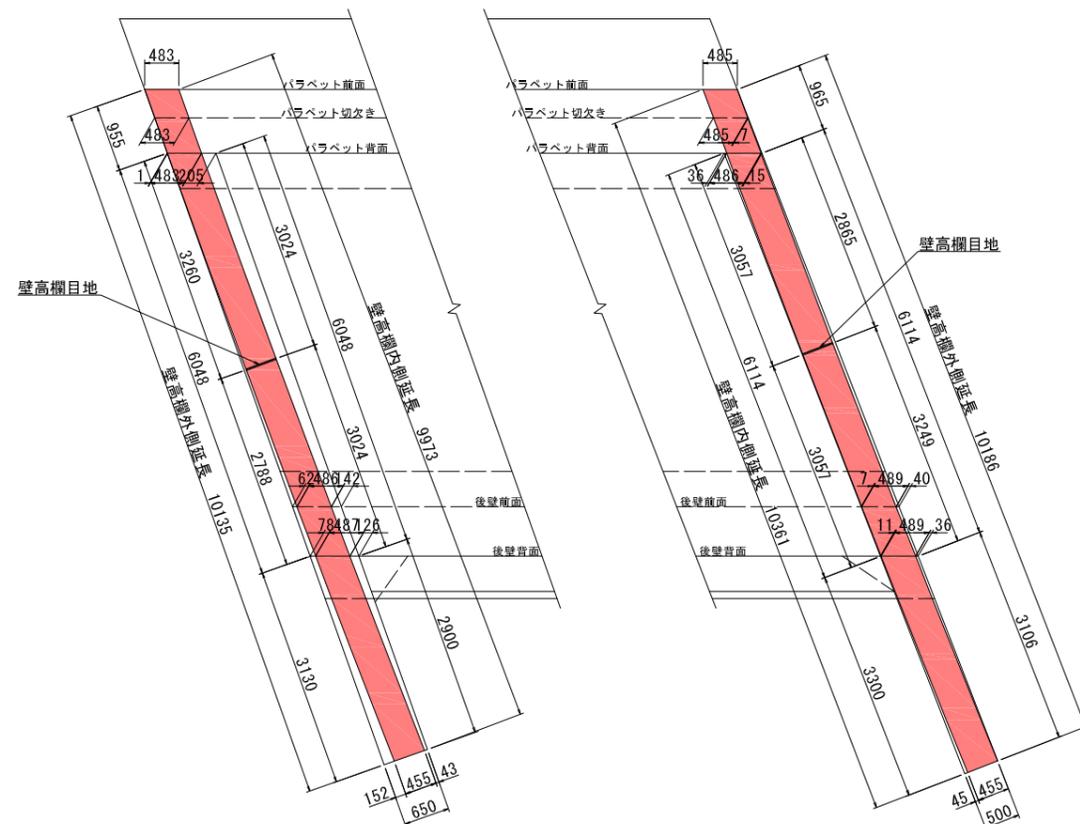
※H7、h1、h2の合計が400mm程度となるようにすること。

使用材料		
コンクリート	躯体コンクリート	$\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SD345	
実施		
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号	
路線名	(主)築館登米線	
箇所	登米市迫町北方地内	
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(田)橋梁上部工(橋大規模)工事	
図名	A1橋台構造図(2)	
縮尺	S=1:50	位置 NO. ~NO.
設計者	設計年度	
宮城県	図番	54/64

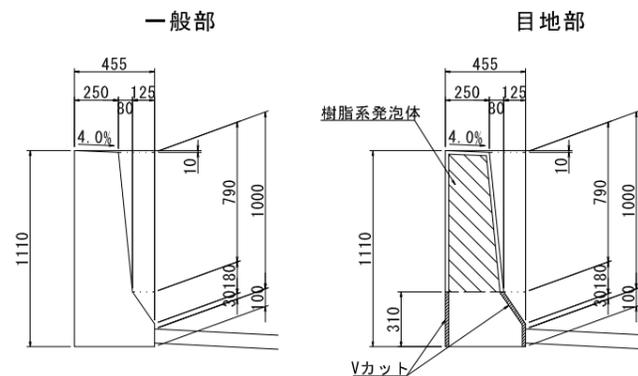
A1橋台構造図(3) S=1:50 (支承条件:固定)



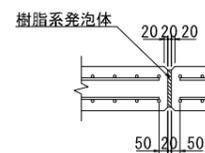
壁高欄平面図



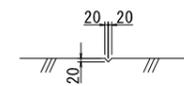
壁高欄断面図 S=1:20



目地詳細図 S=1:20



Vカット詳細図 S=1:20



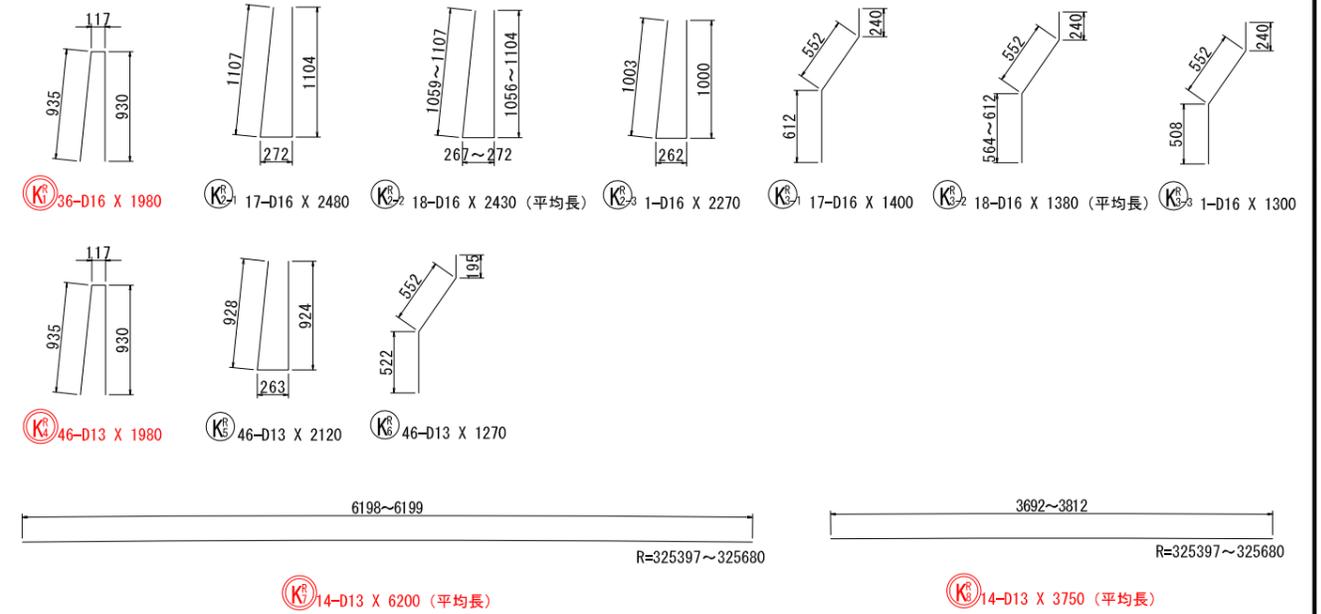
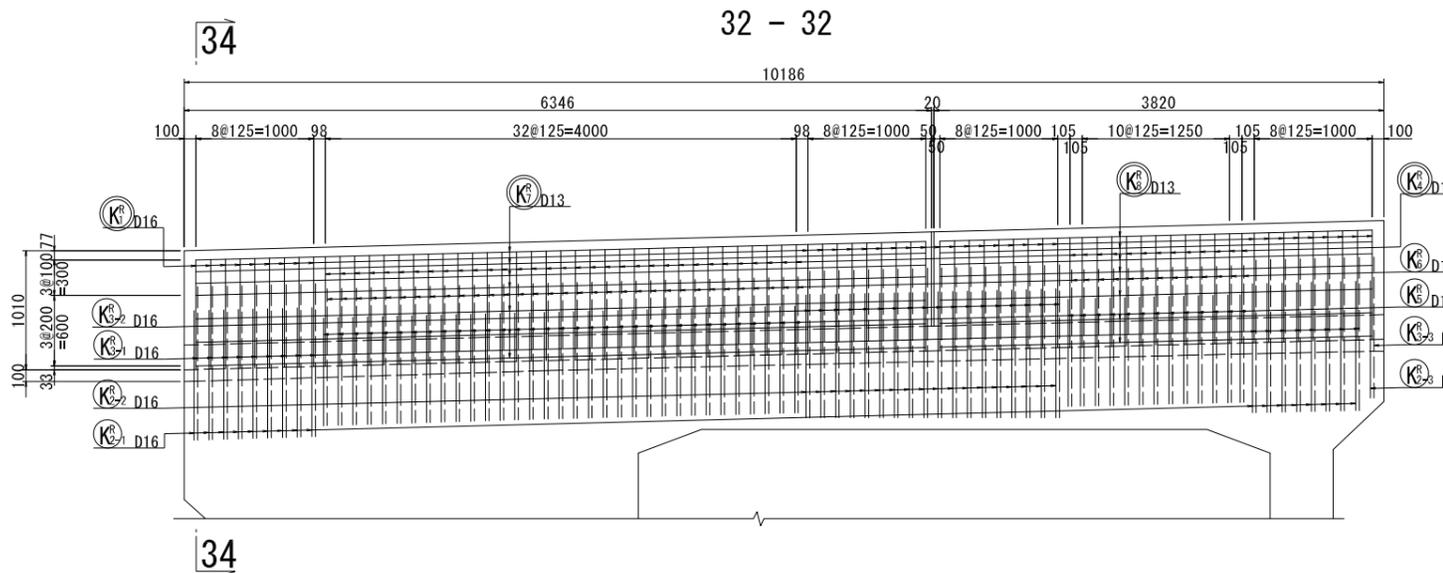
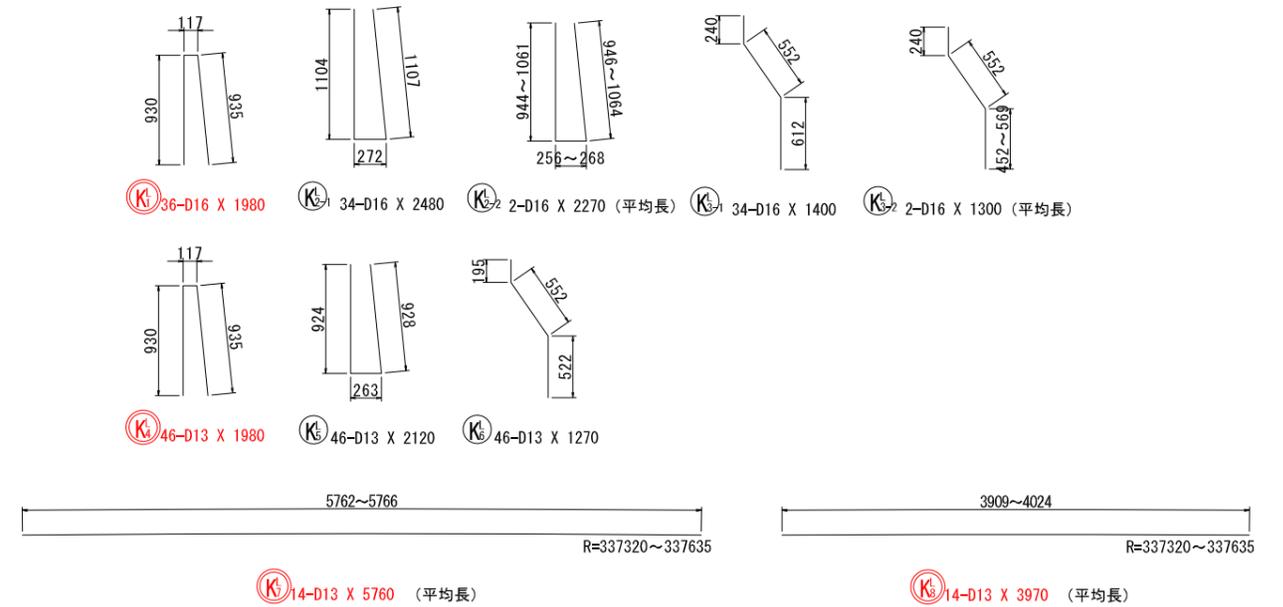
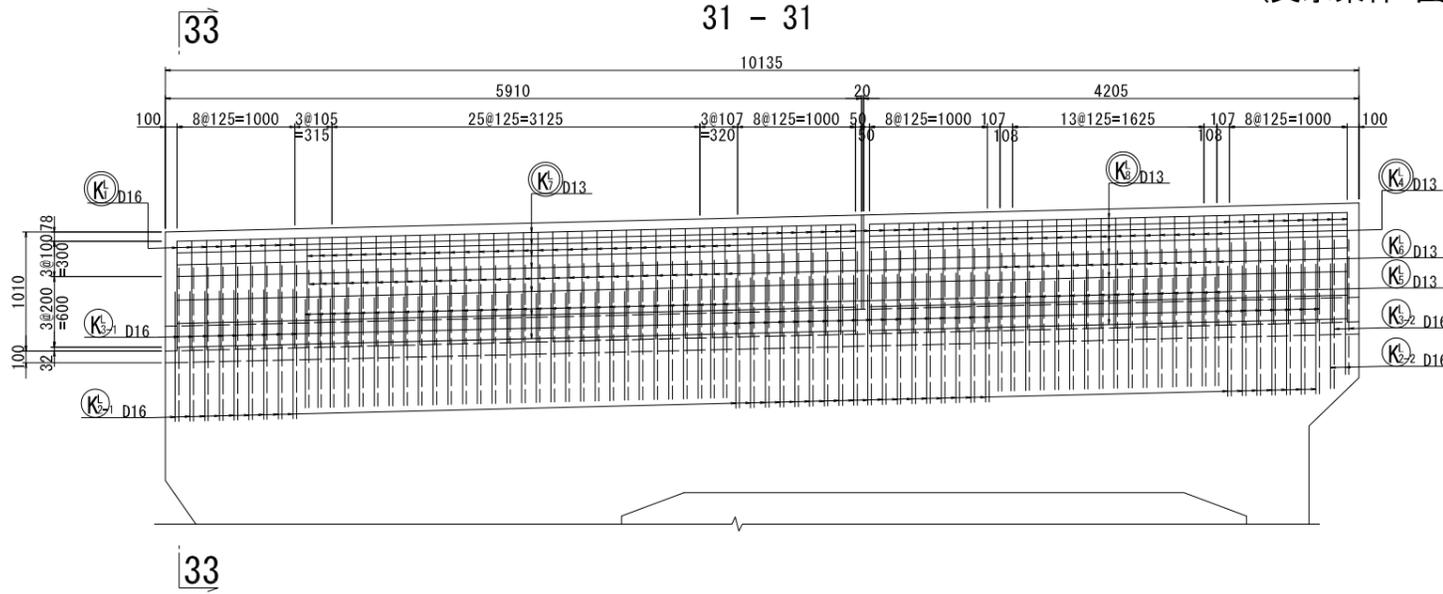
- 注記)
- ※1. 壁高欄のハッチング部は、二次施工範囲を示す。
 - ※2. 壁高欄には膨張コンクリートを用いること。
 - ※3. 壁高欄は道路線形なりに施工すること。

使用材料	
コンクリート	躯体コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SD345
実施	
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号
路線名	(主)築館登米線
箇所	登米市迫町北方地内
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋台・橋脚)工事
図名	A1橋台構造図(3)
縮尺	S=1:50
位置	NO. ~NO.
設計者	監計年度
宮城県	図番 55/64

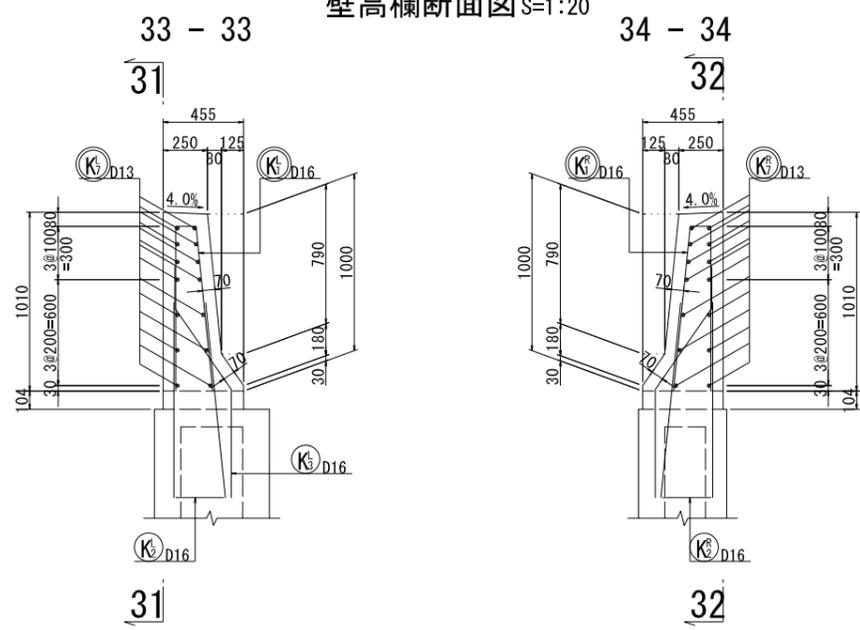
A1橋台配筋図(16)

(支承条件:固定)

S=1:30



壁高欄断面図 S=1:20



※ 鉄筋は、二次施工を示す。

使用材料		
コンクリート	躯体コンクリート	$\sigma_{ck} = 24\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD345	

実施		【3号橋】	
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号	縮尺	図示
路線名	(主)築館登米線	位置	NO. ~NO.
箇所	登米市迫町北方地内	設計年度	
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事	設計者	
図名	A1橋台配筋図(16)	宮城県	図番
縮尺	図示		57/64

注記
 ※1. 壁高欄には膨張コンクリートを用いること。
 ※2. 壁高欄は道路線形なりに施工すること。

A1橋台配筋図(18) (参考図)
(支承条件:固定)

鉄筋重量表(二次施工)

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
K ^L ₁	D16	1980	36	1.56	3.09	111	∥
K ^L ₄	D13	1980	46	0.995	1.97	91	∥
K ^L ₇	D13	5760	14	0.995	5.73	80	——(平均長)
K ^L ₈	D13	3970	14	0.995	3.95	55	——(平均長)
						337	
K ^R ₁	D16	1980	36	1.56	3.09	111	∥
K ^R ₄	D13	1980	46	0.995	1.97	91	∥
K ^R ₇	D13	6200	14	0.995	6.17	86	——(平均長)
K ^R ₈	D13	3750	14	0.995	3.73	52	——(平均長)
						340	
合計 D16				222 kg			
D13				455 kg			
総重量				677 kg			

使用材料		
コンクリート	躯体コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²
鉄筋	SD345	

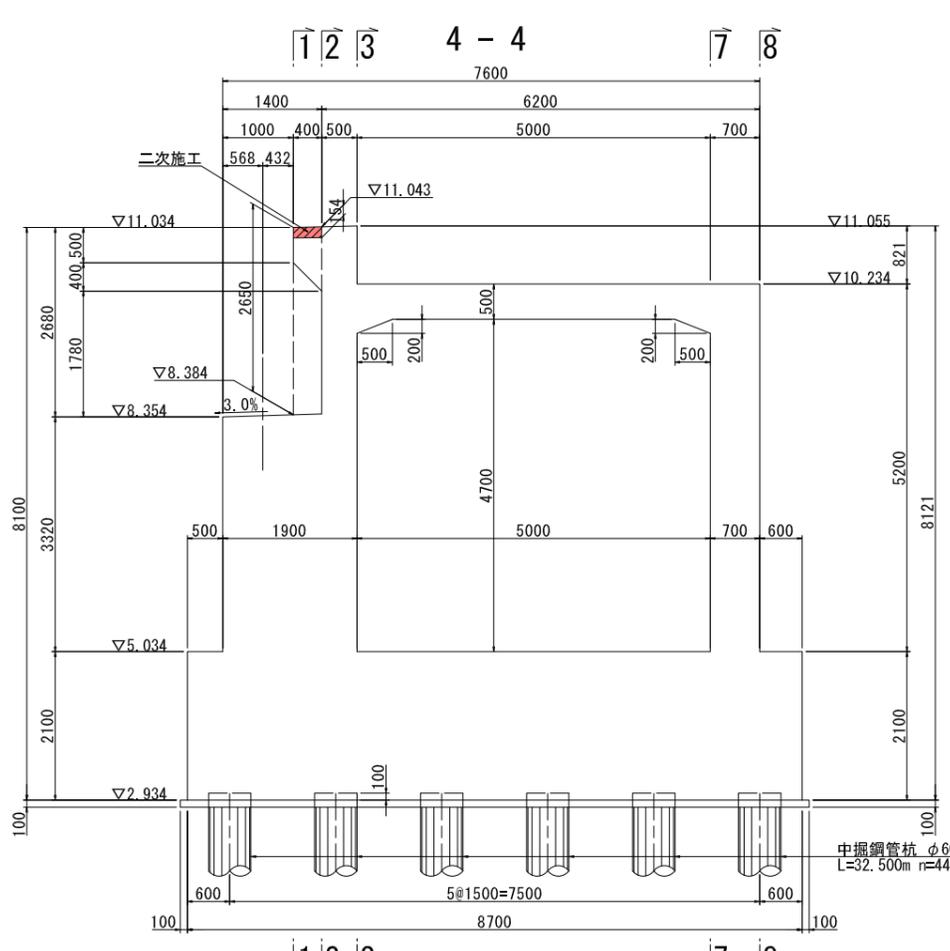
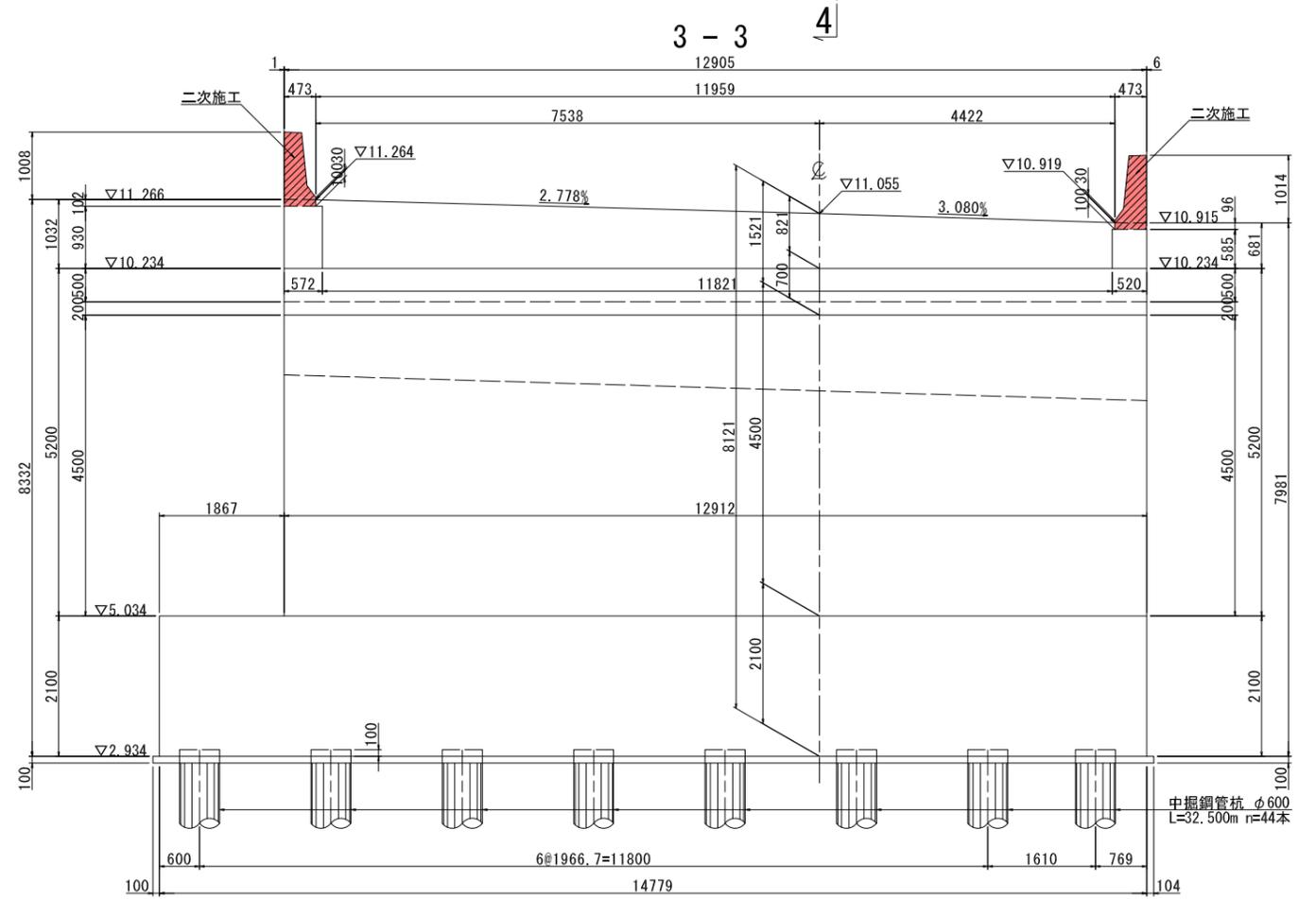
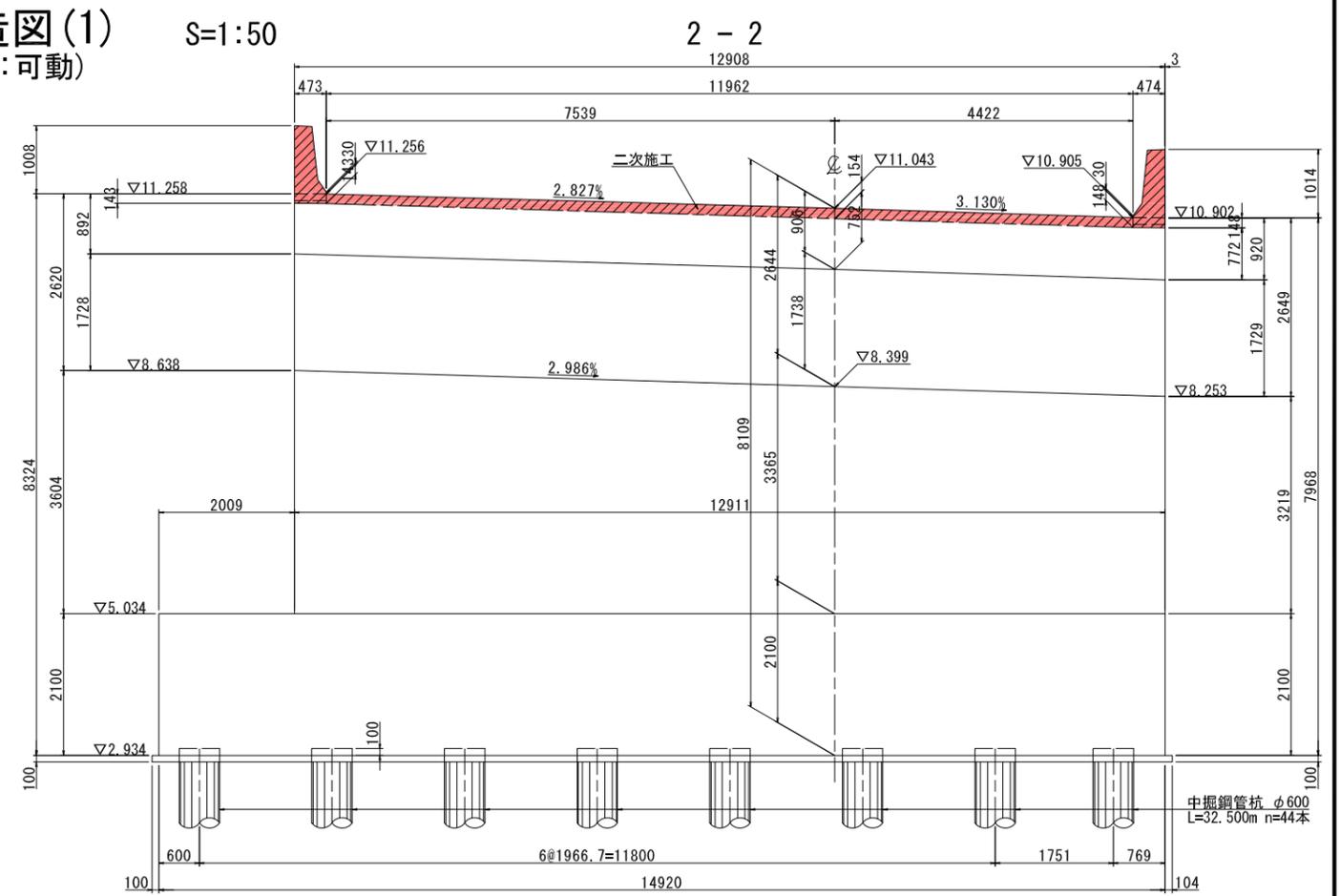
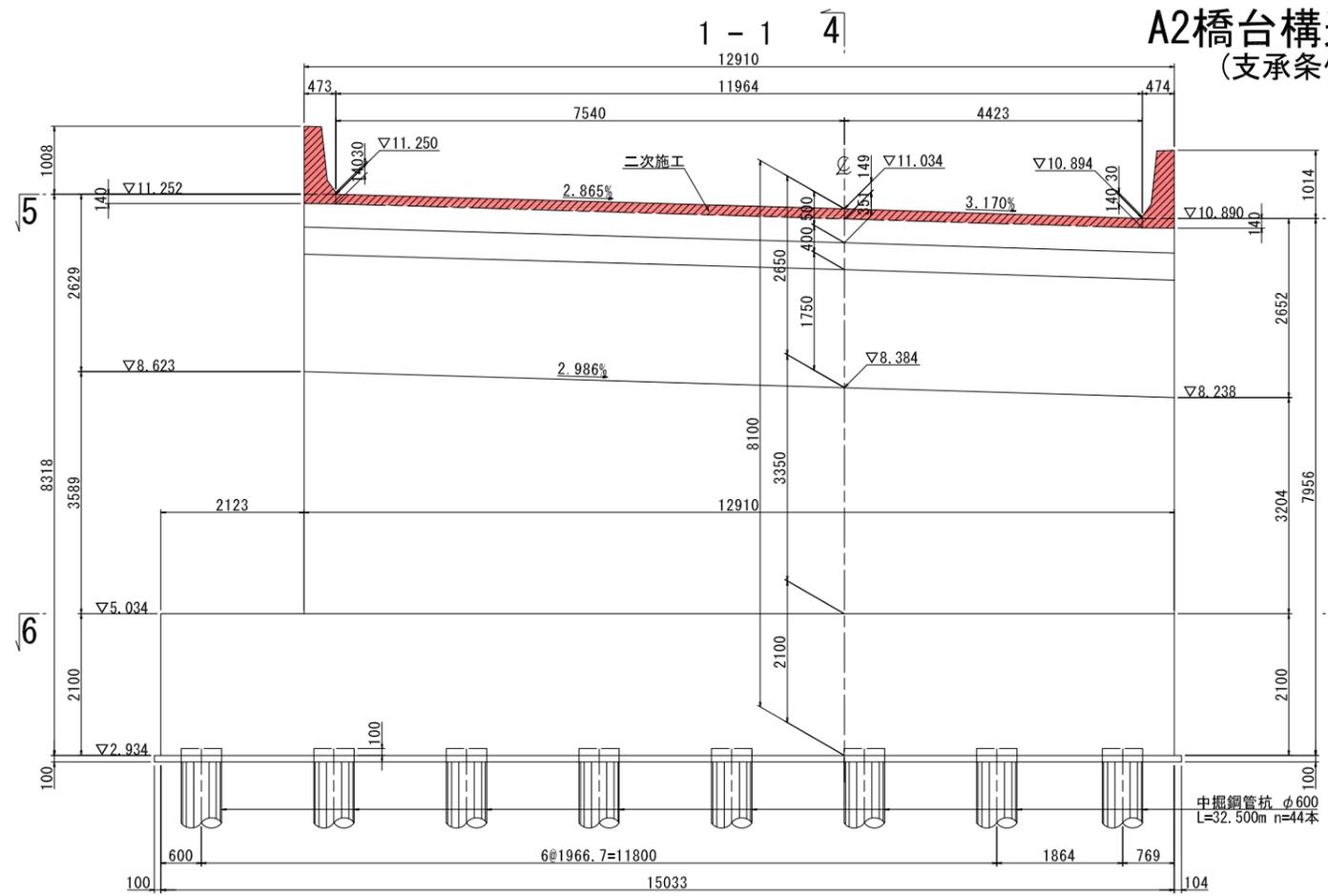
実施 【3号橋】

工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
箇所	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ県北高遠幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事		
図名	A1橋台配筋図(18) (参考図)		
縮尺	図示	位置	NO. ~ NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	58/64	

A2橋台構造図(1)

(支承条件:可動)

S=1:50



注記)
 ※1. 壁高欄のハッチング部は、二次施工範囲を示す。
 ※2. 壁高欄には膨張コンクリートを用いること。
 ※3. 壁高欄は道路線形なりに施工すること。

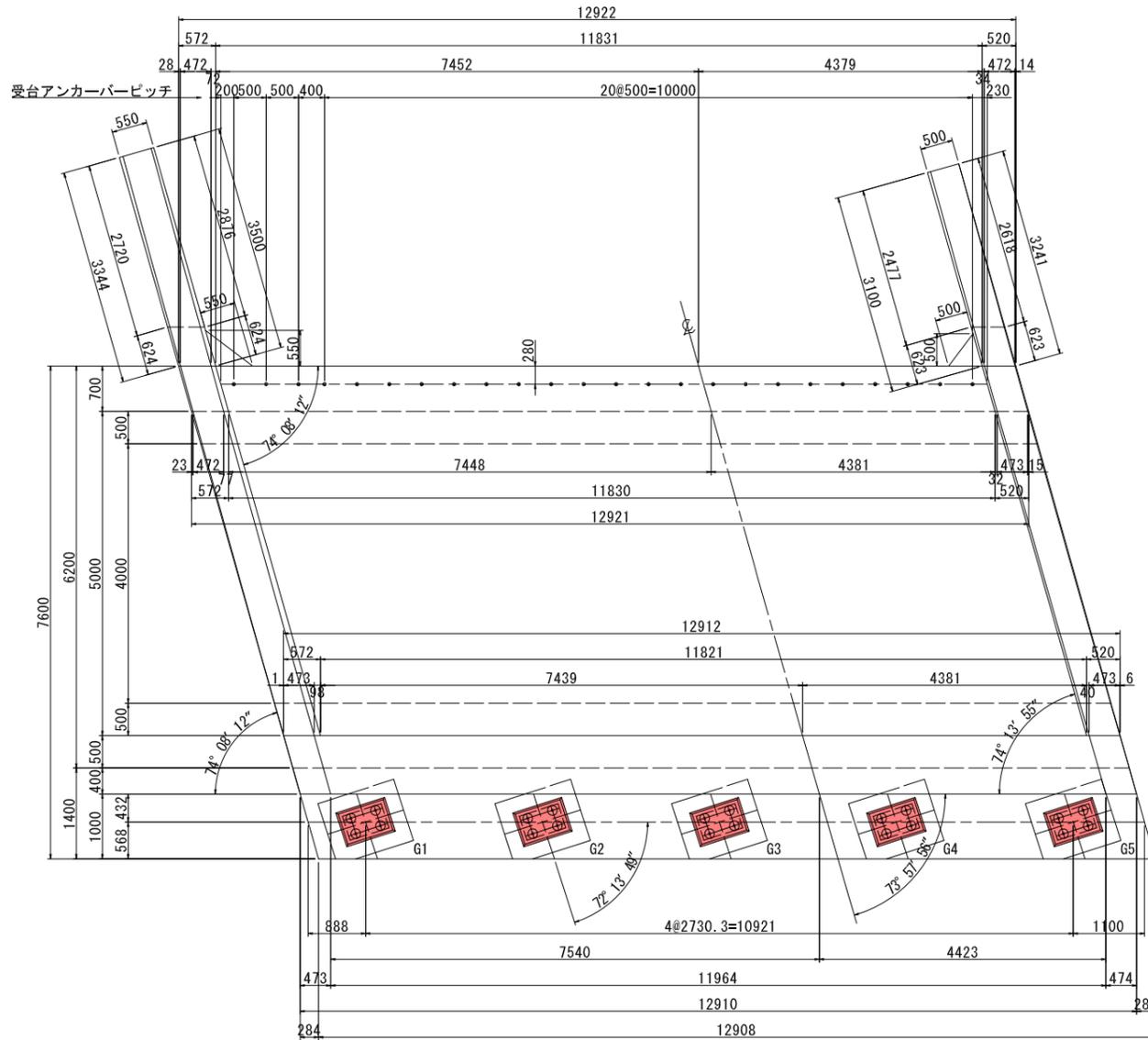
使用材料	
コンクリート	躯体コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SD345
実施	
【3号橋】	
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号
路線名	(主)築館登米線
箇所	登米市追町北方地内
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(新大瀬橋)工事
図名	A2橋台構造図(1)
縮尺	図示
位置	NO. ~NO.
設計年度	設計年度
宮城県	図番 59/64

A2橋台構造図(2)

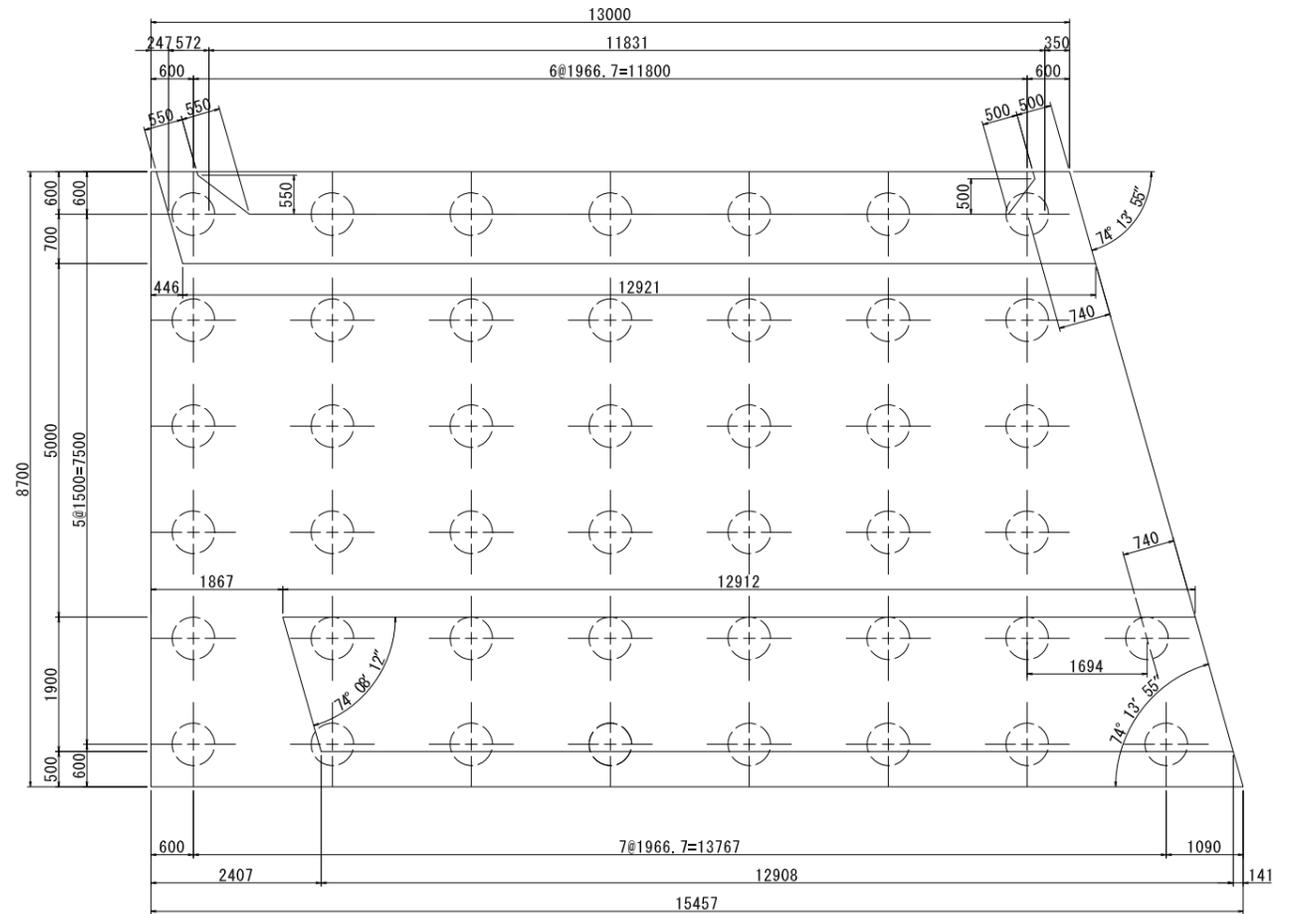
(支承条件:可動)

S=1:50

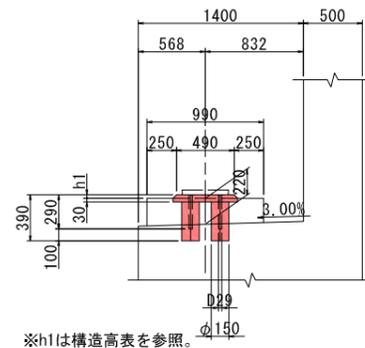
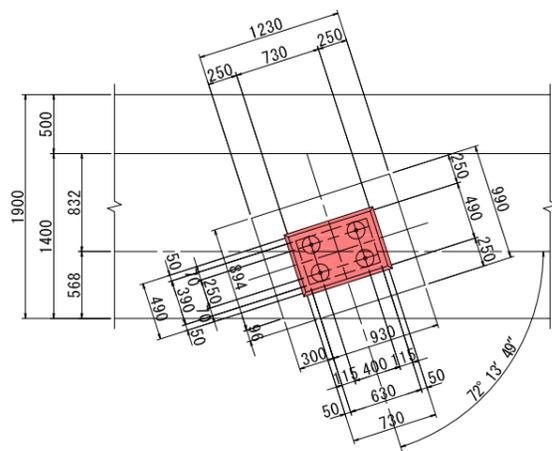
5 - 5



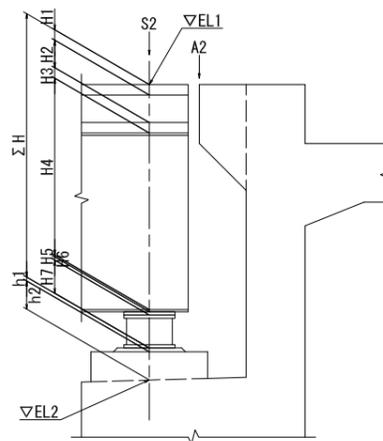
6 - 6



支承部モルタル詳細図 S=1:30



※h1は構造高表を参照。



構造高表

A2		S2					A2
		G1	G2	G3	G4	G5	CL
計画高	EL1	11.2314	11.1548	11.0744	10.9903	10.9023	11.0338
舗装厚	H1	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	0.0800	
床版厚	H2	0.2100	0.2100	0.2100	0.2100	0.2100	
ハンチ高	H3	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	0.0900	
主桁高	H4	1.8000	1.8000	1.8000	1.8000	1.8000	
下フランジ厚	H5	0.0300	0.0300	0.0250	0.0290	0.0300	
ソールプレート厚	H6	0.0280	0.0280	0.0280	0.0280	0.0280	
支承厚	H7	0.1560	0.1560	0.1560	0.1560	0.1560	
構造高	ΣH	2.3970	2.3940	2.3890	2.3930	2.3940	
沓座モルタル	h1	0.0307	0.0386	0.0447	0.0381	0.0307	バラ高
台座コンクリート	h2	0.2200	0.2200	0.2200	0.2200	0.2200	2.6500
橋座天端	EL2	8.5837	8.5022	8.4207	8.3392	8.2576	8.3838

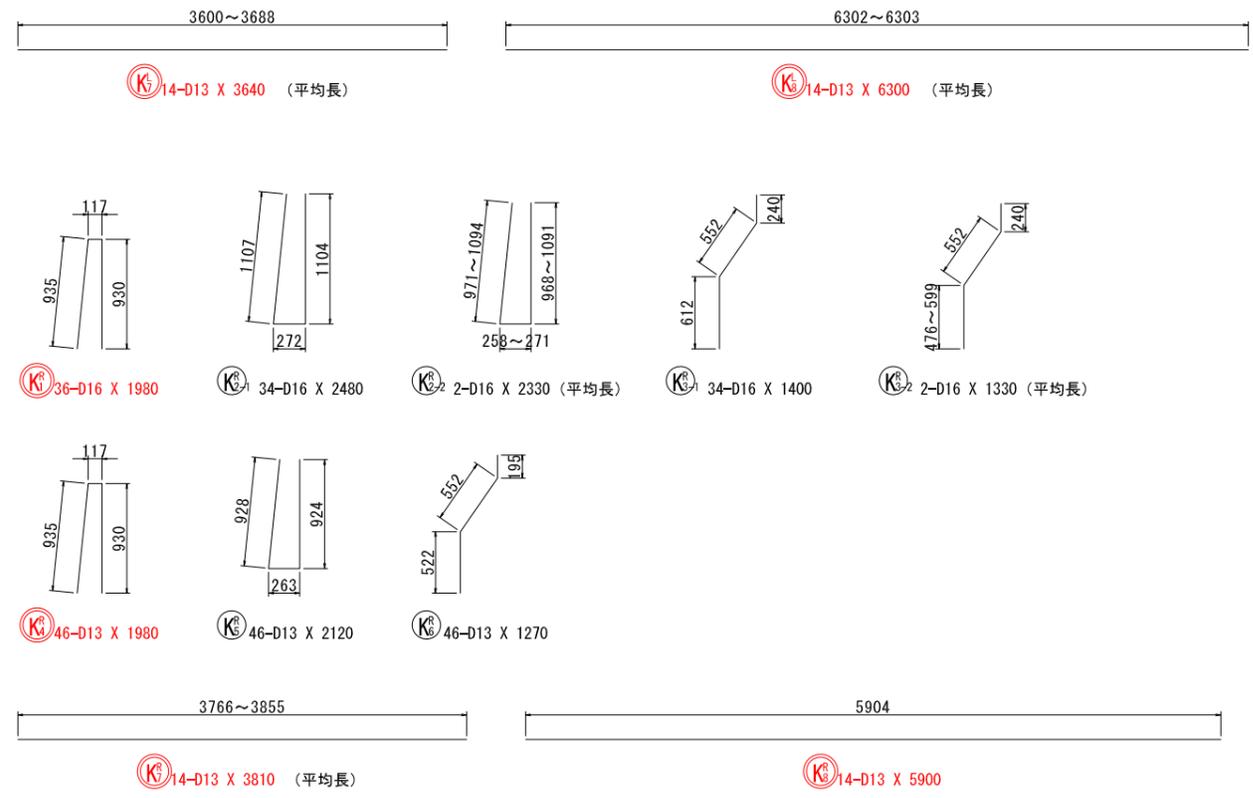
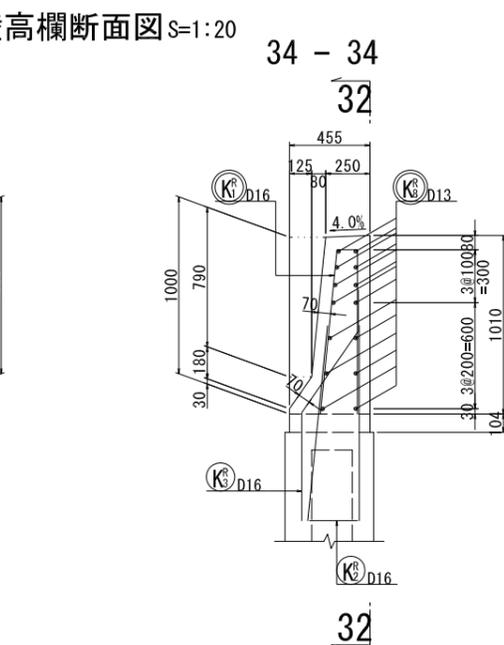
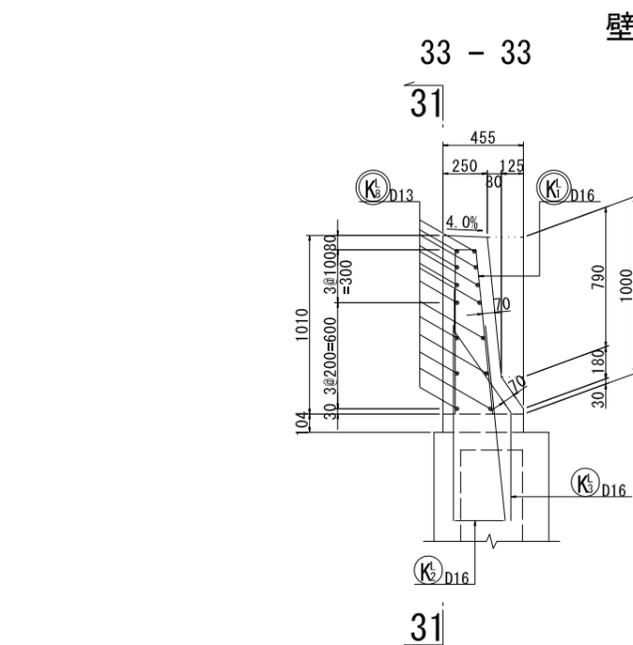
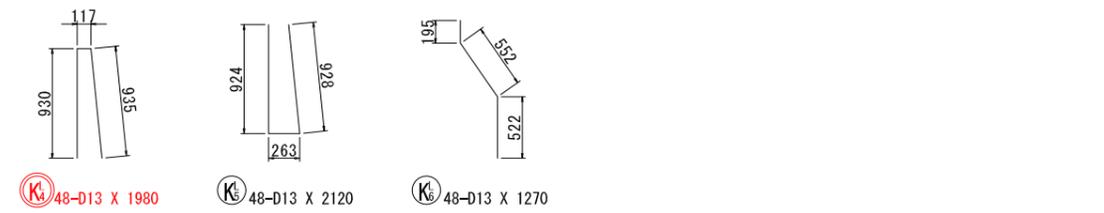
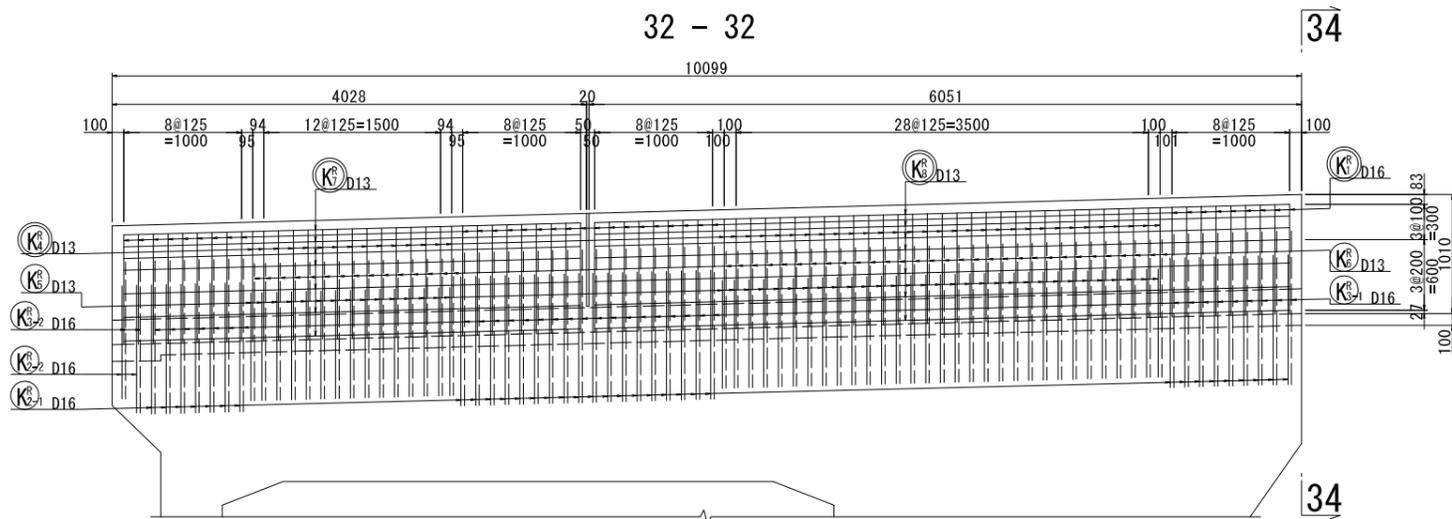
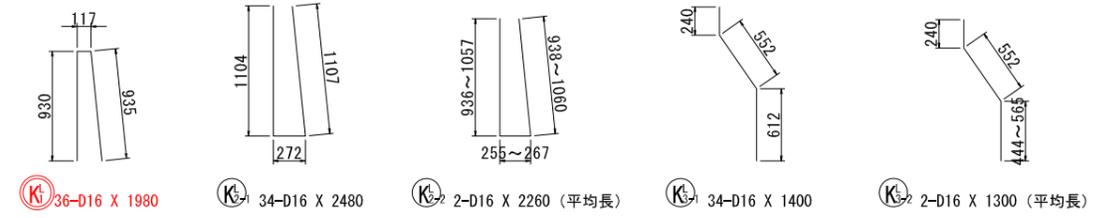
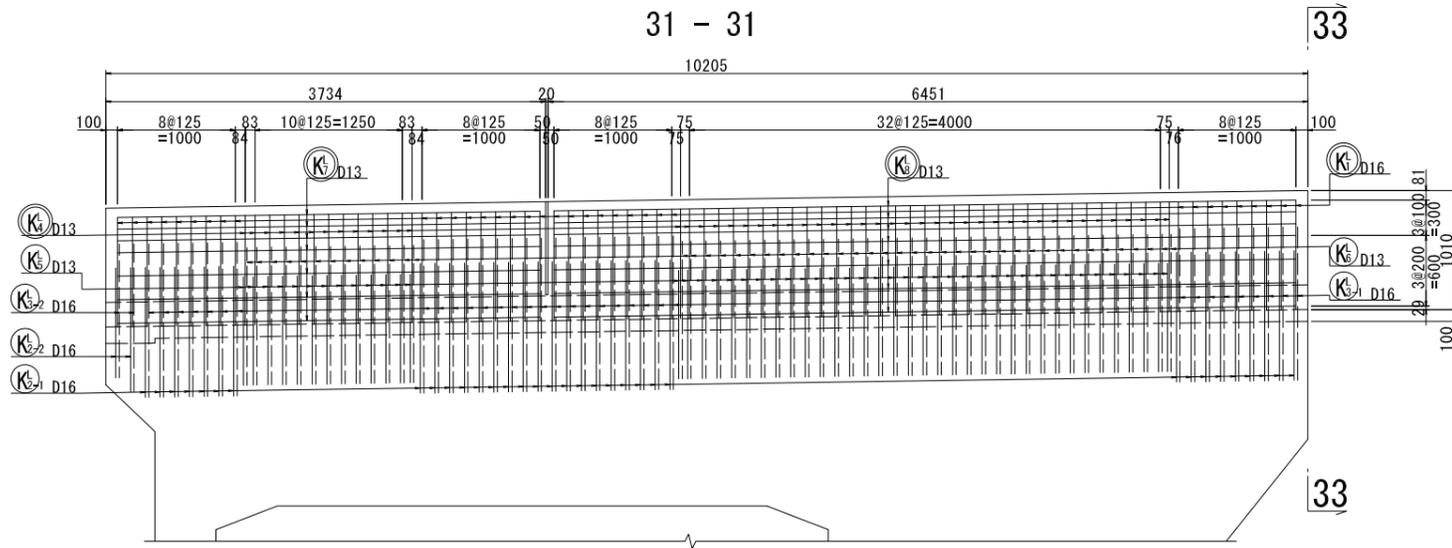
※H7、h1、h2の合計が400mm程度となるようにすること。

使用材料			
コンクリート	躯体コンクリート	σ _{ck} =24N/mm ²	
鉄筋	SD345		
実施 [3号橋]			
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号		
路線名	(主)築館登米線		
箇所	登米市迫町北方地内		
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大瀬橋)工事		
図名	A2橋台構造図(2)		
縮尺	図示	位置	NO. ~NO.
設計者		設計年度	
宮城県	図番	60/64	

A2橋台配筋図(15)

(支承条件:可動)

S=1:30



※ 〇の鉄筋は、二次施工を示す。

使用材料	
コンクリート	躯体コンクリート $\sigma_{ck}=24N/mm^2$
鉄筋	SD345
実施	
工事番号	令和元年度(Ⅲ)橋第3-2号
路線名	(主)築館登米線
箇所	登米市迫町北方地内
工事名	みやぎ東北高速幹線道路(Ⅲ)橋梁上部工(橋大瀬橋)工事
図名	A2橋台配筋図(15)
縮尺	図示
位置	NO. ~NO.
設計者	設計年度
宮城県	図番 63/64

注記
 ※1. 壁高欄には膨張コンクリートを用いること。
 ※2. 壁高欄は道路線形なりに施工すること。

A2橋台配筋図(16) (支承条件:可動)

鉄筋重量表(一次施工)

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
M ₁	D19	2800	53	2.25	6.30	334	
M ₂₋₁	D13	8970	3	0.995	8.93	27	—
M ₂₋₂	D13	5270	3	0.995	5.24	16	—
M ₃₋₁	D13	5220	2	0.995	5.19	10	—
M ₃₋₂	D13	9020	2	0.995	8.97	18	—
M ₄	D13	6270	1	0.995	6.24	6	—
M ₅₋₁	D13	5690	1	0.995	5.66	6	—
M ₅₋₂	D13	8020	1	0.995	7.98	8	—
M ₆₋₁	D16	5470	3	1.56	8.53	26	—
M ₆₋₂	D16	8890	3	1.56	13.87	42	—
M ₇₋₁	D16	8970	2	1.56	13.99	28	—
M ₇₋₂	D16	5390	2	1.56	8.41	17	—
M ₈	D16	6390	1	1.56	9.97	10	—
M ₉₋₁	D16	8250	1	1.56	12.87	13	—
M ₉₋₂	D16	5390	1	1.56	8.41	8	—
M ₁₀	D13	660	31	0.995	0.66	20	⊏
M ₁₁	D13	670	20	0.995	0.67	13	⊏
602							
P ₁	D16	1800	53	1.56	2.81	149	
P ₂	D16	1800	52	1.56	2.81	146	
P ₃₋₁	D13	3500	2	0.995	3.48	7	—
P ₃₋₂	D13	10000	2	0.995	9.95	20	—
P ₄	D13	11510	1	0.995	11.45	11	—
P ₅	D13	5830	1	0.995	5.80	6	—
P ₆₋₁	D13	10000	3	0.995	9.95	30	—
P ₆₋₂	D13	3500	3	0.995	3.48	10	—
P ₇	D13	11400	1	0.995	11.34	11	—
P ₈	D13	5790	1	0.995	5.76	6	—
P ₉₋₁	D13	10000	1	0.995	9.95	10	—
P ₉₋₂	D13	3500	1	0.995	3.48	3	—
P ₁₀₋₁	D13	3500	1	0.995	3.48	3	—
P ₁₀₋₂	D13	10000	1	0.995	9.95	10	—
P ₁₁	D13	590	45	0.995	0.59	27	⊏
P ₁₂	D13	600	1	0.995	0.60	1	⊏
P ₁₃	D13	600	7	0.995	0.60	4	⊏
P ₁₄	D13	630	18	0.995	0.63	11	⊏
P ₁₅	D13	640	2	0.995	0.64	1	⊏
466							
E ₁	D16	2020	51	1.56	3.15	161	∠
E ₂	D16	1950	2	1.56	3.04	6	∠
E ₃	D16	2050	1	1.56	3.20	3	∠
E ₄₋₁	D13	3500	4	0.995	3.48	14	—
E ₄₋₂	D13	10000	4	0.995	9.95	40	—
224							
J ₁	D16	570	48	1.56	0.89	43	⊏
43							
A ₁	D16	5310	53	1.56	8.28	439	(平均長)
A ₂	D16	5300	53	1.56	8.27	438	(平均長)
A ₃₋₁	D13	9460	6	0.995	9.41	56	—
A ₃₋₂	D13	4760	6	0.995	4.74	28	—
A ₄₋₁	D13	4710	6	0.995	4.69	28	—
A ₄₋₂	D13	9510	6	0.995	9.46	57	—
A ₅	D13	7210	1	0.995	7.17	7	—
A ₆₋₁	D13	9460	1	0.995	9.41	9	—
A ₆₋₂	D13	4770	1	0.995	4.75	5	—
A ₇₋₁	D13	4510	6	0.995	4.49	27	—
A ₇₋₂	D13	9720	6	0.995	9.67	58	—
A ₈₋₁	D13	9510	6	0.995	9.46	57	—
A ₈₋₂	D13	4720	6	0.995	4.70	28	—
A ₉	D13	6760	1	0.995	6.73	7	—
A ₁₀₋₁	D13	4510	1	0.995	4.49	4	—
A ₁₀₋₂	D13	9720	1	0.995	9.67	10	—
A ₁₁	D13	2050	75	0.995	2.04	153	⊏
A ₁₂	D13	2080	13	0.995	2.07	27	∠
A ₁₃	D13	2080	12	0.995	2.07	25	∠
A ₁₄	D16	5490	6	1.56	8.56	51	
A ₁₅	D16	5110	6	1.56	7.97	48	

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
A ₁₆₋₁	D16	4000	4	1.56	6.24	25	—
A ₁₆₋₂	D16	10500	4	1.56	16.38	66	—
A ₁₇₋₁	D16	10500	4	1.56	16.38	66	—
A ₁₇₋₂	D16	4000	4	1.56	6.24	25	—
A ₁₈	D16	2660	57	1.56	4.15	237	⊏
A ₁₉	D16	2720	3	1.56	4.24	13	⊏
A ₂₀	D16	2720	2	1.56	4.24	8	⊏
A ₂₁	D16	2160	55	1.56	3.37	185	⊏
2187							
H ₁	D16	2330	25	1.56	3.63	91	⊏
H ₂	D16	2090	30	1.56	3.26	98	⊏
H ₃	D16	3570	5	1.56	5.57	28	⊏
217							
S ₁₋₁	D25	11500	23	3.98	45.77	1053	∟
S ₁₋₂	D25	9500	22	3.98	37.81	832	∟
S ₂₋₁	D25	5000	23	3.98	19.90	458	∟
S ₂₋₂	D25	7000	22	3.98	27.86	613	∟
S ₃₋₁	D25	12000	3	3.98	47.76	143	∟
S ₃₋₂	D25	10000	4	3.98	39.80	159	∟
S ₄₋₁	D25	3500	3	3.98	13.93	42	∟
S ₄₋₂	D25	5500	4	3.98	21.89	88	∟
S ₅₋₁	D25	5500	3	3.98	21.89	66	∟
S ₅₋₂	D25	3500	4	3.98	13.93	56	∟
S ₆₋₁	D25	5500	3	3.98	21.89	66	∟
S ₆₋₂	D25	7500	4	3.98	29.85	119	∟
S ₇	D29	5900	45	5.04	29.74	1338	—
S ₈	D29	6130	7	5.04	30.90	216	—
S ₉	D29	6130	7	5.04	30.90	216	—
S ₁₀₋₁	D16	10000	25	1.56	15.60	390	—
S ₁₀₋₂	D16	3500	25	1.56	5.46	137	—
S ₁₁₋₁	D19	10000	25	2.25	22.50	563	—
S ₁₁₋₂	D19	3500	25	2.25	7.88	197	—
S ₁₂	D13	640	129	0.995	0.64	83	∟
6835							
S _{H1}	D29	2510	45	5.04	12.65	569	∟
S _{H2}	D29	2290	45	5.04	11.54	519	∟
S _{H3}	D29	2610	2	5.04	13.15	26	∟
S _{H4}	D29	2300	7	5.04	11.59	81	∟
S _{H5}	D29	2520	7	5.04	12.70	89	∟
S _{H6}	D29	2390	1	5.04	12.05	12	∟
S _{H7-1}	D19	10000	2	2.25	22.50	45	—
S _{H7-2}	D19	3500	2	2.25	7.88	16	—
S _{H8-1}	D19	3500	2	2.25	7.88	16	—
S _{H8-2}	D19	10000	2	2.25	22.50	45	—
1418							
B ₁	D19	7190	53	2.25	16.18	858	
B ₂₋₁	D13	4470	10	0.995	4.45	45	—
B ₂₋₂	D13	9770	10	0.995	9.72	97	—
B ₃₋₁	D13	9720	9	0.995	9.67	87	—
B ₃₋₂	D13	4520	9	0.995	4.50	41	—
B ₄₋₁	D16	9900	10	1.56	15.44	154	—
B ₄₋₂	D16	4470	10	1.56	6.97	70	—
B ₅₋₁	D16	4650	9	1.56	7.25	65	—
B ₅₋₂	D16	9720	9	1.56	15.16	136	—
B ₆	D16	940	99	1.56	1.47	146	⊏
B ₇	D16	960	14	1.56	1.50	21	⊏
1720							
U ₁	D22	500	24	3.04	1.52	36	
36							
F ₁	D32	9360	52	6.23	58.31	3032	—
F ₂	D29	11800	52	5.04	59.47	3092	∟
F ₃	D32	9210	10	6.23	57.38	574	—
F ₄	D29	10430	10	5.04	52.57	526	∟
F ₅₋₁	D19	10000	15	2.25	22.50	338	—
F ₅₋₂	D19	3500	2	2.25	7.88	16	—

種別	径	長さ	本数	単位重量	一本当り重量	重量	摘要
F ₅₋₃	D19	4000	3	2.25	9.00	27	—
F ₅₋₄	D19	4500	3	2.25	10.13	30	—
F ₅₋₅	D19	5000	4	2.25	11.25	45	—
F ₅₋₆	D19	5500	1	2.25	12.38	12	—
F ₅₋₇	D19	6000	2	2.25	13.50	27	—
F ₆₋₁	D19	8000	15	2.25	18.00	270	—
F ₆₋₂	D19	5500	1	2.25	12.38	12	—
F ₆₋₃	D19	6000	4	2.25	13.50	54	—
F ₆₋₄	D19	6500	4	2.25	14.63	59	—
F ₆₋₅	D19	7000	3	2.25	15.75	47	—
F ₆₋₆	D19	7500	2	2.25	16.88	34	—
F ₆₋₇	D19	8000	1	2.25	18.00	18	—
F ₇₋₁	D19	10000	18	2.25	22.50	405	—
F ₇₋₂	D19	3500	1	2.25	7.88	8	—
F ₇₋₃	D19	4000	4	2.25	9.00	36	—
F ₇₋₄	D19	4500	4	2.25	10.13	41	—
F ₇₋₅	D19	5000	3	2.25	11.25	34	—
F ₇₋₆	D19	5500	4	2.25	12.38	50	—
F ₇₋₇	D19	6000	2	2.25	13.50	27	—
F ₈₋₁	D19	8000	19	2.25	18.00	342	—
F ₈₋₂	D19	5500	2	2.25	12.38	25	—
F ₈₋₃	D19	6000	4	2.25	13.50	54	—
F ₈₋₄	D19	6500	3	2.25	14.63	44	—
F ₈₋₅	D19	7000	4	2.25	15.75	63	—
F ₈₋₆	D19	7500	4	2.25	16.88	68	—
F ₈₋₇	D19	8000	2	2.25	18.00	36	—
F ₉₋₁	D19	12000	8	2.25	27.00	216	—
F ₉₋₂	D19	4000	8	2.25	9.00	72	—
F ₁₀₋₁	D19	10000	8	2.25	22.50	180	—
F ₁₀₋₂	D19	3500	8	2.25	7.88	63	—
F ₁₁	D19	9020	8	2.25	20.30	162	—
F ₁₂	D19	9350	8	2.25	21.04	168	—
F ₁₃₋₁	D16	1700	169	1.56	2.65	448	
F ₁₃₋₂	D16	1700	169	1.56	2.65	448	
F ₁₄	D16	2230	22	1.56	3.48	77	
F ₁₅	D16	2230	35	1.56	3.48	122	
F ₁₆	D19	2800	6	2.25	6.30	38	—
F ₁₇	D19	800	1	2.25	1.80	2	—
11442							
W _{L1}	D16	2710	14	1.56	4.23	59	∟ (平均長)
W _{L2}	D16	130					